満洲日報
十二月廿四日發行
發行人 鈴木 昇
編輯人 橋本 喜代治
印刷人 本村 武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社満洲日報社

けふ議會召集 政機不動、和かに開幕
落着いた政友、與黨氣取の民政 純野黨らしい國同

【東京特電二十四日發】日比谷座も慣例により目出たく廿四日第六十四議會の開幕、秋田議長はいつもながら明快な口調で議會の成立を宣した、

和戰兩樣 の氣構へを見せてゐる政友會が鈴木總裁初め山本（悌）秦、島田其他の面々三百餘名の郎黨を引き具して議場を睥睨してゐる、これに對し民政の百四十餘名は櫻内、俵、松田、小山等の闘將に率ゐられ西側の議場の一角を占據してゐるが、純然たる與黨氣取で全く熱が見えぬ、一と奮發できぬものか、町田ののんきな父さんの激令ではピンと來ないのを如何せん、

若槻總裁 の病氣が氣にかゝる、いよいよファッショ氣取の國同、今日は安達御大、中野闘將の顏が見えぬが、山道大幹事が一黨を率ゐて東側の議席約三十を占領し、野黨らしい意氣込を見せた、此日栗原、鈴木、野中の三代議士が黑シャツ黨團服でやつて來たが、バンド附で議場に入るのは許其の扮裝とあつてすつたもんだの末、バンドだけ外すことゝなり

三中全會の抗日案は 支那の沒落を早めるに過ぎぬ
わが陸軍當局の見解

【東京二十四日發】支那國民黨第三次中央全體會議につき陸軍當局は語る
第三次中全會議も濟んだが、我軍部として注目すべきは彼の徹底的抗日案で、これがため傳統的「夷を以て夷を制す」の策によりロシア、アメリカとの提携が傳へられてゐる、**國民黨の眞意は對日敵愾心を露骨に挑發して人心を刺戟し、且**國内の一時的結束をはかり以て**對外的に無政府狀態を蔽はんとするにあるが、**之は東洋の平和に重大な脅威を與へんとするものであつて、その眞相に對し吾人は輕々に看過することは出來ぬ、孫科は**抗日案の提議にあたり第二世界戰爭を云々してゐる、これは頗る危險なる遊戲で、何故極東を世界擾亂の舞臺に提供し、支那自身の沒落を早めんとするか諒解に苦しむ、**世界の識者が不自然なこの現狀を整理することこそ世界大戰の防止であり、平和維持の道であり、現下の急務は世界平和に對し危險なる國民黨の存在とその外交政策を清算することである

貴衆兩院成立

話題の中心となる、政友會の出方一つが問題だが辛抱すれば**政權が近**く廻つて來るといふので何となく落ついてゐる、少くとも來月二十日までの休會中には政機動かず無事熱演することになる、今日は部屬の決定、部長互選等で日が暮れて明日は日曜休會、二十六日開院式、二十七日豫算委員長選擧、其他の案件を片づければ直ぐ休會、各派の代議士諸君もらつて先づはニコニコと運春の仕度にかゝる段取、貴族院も豫定の如く二十四日成立した

【東京廿四日發】第六十四議會召集の貴族院は午前七時五十九分山本（達）三氏（同成）を先頭に、議員相次ぎ登院、午前九時五分振鈴と共に徳川議長議長席に着き、定員に達するを俟つて、徳川議長「本院規定第五條に依り部屬の抽籤を行ふ」旨を宣告し直に九部に分ち書記官をして部屬の抽籤を行はしめたる後、部長理事の互選を行ふ旨を宣し午前九時四十分一旦休憩、休憩中部長理事の互選を爲し、斯くて十時五分再會、其の結果を報告し、徳川議長「之にて本院は成立しました、此旨政府並に衆議院に通知いたします」と宣し午前十時十分散會、徳川議長は直に貴族院成立の旨政府並に衆議院に通告した、一方衆議院は廿四日午前十時振鈴、秋田議長「衆議院規則第十五條により部屬決定のため抽籤を行ふ」旨を宣し、部長、理事の互選を行はしめ、同十一時十八分再開、部長理事の互選結果報告あり、秋田議長「本院は成立しました政府並に貴族院に報告致します」とて閉會式日は官報で報告致します、午前十一時二十分散會

各派對議會策

政友 和戰兩樣で時局に善處

【東京廿四日發】政友會は廿三日の議員總會及び代議士會で院内役員を決定し、鈴木總裁の演說で今期議會の重要性に對する黨の方針を宣揚すると共に對議會陣容を整へたが、政友會の態度としては總裁の演說に明示された如く政府提出の明年度豫算外、重要法案に對し嚴正なる檢討を加へて適正を期せんとする以外に具體的方針は何等觸れるところなかつたに見るも全く和戰兩樣の構へなることを表示せるもので最近の硬軟兩派の論議を排撃して總裁指揮下に一致結束時局に善處せんとするものゝ如くであるが、なほ院内役員の筆頭總務は避けられなかつたが島田俊雄氏が事實上の筆頭總務として議場の驅引其他最高戰略に秘策を練ることになるであらう

政友豫算委員長 山崎氏に内定
【東京二十四日發】政友會の豫算委員長候補者は大橋山崎達之輔氏に内定した

國同 野黨として自由に行動

【東京二十四日發】國民同盟代議士會は二十三日午後三時より丸の内本部に開會、安達總裁外二十九名出席、同盟の對議會態度につき意見交換の結果
國民同盟としては極めて自由率直に政府の爲したるところ、爲さんとするところを批判し自由の立場で行動しやう
といふに意見一致し純然たる野黨の立場を明かにした、而して全院委員長並に常任委員等の人選については同盟側より候補者を擁立することなく、適當な人物を推擧することゝ、同盟會委員は議論の上二十四日發表を申合せ清瀬一郎氏より選擧公營問題につき法制審議會案を内務省原案が擬へすは遺憾である、齋藤首相の注意を喚起すべきだと提議し清瀬氏以下五氏を擧げ、數日中に齋藤首相に會見し進言を爲すことを申合せて午後四時半散會した

民政役員顏觸

【東京二十四日發】民政黨の本部總務外黨役員は來年一月の大會で正式決定發表の筈であるが、今回は特に準備總務を置かず總務連幹事長として交涉團體の屆出を爲したが、新入會左の如し
武富時敏、川上親晴、塚本清治、小坂順造、大和田健三郎、金岡又左衞門、山本米三、坂野鐵次郎、油井德藏、平沼亮三

大衆 現内閣打倒 インフレ政策反對

【東京二十四日發】社會大衆黨は二十三日午後三時より黨本部で議會對策部會を開き、安部、杉山、龜井各代議士以下中央執行委員數名出席、第六十四議會に臨む同黨の對策を決定した
一、議會を通じ齋藤内閣打倒に集中し民衆の眞實なる要求を大膽率直に表明するに努力すること
二、昭和八年度豫算對策
（イ）國債の三分利國債借替へ
（ロ）日蘇不可侵條約の締結に依る軍事費の削減
（ハ）秩制の根本改革
（ニ）資本家本位のインフレーション政策反對
（ホ）爲替安定策を貿易管理に進ましむること
三、選擧公營案　强制投票比例代表制を既定内容とせる全國委員會決定の我黨案を中心に選擧公營を主張す

同成會新入會 十名 交涉團體となる
【東京二十四日發】貴族院同成會は先般の多額議員選擧の結果減少したゝめ交涉團體の資格を失墜したので同會の伊澤多喜男、菅原通敬兩氏が交涉團體を纏めるため奔走中であつたが、二十四日の召集日を控へ二十三日夜不足の十名を入會せしめ交涉團體の屆出を爲した

社倶幹事長

大連滿鐵社員倶樂部昭和八年度の評議員選擧は既に終り來る二十六日までに幹事の推薦を行ふことになつてゐるが、新幹事長としては慣例により七年度幹事會から三名の候補を擧げることゝなり中西地方部商事、市川經理の各部長を推薦したが中西、市川兩氏は擔當部の關係上就任困難な事情があり、目下武部氏が最有力である

德田大佐歸任

滿洲國駐在武官、關東軍司令部附海軍機關大佐德田順一氏は約二週間前與鮮經由上京軍部方面と種々重要事項につき打合せの上二十四日入港うらる丸で歸連直に新京に向つた

はるびん丸船客

【門司特電二十四日發】廿六日大連入港豫定のはるびん丸主なる船客諸氏
山口倭太郎、小澤太兵衞、松田元市、中村太次馬、三好正、池

人事
▲德田順一氏（滿洲國駐在武官海軍大佐）二十四日入港うらる丸にて歸任
▲塚本寛氏（大連醫院耳鼻科長）同上
▲深水諮氏（滿鐵計畫部審査役）同上
▲岡田澈平氏（滿洲工業專務取締役）同上
▲高木磐雄氏（大連汽船常務取締役）同上
▲瀬川龜氏（立正團役員）同上來連
▲馮涵清氏一行（滿洲國特派赴日考察司法事宜一行）同上
▲岸本國治氏（同）同上
▲須田清七氏（同）同上
▲長岡タツエ刀自（故長岡少佐母堂）同上
▲前田孝成氏（海軍少佐）同上
▲入江正太郎氏（滿電專務取締役）廿四日午前八時奉天より着連
▲佐藤俊久氏（ハルビン警備司令部顧問）同上新京より
▲田邊敏行氏（大連自動車會社取締役）（同上）
▲中西敏憲氏（地方部長）二十四日午前九時發北行
▲清水賢雄氏（鐵道部次長）同上
▲有賀庫吉氏（地方部學務課長）同上
▲小磯國昭中將（關東軍參謀長）廿四日午後七時五十分着連の豫定
▲鞍山中學ラグビー選手一行廿名廿四日出帆あめりか丸で内地へ
▲工專ラグビー選手一行　同上

蛇舌

◇第六十四議會、いよいよ議事開きの段取り。
◇この議會を稱して「非常時内閣の通常議會」といふ。
◇整備ひした各政黨政派、いづれも口々に「非常時の非常政策」を說くこと蜜し。
◇なれど圖體ばかりの政友、無氣力な民政、獨りよがりの無産等々相變らず新味なし。
◇同盟僅かにファッショに色づけど果してどれだけの期待を擔ひ得るやは頗る疑問。
◇衆議院に未だインフレ景氣來らず。

武藤大使の信任狀捧呈

【上】執政府における記念撮影【下】執政府に到着して親善の握手

司法制度完備せば法權問題解決容易
日本の司法官の援助に期待
馮司法總長訪日感想

日本における司法制度視察のため新興滿洲國司法部を代表し訪日中であつた滿洲國司法部總長馮涵清氏は同部秘書木村辰雄氏、同部法令審議委員會副委員長王允卿氏、同部總務司事務官程養明氏、同部法務司代理姜金壽氏帶同廿四日入港うらる丸で歸滿した、船中日本における朝野の名士並に一般國民の嵐のやうな歡迎と熱誠なもてなしに滿足し切つて左の如く記者團に語る

東京を中心に日本の一流都市はすつと見て來た、感想は澤山あり過ぎてどれからお話して好いやら解らない、何れにしても貴國朝野の官民各位から盛んな歡迎を受け感激した、貴國々民が滿洲國の研究に熱心なことは大變うれしい、同時に愉快に思ふ事は全國民が滿洲國の誕生に好感を持つて居られる事で、自分は今度日本に行つて貴國民の本當の氣持が判然と解つた、これは是非自分から滿洲國の三千萬民衆に知らしめたいと思つてゐる、今度貴國訪問の第一要件は司法制度視察であるが、日本の同制度の完備してゐるのに感心した、特に十月一日から貴國は調停法を實施してゐるが、成績は頗る好いやうだ、日本が普通の裁判から訴訟手續による調停法迄進んだ事は大變好い事でこれは東洋古來の精神にもとづいた事だと信ずる、滿洲には昔からこの法律はあつたが運用を間違つてゐた嫌ひがある、日本が效果をおさめてゐるやうに我國も改良して行くつもりである、更に

刑事方面 の行政制度は勿論敎化を主としたもので、實に行き届いたものだ、これによつて社會に好い人を送り出す事だらう、從つて日本に一人の好い人が出る事はつまり我々滿洲國人の喜びだ、わが滿洲國の王道主義の實施は人民をしてその堵に安んぜしめるが、それには司法の完備が大切だと思ふ、それにしては今のところ滿洲は人材が少ないが、是非貴國よりその道の權威を招聘したいと思ひ、小山法相にもよくお話しておいたが法相もよく理解して頂けた、そしてその道の練達の士を派遣して頂くやうになるだらう、これは明年

二三月頃 實現するだらう、かうして日本から招聘の司法官によつて司法事務が刷新されゝば治外法權撤廢問題も容易に解決する運びにならう、治外法の問題に對して日本の司法一般に了解してゐてくれた、滿洲國の

表や統計 を大きな箱に二箱も持つて歸つたが、これによつて將來一つの著書を發行すると共に滿洲に效果をもたらす事になるだらう【寫眞は一行中央〇印が馮總長】

馮總長日程

滿洲國司法總長馮涵清氏一行はうらる丸上陸と共に麗小岡子議會に臨み滿鐵より西脇總裁代理森本法院長等の出迎へを受けヤマトホテルに投宿したが、旅大滯在中の日程左の如し
▲廿四日午前十時滿鐵總裁訪問同十一時地方法院視察、午後十二時半滿洲館における滿鐵總裁の招宴に臨む▲廿六日午前十時館において日本訪問演說會、同五時半大連司法界の招宴に列席▲廿五日午前中黑石礁の于沖漢邸に赴き正午滿洲國商務總會の招宴に臨む、正午關東廳の招宴、博物館參觀後高等法院觀察、午後五時旅順司法界の招宴、同七時半大連に歸る▲二十七日午前九時發はとつ新京へ

惑星韓復榘等 北平へ赴く
山東問題報告の爲？

【天津二十四日發】各方面より疑惑の目をもつて見られてゐた韓復榘、沈鴻烈は廿三日後十時廿五分水兵三十名、衛隊二百七十名を連れて軍用列車で北上した、今朝天津通過北平に赴いたが韓復榘は語る
今回の赴平は學良に山東問題報告のためで二三日で濟南に歸る豫定である、芝罘、龍口は目下海軍陸戰隊によつて治安維持されてゐるが、必要時には陸軍を派遣する筈である

滿蒙の戰慄 (182)
直木三十五作
浅枝次朗畫

滿鐵辭令（廿四日附社報）

奉天驛貨物方事務員	龜山 乾
同	小川 武司
同	石井 條男
構内助役を命す（各通）	
奉天驛貨物方事務員	三井田 弘
蘇家屯驛助役を命す（各通）	
安東驛貨物方同	吉野 郎
奉天驛貨物方事務員	竹内 忍
大官屯驛助役を命す	
安東驛同	柴野 亮之助
同	中村 亨
構内助役を命す	
金州子驛長同	田中 德一
構内助役を命す	
新京驛構内助役同	齋藤 喜久治
鐵嶺驛助役を命す	鶴田 彌市
新京驛構内助役同	後藤 吉彦
大平山驛務方同	杉田 浩藏
昌圖驛助役同	
新京鐵道事務所同	洋谷 勝榮
鐵嶺驛助役を命す	萩谷 治良
鐵嶺驛貨物方同	増田 誠一
四平街驛同	氣賀澤 利一
四平街驛同	中崎 一之

岫巖城頭の悲劇

父と弟を奪はれ可憐な日本娘泣く

天野將軍も暗涙にむせぶ

【岫巖二十三日發】わが天野〇團が岫巖に入城した十六日北門外に出迎へた市民の中から流暢な日本語で「お小父さん達御勞れでせう」といつて嬉し泣きに取すがるやうに近寄つた岫巖城の紅花一輪十八、九歳の娘があつた、時が時場所が場所なので驚いて訪れると「支那人ではありません日本人です」と答へた、事情を聞けば坂本谷まつえ(一九)で三歳の時父母に伴はれて岫巖に來り九歳の時から奉天の小學校に入學し母が病氣のため岫巖に歸りその後自宅にあつたが去る舊曆七月十一日以來支那人相手に雜貨商を營んでゐたものである、父坂本谷久吉及び末弟は匪賊鄧鐵梅のため拉致されまだ行方が知れず殘る長弟金吾と二人父生前の知人王某方に寄食してゐたが十四日夜十一時頃討伐隊の鋭鋒を避け逃走せる前縣長劉景文に拉致され全く孤獨となつたもので日本軍來の噂に全く蘇生の思ひをなし入城と聽いて北門外に出迎へ皇軍の姿を見て思はず馳せ寄つたもので

たゞ一人になつてどうなることかと思ひましたが日本の軍隊が來て下さつたのでやつと助かつた思ひがします、お嫁にゆけと度々いはれましたが誰が支那人等のお嫁にゆくものですか

とかゝる悲慘な境遇にありながらなほ日本人としての誇りを忘れぬ心情が嬉しい、しかし彼女も人の子である、心が平靜にかへると直ぐ

私これからどうしたらよろしいでせう、私の父は今どうしてゐるでせう、お小父樣達御存じなら教へて下さい

と涙と共に尋ねるいぢらしい姿に天野〇團長以下並居る將兵皆暗涙にむせんだ、故郷は和歌山とだけ聞いてゐるが歸つたことはなく滿洲に親戚もないといふので結局憲兵や政治工作員の手で目下世話を見てゐるが近く奉天のよりべを訪れるとのことである

海城方面めがけて匪賊團脱出を圖る

愈よ全滅の日近づく

【新京電話】三角地帶匪賊劉景文鄧鐵梅一派は討伐軍の猛攻に遇ひ今や全滅の悲況に陷らんとし最後の足掻をなしつゝある有力なる匪賊團は海城方面に脱出すべく西方に退却中の模樣で二十二、三日の戰況は左の如くである

一、二十二日中島枝隊の猛烈なる攻撃により黄花甸西方三キロ轆盤溝、朱家堡子附近の敵は逐次退却し死體約五十を遺棄して逃走した、我損害は兵士一、將校二

二、上田枝隊は二十二日午後三時黄花甸に到着したので二十四日早朝から長岡枝隊、及川〇隊當面の敵に對し攻撃を開始した

三、又柝木城から岫巖縣に向ひ前進中の自動車部隊は不良なる山間の道路を冒して前進中二十三日午前七時頃大偏嶺小偏嶺附近にて敵三百と遭遇しこれを攻撃中である

四、鷄冠山方面より前進中の渡邊〇隊は二十三日午後三時三十分頭關子沿に於て約三百の敵と遭遇直に攻撃悉くこれを撃退し更に大洋河に沿うて進撃し流域の匪賊掃討中約三里河下にて迫撃砲を有する約一千の反滿抗日軍及び有力なる紅槍會匪合併の匪賊と遭遇し午後四時三十分より激戰三時間日沒後敵は死體百五十を遺して張家堡子方面へ敗走したので我軍は更に夜に入るも追撃掃討中で現在までの我が損害は重傷一名、輕傷三名である

岫巖を包圍

熊崎部隊應戰中

【奉天電話】近く凱旋の第〇〇師團一天野〇團の急追的進撃で岫巖もなんなく占據されたが我急襲に四散した鄧鐵梅、劉景文、李〇等の匪賊聯合軍は岫巖の西南の天險に據つて二十一日夜來反撃し來り今や岫巖の周圍はこれら匪賊のために完全に包圍され〇〇隊熊崎〇隊のみで應戰しあるが二十三日夕刻に至るも退却せず目下激戰中にて同隊は苦戰に陷り相當憂慮されるに至つた

中島部隊奮戰

【奉天二十三日發】關門山附近に包圍した劉景文の匪賊約一千を攻撃せんと前進中の中島部隊は二十二日正午頃敵の警戒部隊と衝突し激戰一時間の後敵約六十名を殘してこれを撃退したが我軍も戰死一兵一名、負傷二名を出した

畏し皇太后陛下 天刑病者に御歌

【東京二十四日發】皇太后陛下には御畢生の御事業として癩病根絶のため巨額の資金を下賜せられてゐるが毎月御恒例の御歌會後兼題「癩患者を慰めて」の下に不治の病に惱む憐れむべき人の上に左の御歌を賜り二十四日大島內務省衛生局長、生駒拓務省管理局長に對し宮內省に於いて御歌を傳達され患者にこの思召を傳へることになつた

つれづれの友となりても慰めよ
行くことかたき我にかはりて

樂しいクリスマスの用意

『うむ、でかした』 情熱の陸相が一言

荒木大尉戰死の公報 陸軍省內に感激涌く

【東京二十四日發】蘇炳文討伐の我軍の最先頭に立ち興安嶺の白雪を血汐に染めて壯烈な戰死を遂げた荒木大尉に關する公報は二十三日午後四時半陸軍省に到着したが居合せた將校連は悲壯なその狀況に感激し省內に時ならぬセンセーションを捲き起してゐる、熱情の將軍荒木陸相は眼に涙を泛べ「うむ、でかした」と只一言、六師團在職當時の部下荒木少尉の姿を偲ぶ如く暫く瞑目した、本間新聞班長も「荒木の戰死は殊勳と云ふには餘りに大きい犧牲だ、世界戰史を飾る大和魂の發露だ」と前提し面を輝かし左の如く語つた

ホロンバイル事件が豫想外に早く片付いたのは鐵道作戰の成功だ、而してそれは一に先驅たる裝甲車隊と特にその長たる荒木大尉のお蔭である、大興安嶺の環狀線で奔流の如く落下する敵の貨車を發見、皇軍の危急を救つたのは鬼神の業だ、又脫線器を裝置して部下を後退せしめたが後退した部下が又荒木大尉を案じ前進負傷した如き人情美談に泣かずには居られない

寫眞說明 上圖は鞍山中學ラグビーチーム 下圖は工專ラグビーチーム

北滿の匪賊南下

我軍と江省軍が追撃

【新京電話】大勢上遂に北滿に蟠居し得られなくなつた李海青、鄧文、檀自新及び霍剛は洮南方面に出で熱河經由山海關方面に遁入せんと企圖せるが如く松花江を渡り南下せんとしつゝありとの情報に接し我軍及び黑龍江省軍は協力して進撃中である、又天照は日頃實性極めて暴虐で仲間の指彈を受け孤立無援となり目下水明附近にある後の匪賊は黑龍江省軍周作寄の部隊より又林甸に於いて約一千の部下は黑龍江省軍の宗樹聲、表翔飛、張魁溪各團により包圍攻撃され全く進退の自由を失ひ今度は愈々殲滅するであらうと見られてゐる、これで北滿の兵匪は概ね掃討し盡されたことになる

同情週間の醵金

五千六百餘圓を分配

市中の極貧者や社會事業團體に收容保護されてゐる老幼者ならびに疾病者に對し恩賜慰藉資金の交付金傳達および歲末同情週間の醵集金分配は二十六日午後一時から市役所市會議場に於て行はれるがなほ歲末同情週間の方は二十四日締まで日本人側より五千二百三十一圓九十三錢、滿洲人側より四百二十九圓合計五千六百六十圓九十三錢の醵集金があつた、右の內配給金は日本人側三千三百三十九圓、滿洲人側一千三百四十九圓、合計金額四千六百八十八圓であるがその內容は左の通りである

▲日本人側 貧困者百九十二世帶七百七十三人でこの金額二千五百六圓、救護十二團體、收容人員四百七十一人でこの金額八百三十三圓

▲滿洲人側 公濟善堂に三百四十九圓、紅卍字會施粥所に五百圓、大連庇寒所に五百圓

送金があるまでは遁入者として抑留

露領の蘇炳文軍一行

【新京電話】二十四日モスクワより新京のわが大使館に到着した情報によればモスクワ駐在支那代表王曾思とカラハン氏との間に蘇炳文軍の遁入者始末に對する意見の交換に對しカラハン氏は滿洲國からソ聯國領內に遁入した軍人二千八百九十名、人民一千二百名(其の中女三百四十七名、子供三百六名を含む)に對しソ聯政府のソ聯領より出國を許可したが、其の後彼等に於て出國費は勿論ソ聯領內に於ける生活費をも持合はせ居らざること判明しソ聯政府では彼等を無報酬にて護送又は給與し得ざるをもつて支那政府に於て彼等に對し必要なる費用支出方を配慮せられんことを希望する旨を述べた、尚ソ聯政府では本件解決前軍人及び人民を遁入者としてトムスク附近に抑留するの已むなき旨を附言したるに王は右を直に支那政府に報告すべき旨を約したとのことである

滿洲代表チーム ラグビー大會へ

工專と鞍中兩軍遠征

來る一月四、六、八日の三日間花園球場において開催される全國高專ラグビー大會に滿洲代表チームとして出場する南滿工專ラグビーチーム一行二十一名は安藤助教授に、また三、五、七日の三日間甲子園球場に於て開催される全國中等學校ラグビー大會に滿洲代表チームとして出場する鞍山中學一行二十名は三宅、山浦兩教諭に、それぞれ引率され二十四日出帆のあめりか丸で多數先輩校友並に運動關係者の盛んなエールを受けて遠征の途に就いたが工專監督安藤助教授は語る

野工大戰に負傷者がありその負傷者の劍もやつと昨今全快したやうな次第である、とり分け攻撃の中心とも言ふべきHBの西山君が可成の傷でしたがこれも漸くなほり昨日練習に出ましたがまあどうにかなると思ひます、早高をのぞく他チームはそう恐ろしく思ひませんが、大いに滿洲代表チームとして恥づかしからぬ戰ひをやる考へです

また鞍中監督三宅教諭は語る

昨年大會に出場して居りますのでこの點甚だ心丈夫です、州內外豫選の一行二十名中、十名は昨決勝戰終了後運よく滿鐵ラグビー部の野口賞一選手が內地の早慶戰その他大學のビッグゲームを見學されて鞍山に歸られたものですからその後ずつとコーチを受けた結果可成り進歩したものと信じて居ります、然し何分京城師範の如き超中等學校チームがありますので、まあ正々堂々と戰つて滿洲ッ兒の意氣を見せる考へでの州內外優勝戰後ゲームをやつて居りませんので着陸後北野中學と神戸一中の兩チームと試合をやることになつて居ります

なほ工專は大阪學島の三國旅館に、鞍中は甲子園素旅館に宿泊する

驚ろかしてはいけません!

ゆうべ大連署內で銃聲一發

歲の瀨も押し迫つて世上騷然たる二十三日午後七時ころ大連署警務係で轟然たる銃聲一發に署內は「それッ」とばかりに總立ちとなり、大騷ぎとなつたが實は警戒交代巡查某が拳銃の手入れ中、一發殘つてゐた彈丸が突如爆發したものと判明幸ひ銃口を天井に向けてゐたため怪我人を出さなかつた

歲暮にどりこの

贈るに便利、受けて何よりの重寶、新時代向の贈答品として『どりこの』が一番

戰傷病者內地へ

明朝七時大連驛到着

滿鐵沿線各地に療養中の戰傷病患者六十五名は內地へ歸還することゝなり來る廿五日午前七時大連驛に到着、二十七日午後四時出帆の照國丸で內地へ向ふ豫定である

再考を促す俱樂部のホール

地方部の反對意見書

昭和七年度大連滿鐵社員俱樂部幹事が最後の會議で決議した俱樂部內のダンスホール設置問題は俄然問題化し滿鐵の地方部である地方部でも慎重に本問題を研究中であつたが中西部長始め關係者の意見は何れも「その時期に非ず」といふに一致した、その理由の最重要點とされるものは奧地派遣社員の涙ぐましい努力を思へばダンスホールを造るが如きは全然否定さるべきことであるといふ點にあり、從つて地方部では

本要求の實施に當つてはその時期に就て慎重に考慮する必要のあるものと認む

との意味の反對意見書を附して一兩日中に幹事會の決議文を社員俱樂部に送り返し、社員俱樂部幹事會の再考を促すことゝなつた

故長岡少佐の母堂來連

三角地帶の匪賊討伐に際し去る十七日午後十一時頃約七百の敵匪に對し陣頭に立つて華々しく奮鬪遂に黄花甸に盡忠の鮮血をぬり、天晴れ帝國軍人の花と散つた故長岡寬少佐の母堂タツヱ刀自は親戚の稻岡碩、石原信親兩氏と共に二十日入港うらる丸で來連したが、タツヱ刀自は流石に武人の母らしく靜かに落ついて語る

寬も死に場所を得た事をさぞ喜んでゐるでせう、こちらには寬の妻女と子供が居りますが戰死の報に接し取敢ず參りました、もし遺骨を頂けたら護つて故郷兵庫に歸らうと思ひます

爆發五勇士告別式

廿六日新京で

【新京電話】二十三日午前九時四十分新京飛行場で飛行機が爆發した際殉職した福島大尉以下五名の告別式は二十六日午後二時新京商業學校講堂に於て飛行隊〇〇隊主催の下に執行することになつた

警察官に警告

警務局長から

最近關東廳管下の警察官が所謂祝賀氣分から放逸に流れ官紀の上から面白からぬ傾向があるので林警務局長は二十四日管下各警察署長に對し規律の振肅を計り警察官の體面を毀けるやうな行爲なきやう部下を戒飭されたしとの注意事項を發した

恭親王夫人

星ケ浦黑石礁五二一番地恭親王夫人寶氏はかねて病氣療養中であつたが二十三日午後四時死去した、恭親王家では未だ喪を發表せず近く正式に發喪する筈

白木屋の商品火保查定

【東京廿四日發】白木屋火災に對する火災保險會社の查定は漸く廿三日に至り商品に對する查定を終つたが六割百七十萬圓の見込である

天氣予報

北の風曇一時晴

各地溫度(廿四日午前十一時)

大連零下三 奉天零下二二
旅順同三 新京同二二
營口同八

けふの小洋相場(正午)

金百圓は一三三五圓七五錢

國難日本刀 (194)

高桑義生作　京極佳夕畫

百萬兩 (二)

百萬兩の現金輸送は、幕府の頭痛のたねだつた。

なぜなら、尊攘浪士が道に要して、百萬兩の奪還を企てゝゐるといふ風説があつた。聞き流すことが出來ない事である。

償金交附を約した小笠原圖書頭の思ひ切つた獨斷に對しては、柳營内ですら不平不滿の聲が高い。まして事務を傳へ聞いた尊攘派の公憤は、頂點に達した。

ごうくたる世論、幕府に對する非難の聲。

何故無禮の外夷に莫大の黄金を與へる必要があらう。むしろその金を以て攘夷を實行すべきだ——といふのである。

とにもかくにも、百萬兩といふものが、日本から失はれることはたしかだ。窮乏幕府がこの大金を捻出して、英國に支拂ふことも難事だつたが、長行の思慮は、この一途を執るほかはなかつた。しかるに、現金輸送の問題につきまとふ世間の風說——もしも尊攘浪士にそんなことをされては大變だ。事實やりかねない彼等なのである。

で、幕府はきはめて嚴重な警備のもとに百萬兩の輸送を行つた。前述の大八車十輛に分載した百萬兩——挽子には力量すぐれた力士をつかつた。鬼鹿毛はじめ筑紫洋など、長行がふだんひいきの力士である。更に前後をまもる役人、鐵砲組、講武所選りぬきの壯丁、およそ百名の警備隊を組織し、沿道の警戒を嚴にして、萬一にもさういふ虞れのない用意をした。

この一行が通過する東海道筋には、物見高い見物人が山のやうに群がつた。

「大したもんですなあ。あの箱の中がみんな金銀、恐ろしい目方ですぜ」

「さうでせう。力自慢の角力が、あと押し附きで、眞赤になつて、汗をしぼつてゐるんですから。ありやあみんな江戸の幕府角力なんだ」

「口では百萬兩だが、あたしやあ生れてから、百萬兩なんて金高を聞いたこともありませんからね」

「まつたく勘定するだけでも大變だ。百萬……一二三四——と數へて御覽なさい。百萬までいふのは骨が折れる。途中で忘れてしまふでせう」

當時の一兩の價値は、相當なものだつた。その一兩が百萬といふわけだが、百兩などといふ數字はその時分の民衆には考へられなかつた。夢想することも出來なかつた。が、俗に百萬兩といつたので嚴密には英貨十一萬磅に該當する金銀が、かうして輸送されたのだつた。

「惜しいぢやありませんか。みすく外國に取られてしまふんですぜ」

「殘念ですなあ。百萬兩あれば、何十萬の人間が救はれる。この物價のたかい、不景氣の世のなかに毛唐にそいつをたゞ取りされるなんて、いくぢのねえ話だ。もとくく無禮者を二三人斬り棄てたといふだけの事なんだから、なるほど斬つたのは惡いかも知れねえが無禮をはたらいた者にも、罪はあるのだ。それを楯に取つて、百萬兩とは、ひでえ事をしやあがる。十兩盜めば、笠の臺が飛ぶのが定だ。百萬兩は十兩の十萬倍、十萬人の命にあたる尊いものだ」

「これくく……」

沿道警備の地役人が聞きとがめた。

「左樣な事を高聲にいつてはならん」

「へえ」

だが、役人もおなじ思ひの者が多かつた。見物人のさういふ話を輕く制するばかり、誰も惜しい思ひである。暴慢な外夷を呪つた。憎惡に燃えた。

往來の旅人も足をとめた。

そのなかに、旅商人の風體で、すげ笠をかぶつた男女、神出鬼沒の桂小五郎と、絕えて久しい白菊のお千——二人が江戸下りの姿である。

海員の假裝舞踏會

大連海務協會シーメンス・ホームにては二十四、五の兩日にクリスマス假裝舞踏會として外國船員の慰安會を催す、兩日の入港船はキングシテイ、ザサラツク、シテイオブアゼン、プレイヂレン、ダルクロイ、オーストリエイリエン、ハートブリツヂ、ナニン、パトロクラス等の諸船で特にパトロクラス號より優秀なるバンドが來つて演奏する筈である

東亞會館Xマス

東亞會館ではクリスマスイブ晩餐會を廿四日午後五時から九時まで同六時から舞踏會、廿五日午後一時から四時まで御家族舞踏會、午後四時から七時までテイーダンス會、午後六時から九時まで晩餐會、午後七時から舞踏會、廿六日午後六時から九時まで晩餐會、午後六時から假裝舞踏會を催すと

本社特選 新棋戰 (其二)

平手　先四段△中村熊治　四段▲建部和歌夫

【圖は四一玉迄の局面】　中村氏持駒　ナシ

△二四歩　▲同　歩
△同　飛　▲二三歩
△二六飛　▲五三銀
△五八金　▲七四歩
△三六歩　▲八六歩
△同　歩　▲同　飛
△八七歩　▲八二飛

【土居八段講評】建部君は飛先の歩を切つては飛車の位置が決まつて策戰上不利なるを以て同型を避けて五三銀以下變化に出たのは實戰に適した至當の對策である

◇◇陸の若人◇◇

松竹蒲田作品大日方傳、八雲惠美子主演でラグビーを背景として姉弟愛を描いたもので結城一郎、上山草人、水久保澄子らが助演してゐる、監督は重宗務【中央映畫館上映】

コロムビア・ラジオ CI八一號に就いて

米國コロムビア・ラジオCI八一號は米國コロムビア會社に於いて製作されたる最新式最優秀品である本器は極く最近即ち三、四ケ月前に米國にて賣出された最新式のチウブを取付けた八球式で今回初めて東洋に輸入された、本器は「ヘトロダイン、セークウイト」を有して居り「メークレーベエバー」さ「ペートデ」チウブの使用と相待つてラジオの性能を一層優秀ならしめて居る

此の超「ヘトロダイン、セークウイト」は其の卓越せる自動音量調節器で即ち音量調節器を一度一定の處に廻して置けば自動的に音波の强弱を適度に調節し常に一定の音量を保たしめる、又此のラジオには世界に於けるラジオ中最新式のチウブ即ちコロムビアCI五六型が取付けてある

又CO五八ISにCI四ISの「スプレーシイルド」チウブは雜音の主體となる可き鎗選、漏話を完全に除去する爲受信を完全無缺ならしめたもので從來の樣にラジオチウブの周圍に鐘の覆を必要としなくなつた

此の「スプレーナイルド」さはコロムビア技師が多年苦心の結果チウブにアルミニウム、ペンキを應用したものでコロムビア會社だけで販賣して居る

今一つの重要なる改良は「ハム、エレミネーター」で今日迄大部分のラジオは非常に雜音が多いが此のコロムビア、ラジオは上記の「ハム、エレミネーター」に依つて雜音は完全に除去されてゐる

滿洲日報

大論戰を展開すべき多角的なる議會
政府・政黨作戰を練り 機微不可測の政情

【東京特電二十四日發】第六十四回帝國議會はいよ〳〵二十四日を以て召集されたが、齋藤內閣としては成立以來三度目の議會である然し前二回はいづれも非常時豫算を審議した臨時議會であつたので現內閣に對する政策の檢討、施設の批判はこれを充分なす餘裕がなかつた、從つて

今議會は その意味において……

在野黨の旗幟を鮮明にし、民政黨は反對に與黨的立場で滿足せんとしつゝあるも

純理論に おいてはこれまた或る程度までは突き込んで質問すべく、その他無產各派並に貴族院各派はいづれもそれ〴〵の立場から空前の大膨脹豫算に對する痛烈な檢討を行ふことはいふまでもない、されば年內の議會は例によつて……

らうが殊に對聯盟策、……どの外蒙支復交に伴ふ對……の方針および露支關係……支關係と日本の立場に……の論議が行はるべく又……日滿經濟統制、これに……源開發問題、更に軍縮……ての質問應答が相當盛……るものと豫想される

外交問題

財政問題

經濟問題

民政黨の對議會態度
豫算案を結局鵜呑み

純然たる野黨として
國民同盟の對議會策

決議案を附して財政案協賛か
貴族院の對議會態度

議會開會の詔書公布

詔書

貴院研究會 百五十名となる

貴院各派交涉

『明日』の要務は資源の經濟的開發
小磯軍參謀長來連談

……催される資源調查打合會議に出席すべく副官その他を隨へて二十四日午後七時五十分大連驛着列車にて來連、同打合會議關係者多數に迎へられ星の家に投宿したが、滿蒙資源に對する私見をたゝくべく車中に出迎へた記者に對し、次の如く語つた

歐洲大戰 におけるドイツの辛い經驗を見る時、自分は日本が持つてゐる經濟資源は實に貧弱です……資源に對して平素より充分に準備しておかねばならぬことを痛感させられるのです、もとより戰さばかりが考への基礎では無いが自分が軍人であるが故に一朝事あつた場合を一層深く考へさせられます、從つて私一個人の私見を以てするなれば、滿洲問題の進展に伴ふ日滿の共存共榮、經濟提携を發展させるために滿蒙の經濟資源を調査開發することは非常に有意義なことゝ思ひます、卽ち平戰兩時を通じて日本帝國は必要なる資源を滿洲國に仰ぎ、又滿洲國は國の開發と共に不足品を日本より入れる、これこそ日滿親善上最も必要なることゝ思ひます、歐洲大戰當時のドイツの實例によつても明かなる如く、石油系統の燃料も必要だがそれ以上に最も必要とするものは鐵と石炭ですこの

二大資源 が滿洲國には實に豐富にあるのです、次に必要なのは食料資源です、平時には左程不足を告げなくとも戰時には必ず不足します、歐洲大戰の例に依れば戰時農產額は平時の約七割に減じてゐます、然るに滿洲は世界に對する農產物の寶庫です、その他種々あります、が日本自身で過不足ないものは銅だけです、その他は全部不足して居り、これは滿洲より大體補給し得るのです、滿洲の大產物としきものは鐵、石炭、……鑛產では金、アルミ……マグネシューム、硫……料、被服原料として……毛です、その他平時……な資源としては建築……ブ原料等實に枚擧に……い程です、以上述べ……滿兩國にとつて滿蒙……も重大事で、尙一日……源が

經濟的に 開……いふことは明日以後……あります、唯一つこ……して考へるべきは開……の資本の形式と經路……と述べ、更に話題を轉……帶掃蕩に關しては……本年中に片づくでせ……の建築箇所は若干あ……ども、これも早晚平……ものと思ひます

と語つた、尙日程は目……二十六日、新京へ向ふ……

と【寫眞は小磯中將】

貴族院部長理事

衆議院の部長理事

鐵道問題を繞り三土鐵相彈劾の聲
政友二派の對立激化

選擧公營案
國同議會提出を進言

政府委員任命

政友各委員長候補者

議會風景

貴衆兩院各派勢力

孫科南京を去る
立法院職員人選に關して 蔣等と意見合はず

國際電話總會

法官異動

蘇波不可侵條約
批准を了し效力發生

臺灣航路の巴狀戰

滿鐵增資問題折衝
來春再度上京の際具體案携行

八田副總裁大株主と

滿鐵監事會 午餐會を開く

十河理事歸社 廿五日東京發

經過好調 ブ氏の快電

三二年婦人界の展望（一）

◆…今年の婦人界で目立つものは何といつても愛國運動の勃興です、正月中に滿洲を視察した林、久布白兩女史の歸國と共に婦風會はすつかりファッショ化し、これに續いて將校婦人會と愛國婦人會合同の愛國獻金が行はれ、又三月には陸海軍將校夫人たちが中心となつた日本家庭協會が生れました

◆…四月には全滿婦人聯合會の代表が母國を訪ひ、東京で移動兵士ホームと隣保館建設のため三萬圓の寄附金を集め、又五月には母國から各種の婦人使節が軍の慰問に來滿しました、斯うした空氣の中に婦人を中心としたファッショ團體は續々發會式を擧げましたが主なるものは六月發會の名流夫人を發起人とした日本航空婦人會、無名婦人の集まりたる十月發會の大日本國防婦人會等です

◆…又各地方にもファッショを標示した各種の婦人團體が生れましたが主なるものとして關西の國粹婦人聯盟、金澤國防婦人會等を擧げることが出來ます、さうして反動的に婦人の平和運動は全然振はず、唯婦風會が死んだ犬養首相を訪問し軍縮の理想を陳情しただけでした

お酒やご馳走でお召物が汚れたら

早くこんな方法で汚點拔きを……　春を迎ふ主婦の心得

お正月になるとお酒や御馳走のためにきものや洋服を汚す場合が多く、若しその手當をあやまりますと折角の晴着も臺なしになりますから汚れたらなるべく早く次の方法によつて汚點拔きをするやう藥品類もあらかじめ揃へて置いて頂きたいものです、この方法は毛織物、絹、人絹、木綿類の色物一切に應用出來ますから大變便利です

砂糖類や菓子など

斯んなものがついた時は厚い乾いた布地をよごれ物の下に敷き汚點の全面に大根おろしの汁を數回塗りつけ乍ら輕く叩きます、ついて間もないものはこれで綺麗にとれますが時日が經つて充分拔けないものは水五勺、醋酸二勺、硼砂末茶匙一杯の割合で作つた液體を塗り、乾いた厚い布地を汚れた物の上下に置いて上から熱いアイロンを當てます、すると殘つてゐた汚點は蒸氣と共にたつて上下の布にすつかり吸取られます、その後の始末は酒や醤油の場合と同樣です

酢物がついた時

微溫湯五勺に硼砂末茶匙二杯の割でよくかきまぜこの液で同樣にして汚點を拔き仕上げます。

×

帶や色のさめ易い裏地などのついたものはそのまゝで洗ふと裏へとほつたり裏の色がしみたりするおそれがありますから面倒でもその部分だけ解いて洗はねばなりません、これで大ていとれるはずですが若しどうしてもうまく行かぬやうでしたら電話八三一六番へおたづね下さればよろこんで御質問に應じます（寶ドライ商會主師岡氏談）

酒のかゝつた場合

硼砂末茶匙二杯、亞鉛末一杯を五勺の微溫湯によくかきまぜます、若しつまめる所でしたら十分間その中に浸しつまめなければ乾いた厚いバスタオル樣のものゝ上にひろげ藥液をガーゼに浸して汚れた箇所に數回叩きつけて汚れを去ります、仙臺平や角帶など厚地のものでこれだけで拔けない場合は醋酸曹達茶匙二杯、グリセリン一杯を二合の湯にとかし前と同じ方法で拔きます、全部とれましたら清水で藥の殘らぬやうよく拭きとりうすい醋酸液にちよつと浸して色澤を戻します、そのまゝ乾かすと際立ちますからまはりに水霧を吹いてぼかし、乾いた布に挾んで兩面からよく押して水氣をとり火に焙つたりしないで自然に乾します、すつかり乾いたら裏からアイロンで（霧を吹かないで）仕上げれば結構です。

醤油のしみた場合

水一合、アムモニア一勺、硼砂末茶匙七分を調合した液で前と同じ樣にしてとり、清水で藥を去り醋酸液をとほして同樣に仕上げます

ご婦人の新春の裝ひ　上品に落着を見せる事

▼…不斷洋裝をしていらつしやる御婦人方もお正月の廻禮には多少あらたまつた服裝がほしいものです、歐米では絹物でさへあれば派手な柄物でも禮服として用ゐられますが、日本人は禮服として無地の紋附が用ゐられる習慣上、洋服にしても矢張り無地ものゝ方が禮儀に適ふやうに思はれます、それも夜會やダンスなどの場合なら華やかな色合でないと榮えませんが、普通の廻禮でしたら強ひて地味にしないまでも上品で落ついた、例へばブルー、茶、グリーン、黑、紺系統等の色合が好もしいと思ひます

▼…おめでたですから若い方なら相當華やかな色をお用ゐになつて結構ですが、徒らに刺戟的な色合は下品です、寧ろ落着いた地色を使つて配色やスタイルによつて派手にした方が遙かにスマートで効果的でせう、配色といつてもゴテ〳〵と種々の色を使ふのは下品でカラー、カフスに調和のよい布やレースをとり合せるとかベルトに思ひ切り凝つた金具をつけるとか、左の胸あたりにデカ繪具やペンティックスで金か銀の花を描くといつた程度の裝飾品が床しいと思ひます

▼…生地はサテン、クレープデシン、絹ビロード等がふさはしく毛織地は禮儀でありません、スタイルはワンピースのアフタヌーンドレスであまり極端でない袖つきのスッキリした型が望ましく、スカートもふくらはぎがかくれる程度が恰好です、靴下は絹の肌色、靴も共の肌色か黑が上品でせう、さてその上に召す外套は矢張り絹物か毛皮が禮裝で絹ポプリン、絹ビロード等の襟とカフスに上品な毛皮をフンダンに使つたのはなか〳〵シークです、晝間でしたらフエルトかドレスと共生地のしやんとした帽子をおかぶりになつた方がよろしいでせう

▼…はなやかな夜の服として勿論イヴニングドレスが正式で靴もこれに相應して金や銀或は繻子地などの華奢なハイヒールを用ゐます。この場合にはお化粧もおぐしも相當派手にして帽子はお止め下さい。外套は晝と同樣で差支ありません（連鎖街中山婦人服店主談）

滿洲婦人歌壇

林田成子

○果物も色つくまゝに秋たけて海の彼方を思ひ出づる日

○手にのこる蜜柑のにほひふるさとの人など思ふ靜かなるよる

○晴れし日は沖の彼方に見ゆる島ふるさとの如くなつかしきかな

○旅にゐる寂しき幸をこのごろの雪ふる日々はしみ〴〵思ふ

○このくには北斗の眞下感傷の秋をなく鳥われもなきたし

家庭顧問

盲腸炎手術のあとでは子供が出來ないものか

【問】私は本年三十二歳の女ですが二十四歳で結婚し唯今八歳と五歳の子供があります、昭和四年盲腸炎の切開手術を受けまして以來身體はごく健康ですのにその後一回も姙娠致しません、主人も丈夫です、五歳の子供は本年の八月まで乳を呑んでゐました。人樣に伺ひますと盲腸炎の手術を受けた者は子供が出來ないさうでがつかりしてゐますが、本當でせうか（子寶のほしい女）

貴女の不姙は手術の結果でない、他にある

岩男其二郎

【答】貴女は既に二人のお子さんがおありですから問題は其後即ち第二次的不姙の原因を調べればよろしいわけになります、お尋ねの盲腸炎切開手術は結果が惡くて腸腔内に障碍を起し卵巣や輸卵管等を荒廢させた場合は不姙症になりますが、貴女が手術後健康の増進されてゐる點から考へますとさういふうれひはなく從つて手術に原因する不姙とは考へられません、とすれば不姙の原因は授乳性子宮萎縮症或は子宮内膜炎、實質炎、子宮後屈症、輸卵管閉塞等の何れかでせう、長年月に亘つて授乳してゐますと子宮は萎縮して生理的作用が障碍され月經不順、無月經、不姙といふやうなことになり勝ちですが貴女のは恐らくこれではないでせうか、其他の病氣も必ず自覺的苦痛があるとは限りませんから苦痛がないからとて油斷出來ません、一日も早く專門醫の診察をお受けになつて不姙の原因をのぞき、再び御希望の通り丈夫なお子樣を御擧げになります樣希望いたします

硝子　斯うすれば立派になる

お正月を前にどの家庭でもお部屋のお掃除に多忙を極めます、殊に硝子張りで圍まれてゐる滿洲の家庭は硝子のお掃除に骨が折れますが、簡單にしかも綺麗に短時間で拭く方法？

アルコールで拭くのも一方法でせう、又石鹼水で拭くのもよいでせうが、お臺所に使ふボンアミ（磨粉と石鹼を混合した固形のもの）を濡れた軟かい雜巾につけながら硝子を裏表全部拭きますと、硝子は眞白になります、これを乾燥するまで放つて乾きましたら乾いた軟かい布で綺麗に拭きとりますと澄み切つた氣持よい硝子になります、ボンアミですと手間も別にかゝらず、どんなに多い硝子板でも人手さへあれば短時間で綺麗に磨けます、因にボンアミは卅錢から五十錢位でもとめられます（大連浪速町輪田硝子店主談）

ベルリンの八百屋さん

いはゆる交通地獄の繁華な街をウロウロして車馬を避けて行く歩行者を見下しながら誇らし氣に——事實感心するが——蕎麥のザルを高く積んで行く蕎麥屋の出前持が我國にゐるやうに、ベルリンにも青物や果物を入れた籠を頭の上に高く積んで歩く八百屋さんがゐる、何處も同じ「あんちやん」氣分からこの素晴らしい街のユーモアを演ずる勇み肌が居ること洋の東西を問はぬらしい

(78)

キヲツケナイトオツコチルヨ
ミツタン カラダガフルエル

10
トウトウ10バンエキタヨ

コレガ10バン ミツタンニスコシデテヰルヨ
カタメヲツムツテ キミノワルイモンダナ

オカシイネエ フタバヤウデアタマガナイゾ
ナルホドフシギダ オクガミエル
マアアラモンダトモツタラトビラガナインダ

滿日各地版

東邊道、間島方面への 鮮農移住案具體化
東亞勸業の手で實施

【奉天】東邊道一帶、間島方面からの地域に鮮農を移住せしめる案は總督府にても具體化し、東亞勸業公司に依囑して指導に當てる方針であるが、來年度は數百戸宛の集團移民を數組に分ち移民する模樣で、豫算關係によつては數千名の移民を實行する意向である、然し現住の鮮農にたいしては全然これら集團移民と別項に取扱ひ、前一任鮮農民には農耕低資の融資、糧種子の支給、收穫期までの生活資の貸與といふ範圍の金融と社會的施設をも行ふ方針であり、これまた東亞勸業の手を經由して實施されるものとみられてゐる、將來間島と東邊道は地域的に集團移民の根源を成すやう指導する目的であると

奥地領事館の警察官兼任問題
關東廳との統制如何

【奉天】滿洲國の承認に伴ひ今後各地の匪賊が平定になれば邦人の奥地に向ふものもかなり增加するので、邦人保護の必要上、外務省直系の領事館警察官を增員せねばならぬが、豫算其他の關係上、果して十二分の外務省警察官を配置し得られるや否やは問題である、既に關東廳警務局と外務省關係の警察官との統一案さへ論議されてゐる程である、現に滿洲はこれまで關東廳兼務の外務省警察官が派遣されてゐたが、領事館の開設により昔の如く兼務官を派遣するかどうかゞ問題である如く瀋海線山城鎭或は通化、海龍の各分館が領事館に昇格した曉、又は他に領事館が開設された際は當然警察官を配置せねばならぬので、右外務省警察官と關東廳警察官との統制問題は當然起きて來るから目下外務關東廳當局においても研究中である、然し大體において關東廳警察官の兼務が實現するのではないかとみられてゐる

貨物車脫線

【奉天】午前八時半安東發の二三四貨物車が劉河宋驛構內に進入せんとした際機關車二輛目の車軸折れ脫線、其のため午後一時着の急行は二時間半遲着した

明星ホール 正式開場

【奉天】奉天加茂町に新設された明星ダンスホールには二十三日奉天署より正式に開業許可を得たのでいよ〳〵二十四日のクリスマス當夜より華々しく開場するなほ同ホールのダンサーは十八名許可となつてゐるが既に內地より三十三名のダンサーが來てゐるので近く全員認可されるはづ

戰傷六勇士 凱旋入院

【奉天】三角地帶匪賊討伐に出動し長子山及び蠶兒山附近に於いて戰鬪中名譽の負傷をなした奉天〇〇隊六勇士は二十二日奉天に送られ衞戍病院に入院手當中であるがその中の前島龜吉上等兵は頭部に盲貫銃創を負ふてゐるため同日午前十時四十二分惜くも戰友に手を握られて遂に名譽の戰死を遂げた尙同部隊は廿四日奉天に凱旋の筈

皇軍、析木城に入城

藤內巡査部長 一周年追悼會

【鳳凰城】昨年十二月廿二日午前三時半約百名の匪賊が高麗門驛と同地警官派出所とを同時に襲撃せる際奮戰遂に名譽の戰死を遂げたる故藤內巽二巡査部長の一周年追悼會が二十二日午前十時半より新築の高麗門派出所內に於て盛大に擧行された、當地から辰巳巡査部長夫妻(辰巳夫人は故藤內部長の實妹)は遺族として、本田警務主任は署長代理として參列し式は先づ高海臺領師の讀經に始まり遺族近親各代表者の燒香ありて正午式を終つたが同地としては稀に見る盛儀であつた、尙此日同地渡邊驛長、白崎巡査等が主となり派出所構內に故藤內巡査部長の記念碑を建立する等此催しに對し兩氏の盡力は一通りでなかつた

文官屯派出所 屋上に銃眼
盛大に開所式を擧行

【奉天】モダン文官屯の警察派出所が廿日竣工し伊藤警部、島田警部補の立會で開所式を擧行した、滿洲にはめづらしい容姿で而も地方の必要にせまられて屋上には銃眼があり、匪賊の襲來には十二分の防禦ができる、この日近鄕十一ケ村の滿洲國村長が列席したのは盛觀で、村長一同は國境を超越して日本警察官が我等の保護に當り事變來の勞苦にたいし感謝の外はないと心からの謝辭を述べ記念撮影をした、これと同樣に最近新城子にもモダーン警官派出所が竣工した、地方農村の鎭めとして居住民の信賴を受けてゐる(寫眞は文官屯派出所開所式)

荷馬車拂底で 賃銀が暴騰
奉天の運搬業困る

【奉天】歲末を控へて奉天市中の荷馬車は著るしく拂底し各種運搬業者及石炭商は多大の不便を感じつゝあると同時に馬車賃の暴騰を來すに至つた、從來荷馬車一頭引き一日の賃銀二元十仙同二頭引き三元三十仙三頭引き四元三十仙であつたが現在では二三割の昂騰を見てゐる

管下五十八縣の 縣治統制
自治制實現の方針

【奉天】奉天民政廳としては管下五十八縣の縣治政策としては現在一等から三等の差級縣稱であるがこれは將來改稱する方針である、縣の構成は從來財務、總務、警務教育、實業の五局であつたが、新令によると實業局を廢止することになつてゐる、然し大小各縣が右の如き五局制を採用することは縣費を膨脹せしめる禍根となるので縣の財政收入の點から省又は中央で統制し得らる機關はこれを縣治から除き其間各縣の情勢に從つて局制を改め縮少する考へである、そして縣治の根本方針としては自治制の實現を期待し、縣治統制の後、區、村制の確立を計り、現在各縣の小、中學校の如きも或は縣に又は區に、村費により經營せるものあり、これらを統一して複雜化を防ぎ成るべく單一化さしめる方針であると

除幕式を兼ね 慰靈祭執行
湯崗子三勇士記念碑

【鞍山】本年度鬼湯崗子溫泉を襲撃した匪賊と戰ひ名譽の戰死を遂げた上等看護長菊地次郞氏、伍長渡邊嘉平氏、伍長瀧谷忠司氏の戰死記念碑建設に就ては既報の通り溫泉公園北方宮様お手植の松附近の聖地に建設中であつたか愈々竣工したので二十二日午前十一時半から除幕式を兼ね慰靈祭が執行せられた、自然石の碑面には上田大隊長の執筆にて「忠烈」と刻せられてあり式は梶野神職の修祓行事碑の除幕、招魂詞奏上、型の如く行はれ貴島衞戍病院長、小野寺所長、泉警視、久留島分會長、井上驛長等玉串奉奠あり齋藤支配人の挨拶にて盛儀を了つた地下に眠る三勇士の英靈も定めし喜ばれたことであらう

滿洲自動車 認可
公稱資本百萬圓

【奉天】兼て問題となつてゐた滿洲自動車株式會社は二十三日正式に設立認可を得た右會社は公稱資

凱旋工兵隊 送別宴

【鐵嶺】鐵嶺初代の駐剳工兵隊として昭和六年四月以來鐵嶺駐剳の任にあつた工兵隊第〇〇隊は昨年事變勃發するや奉天新京吉林チチハル等に出動し更に錦州に轉戰再び北滿に活動するなど一ケ年餘は殆ど出動して各地轉戰るところ赫々たる武勳を樹てたが愈々來る二十九日滿洲駐剳の重任を果して第〇〇隊と交替して母國に凱旋することになつたので鐵嶺時局後援會主催の下に高城〇隊長以下幹部九名を主賓とし二十七日午後六時より萬安に於て盛大なる送別宴を開催することになつた、會費四圓一般多數の出席を希望すると

長岡部隊の 復讐戰

【鞍山】黃花甸の戰鬪に於て長〇隊長を失つた小林〇隊は悲壯な決心の下に中島〇隊と協力作戰をなし引續き殘敵を掃蕩中の處二十日午前六時黃花甸の南方劉家堡子に於て大砲二門、重機關銃等を有する約五百の敵と衝突し長岡大尉の仇と猛烈なる攻擊を加へ突擊又突擊遂に之を潰走せしめた、此の戰鬪において我軍は負傷兵五名を出したが敵は死體二十餘個を遺棄して逃走した、我軍は引續き積雪を蹴つて進擊中であると

鞍山部隊 敵匪を潰滅

【鞍山】黃花甸に向つて出動した鞍山上田〇隊は途中萬難を排し二十一日敵地に進軍し小林部隊、中島部隊と合致し二十二日早朝勇躍前進中午前九時黃花甸南方約二里の地點周家堡子において敵の前哨部隊約百名と衝突し約三十分間銃火を交へたが敵は死體二を遺棄して逃走した、更に進擊を續けたが劉匪首は小林〇隊の剛勇さに恐れをなし關門山附近の峪地に後退潜伏し王全一の部隊は〇〇〇に後退した、上田〇隊の應援を知るや敵匪は死物狂ひに抵抗を試みんとして居る模樣であるが此處二三日中にはさしもの敵匪も潰滅されるものと觀られて居る

貧困者救濟に 百圓寄附

【奉天】春日町八番地森洋行では金百圓を貧困者救濟金として二十三日奉天署に寄附した

避難鮮人に 冬着分配

【四平街】懷德縣五家子より公主嶺に引揚た一千五百名の避難鮮人に對し各地の同情者より寄せられた十九梱包の冬衣が到着したのでそれ〳〵分配したところ彼等感泣これをうけた、なほ領事館は十五日より冬期間に於ける救濟を開始したのである

安東署の貧困 者救濟

【安東】安東署はかねてより市內居住の極貧者を調査中であつたがこの程一段落をつげた、その結果に依ると五十三戸二百二十名でこの氣の毒な人々に對し來る二十五日までにそれ〴〵金一封と白米若干を貧困者救濟費から惠與し正月らしい正月を迎へさせることゝなつた

氣の毒な人達に 溫い同情品配給
奉天署がトラックで

【奉天】年の瀨もあと數日に迫つたこの難關を越すに越されず寒さと、飢に泣いてゐる哀れな邦人貧困者に對し奉天署では第二回の救濟を行ふことゝなつたが、今回救濟すべき邦人貧困者は十六戸六十名で前回よりも溫かい救ひの手を伸ばすことゝなり、廿四日小畑警部補等はトラックに白米と石炭を積み順々に之等の家族にお金と米と石炭を支給したが殊に頑世ない小谷育兒ホームの幼兒にも人並に喜び滿ちた正月を迎へさせてやりたい心から玩具を惠與した又病院に入院中の施療患者に對しても夫々救濟品を與へた處何れも淚を流して感謝してゐた

トテモ 偉い賣行!

キング新年號は全く驚のやうな賣行き、それもその筈素晴らしい値打のある四大附錄と本誌を合せ**五册でタツタ六十錢**
新年號御覽になるなら キングに限ります。
賣れる〳〵、どこ迄賣れるか分らない!
再版三版天井知らずの大賣行!
誰方も大急ぎお求め下さい。

井上司令官

【安東】指揮連絡の爲め來安中の井上獨立守備隊司令官は三角地討伐一段落をつげたので二十日午後八時四十五分發にて離安北行歸任した

旅順放送

▲出雲大社敎では恒例に依り來る三十一日午後八時から大祓式を執行する
▲觀世流正謠會では二十五日午後一時から壬申忘年謠曲會を開催する番組は
▲素謠 和布刈、張良、卷絹
▲獨吟 八島、江口、蟬丸、鉢木、女郞花、熊坂
▲仕舞 鞍馬天狗(阿部かなめ)富士太鼓(古澤治子)松虫(高木美壽子)玉の段(稻本勇)にて番外は稻本氏は咸陽宮を謠ふ
▲忠海町高橋サタ子(四)は疫痢に大津町所司ツトム(二)は咽喉ヂフテリヤに元寶町一三五水野義則(八)は猩紅熱疑似さいづれも診斷された
▲在港中の軍艦平戶乘組員は二十三日午後一時から黃金臺一帶に於て陸戰隊演習を行ふ
▲旅順日本基督敎會日曜學校では來る二十六日は新市街講義所にて二十七日は舊市街會堂にてそれ〴〵クリスマス祭を開催、合唱、對話演說、活人畫、ハーモニカ合奏、プレゼント分配等がある

不逞鮮人の 取締は日滿協調
三矢協定破棄對策

【奉天】三矢協定の廢棄に伴ふ不良鮮人の取締、特に共產黨及反滿滿國約運動、朝鮮獨立等を計畫するものにたいしては奉天警務廳としても地方的に取締の緩急をする方針であるが、總督府警務局としても全滿的若しくは奉天省の思想方面の特別取締については矢張り部分的協調をもつて進む考へであるらしいと

沿線往來

▲千種滿鐵衞生課長 二十三日來奉
▲田中香苗氏(大每奉天支局員)今回新京に轉任することゝなり二十三日各方面を歷訪挨拶をなしたが同氏は二十五日赴任の筈
▲天野〇團長 二十三日歸奉

防備嚴重な 鄧鐵梅の城砦

周圍には防彈壁 お庭には穴藏

【安東】去る十四日安東出發、川上部隊に配屬され行動を共にしてゐた安東憲兵分隊大沼軍曹は天谷中佐一行と共に廿一日夜歸安したが同部隊の戰況及び匪首鄧鐵梅の根據地たりし龍王廟の模樣に關し次の如く語つた

川上部隊に屬し十七日黃旗街に到着したが午前七時旦部落を通行中の便衣二名を逮捕檢查をしたところ此奴は東北民衆自衞軍第四方面第七旅司令王星譜の部下で仁旗衞及び大梨樹溝子の村長宛の密書及び布告文を封筒に入れ所持してゐたので嚴重に取調べたが、卻々頑强に口を開かず銃殺して呉れと云ひ張り度胸骨の据はつた賊だつた同日午前十時半頃約三百の大刀會と遭遇、討伐最初の血祭に猛烈なる火蓋を切り午後零時半頃まで突戰、遂に擊退し同夜は黃旗溝子に宿營、夜間の警備線を敷いてゐたところ十八日午前零時半頃約六百の有勢な敵は暗夜を利し健氣にも夜襲を企てたので山砲を一發見舞ひ敵の動靜を窺つた、すると僅か五十米ばかりの前方に半圓形に接近して來た賊はワーッと喊聲をあげると同時に猛烈な射擊を開始したが、我が部隊の果敢な猛擊に流石の賊もバタ〳〵と倒れ午前一時半頃連長以下多數の死傷者を收容して敗走した、十八日全員は勇躍前進し午後零時半龍王廟前方高地に約六百の尖兵集團を發見したが最初友軍ではないかと思ひ日章旗を打振つたところ、忽ち射擊を開始したので猛擊を加へ遂に擊破、賊軍は龍王廟に敗走しつゝ同地の賊團に日本軍來ると連呼しどん〳〵退却してしまつた、我が部隊は午後一時半頃龍王廟に入城したが大村、高橋兩部隊も殆ど同時に三方面より入城した、賊の歩哨線や散兵壕には炊きたての赤飯や茶碗が澤山亂雜に殘されてあつたが丁度晝食中であつたらしい、此の時に匪首鄧鐵梅も逃走したのではないかと思はれてゐるが眞疑は判らない、鄧の住宅は丁度城內の中央部に堂々たる一劃を巡らし市三尺高さ一丈三尺位の堅固な煉瓦の防彈壁を築いて倉庫には掠奪した白米、鹽、石油、ローソクなどを山と積み重ね、又た一番恐ろしい飛行機の爆擊を逃れる爲め廣い前庭に大きな潛伏用の穴藏を掘つてゐた、十八日夜は冷雨となつたが夜襲に備へて夜間警備をしてゐたところ、十九日午前三時頃暗夜に降りしきる雨を衝いて紅槍會、大刀會匪等を混入した匪賊襲來して來たが約三十分交戰の後この寄襲を退けた、賊は高麗門より黃旗街の近く一里の地點まで高地と云ふ高地の突端にはすべて村民を强制して立派な散兵壕を構築して居り、北井子から先きは殆ど散兵壕の濠がうね〳〵と掘られ如何に賊が周到な用意をし頑强に抵抗したかは川上部隊のやつた四度の激戰で容易にうなづける程だ、味方に死傷者のなかつたのは實に天祐である

キヤラメル箱に 悲壯な遺書

高山部隊の奮戰と宣撫班の活動實況

【安東】東邊道西部三角地帶の掃匪に出動した第○團、奉天、遼山關、安東の各○○隊及び滿洲側軍隊は去る十三日以來一齊に賊團の殲滅を期し酷寒と鬪ひ蹈路險峻に惱まされつゝ徹底的に匪賊を掃滅し第一次掃匪を終了各部隊も高山部隊に引續き近く凱旋する筈であるが激戰に激戰を重ね遂ひに名譽の戰死傷者を出した高山部隊に隨從し軍と行動を共にした宣撫員谷戸氏は同部隊の戰況及び政治工作に關し次の如く語つた

十七日午前八時姜家大堡を出發した高山部隊は行軍約二時間で突滿に到着するや高地に據る約三百の賊團より猛烈な射擊を受け直に應戰態勢に移り之を西南方に壓迫し數時間の後同高地を占領したが機關銃の彈藥補充中の前島上等兵は右眼より左耳後方に貫通銃創をうけた、部隊は更に西進石柵山に集結する敵四百を擊破急進して同日午後三時頃泡家山の散兵壕に據る賊團四百に對し山砲の偉力を以て擊退、同夜は北井子に宿泊した宣撫員は直に附近有力者を集合せしめ懇談會を開催、充分に日滿親善の眞意を知らしめ、翌十八日出發、午後八時四十五分泉堡に於て前方約八百米突の泰兒山の敵約二千と交戰六時間に及び激戰に陷つたが、敵は同右翼部地帶より約千五百の增援隊を送り追擊砲の雨を浴びせたので寡少ながら沈着勇敢な高山○隊長以下の精銳は敵の重圍に悲壯なる最後の決心を爲し猛烈なる砲火を集中し午後四時敵を沈默せしめ、更に急進して氷雨降る中を終夜强行軍をつゞけたが一名の落伍者もなく十九日徐家大嶺に進出した、この間宣撫員等はキヤラメルの空箱に悲壯なる遺書をも認め第一線に立ち勇敢なる活動をつゞけた、此の戰鬪は實にかの北大營以來の猛烈な激戰であつたと同部隊將兵は語つてゐた程である、第一地方宣撫班は榆樹村、渾水泡、河深溝、小房身、北井子等で徹底的政治工作を行ひ地方民をして滿洲國の建設發展と皇軍の盡力に多大の感激を與へしめた、尙ほ黃土坎、龍王廟も充分なる工作行はれ日本軍及び奉天省の布告、傳單、ポスター等を各村に配布し彼等をして異常な關心を惹起せしめ所期の目的を達したものと認めてゐる

安東の年賀郵便 三十萬通を突破

昨年に比し約三倍

【安東】安東郵便局では豫定の通り去る廿日より年賀郵便特別取扱を開始したが二十日の引受一四、一六六通廿一日は一四、四二八通で昨年の廿日五、九三四通、二十一日の五、四四四通に比し何れも約三倍の增加を見、又到着の分は二十日前年の一五〇通に比べ九五通、二十一日前年五二五通に比べ六百三十五通の增加を示してゐるので郵便局では發着數ともに豫定の三十萬を突破するものと看做して善處してゐる

中間驛に送電

【開原】開原電氣株式會社は豫て昌圖附屬地及馬仲河金溝子の谷畔に送電計畫を建て其工事を急ぎつゝあつたが漸く二十二日其筋の認可を得て點燈したが成績頗る良好である過去久しき間ランプの不便と危險に惱まされて來た同地の住民は蘇生の思ひで其利便を喜んで居ると

腸チフス流行

【吉林】年末押し迫つた今日腸チフス發生が流行して去る十三日大馬路錦田晴實(四)が確診され十五日同山下昌平(三)十七日同家綾子(七)が同症と診斷され當地居留民會では一時も早く此の流行を防ぐため東洋病院と打合せ中であるが他にも患者有る模樣にて二十二日二十三日の兩日に渡り午後三時より四時までの時間を豫防注射を施行した

四平街に競馬會

明年四月第一回開催

【四平街】馬匹の改良と之が智識普及を圖るべく豫て地方有志間に競馬會組織が擡頭しつゝありしが去る二十二日夕、茶谷榮治郞、山瀨尙江、竹本二丸、田中佐重郞、木藤品次郞、歲安光之助、櫻井敎輔の諸氏は滿鐵倶樂部に會合し前記組織方法に關し諸般の協議を遂げた結果愈々明年四月の候を卜し第一回の競馬會を開催することに協議一決、玆に地方多年の宿望であつた競馬會の實現化を見るに至つた、而して組織方法は一株二十圓を三百株とし此の內百五十株は數十人かの發起者が責任上之を引受け殘餘百五十株を一般地方の希望者より公募する由にて若し應募者が既定數の百五十株に超過する場合は發起者側が最も公平なる方法に依りて之を處分し公募は遲くも明年一月上旬より開始する筈である因に設立事務所は當分市內平安街茶谷氏の宅に置き同氏並に歲安の兩氏が專ら其の事務に當ることゝなつた

亞細亞窯業會社總會

【開原】泉頭に在る亞細亞窯業株式會社は二十二日午後二時より開原市場會社に於て第十五回定時株主總會を開催し原案通り可決取締役任期滿了に付選擧の結果、藤井、佐竹、池田の三氏重任宮地義芳氏新任し何れも就任し互選の結果專務取締役は藤井武夫氏重任し宮地氏は取締役支配人として活躍する事となつたと、因に開原市場及亞細亞窯業專務藤井武夫氏は同日午後五時官民有志數十名を二葉に招じ淸宴を催した

撫順の火事

作業場燒く

【撫順】歲末火災時節の折柄廿一日午後五時四十分頃附屬地北端永安橋畔撫順炭礦工事事務所北部工務區作業場が出火すはこそと消防隊から消防自動車其他撫順警察署員、炭礦關係者等直に現場に急行消火に努めたが何しろ木造トタン葺きの作業場とて火は見る〳〵うちに建物全部に擴がり約四十分後作業場を全燒鎭火したが損害は約五六百圓、原因は濕爐からの失火らしく目下撫順署司法係にて取調べ中

裝甲列車 滿洲里突進記（二）

野原砲兵中尉手記

然るに日沒賊に近く札蘭屯に指揮の中に在り、依つて裝甲列車長野原中尉は修理完成を待つに堪へず裝甲牽引車に搭乘し破壞せる軌條上を突進し敵を突破しつゝ疾驅して午後七時頃札蘭屯驛に入る、同所に於て矢崎參謀と會し同旅團の一部は既に當地に到着し主力は目下集中しつゝあり、其の

先遣隊 たる宮本隊は當地にて列車に搭乘し前進準備中にして、又同旅團の工兵を以て臨時編成せられたる修理列車は既に約一時間前先行し在るを知る、而して裝甲列車は同旅團と協力を約して前進することゝなり十里、巴里木驛に於て該修理列車に會し更に先行す、十二月三日拂曉修理車は原方約一粁附近に達す、此の時我方南北の線に約三百の敵あり、我が進路上の鐵道を破壞して我を猛射す、石川少尉は勇敢に機關四を指揮して驛南方の敵を攻擊し野原中尉は山砲を以て主として驛及其の北側の敵を砲擊す、驛に一列車あり機關車一貨車三の列車により敵は逃走を始むるを認め

追擊を 加ふ、然るに如何せん進路上の鐵道破壞しあり、切斷挑發しつゝ修理列車の到着を待ち、修理成ると共に出發急進すれば敵の列車は機關車一貨車三輛なるため逃げ足速きに比し我が裝甲列車は九輛編成にして各車の重量亦大なり、依つて枕木を滿載せる貨車一輛を雅魯驛に放棄して追擊す、午後二時半頃碾子山東方に達するや敵の列車同驛に在るを認め直に之に追尾せんとせしも同驛構外に敵は貨車三輛を脫線せしめて我進路を阻絕し避けり、依つて直に敵列車に向ひ砲擊を開始せしが、驛構內に在りて列車の認識充分ならず機關車の煙突の下部に對して射擊するの外なく、忽ちにして西方に遁走を始む、次いで驛構外にて一旦停車せるを認め、再びこれを射擊せしに更に前進して稜線下に入り遂に之を逸す、此時未だ我が修理列車到着せず裝甲列車全員全智

全力を 擧げて此の顚覆列車を取除き前進せんと努めしも遂に不可能なるを知り全員切齒して天を仰ぎて長嘆す、修理列車到着に依り此の作業完成せしため前進を甦し、アパト驛に入りたるは午後三時頃なり、午後三時半頃荒木工兵中尉の搭乘せる裝甲牽引車は興安驛偵察のため先行す、而して我が追尾を知れる敵は興安驛より貨車三輛に岩石を滿載して突放せり、恰も線路は大興安嶺の分水嶺附近の急坂に在り我に向ひ大速度を以て驀進し來る、其の危急より我裝甲列車を救ふべく同中尉は咄嗟の間に裝甲牽引車より脫線機を卸下し同車を後退せしめ置き、兵三名と共に脫線機を軌條に裝着し、裝甲牽引車の位置に向ひ後退し來り、百米附近に達するや該突放車は怒濤の如く

脫線機 に乘り上げ、餘勢を以て脫線したる儘荒狂ひつゝ同中尉等の附近に跳るや三輛共顚覆し、同時に滿載せる岩石を以て無殘にも卽死せしむ、其全身完膚なく、骨なも粉碎せる最後に至りては壯烈鬼神を泣かしむるものあり、同位置は急坂の山腹道にして鐵道の外一歩も左右に避くる餘地なかりしなり、然るに四五分にして更に五十噸車輛に兵器被服を滿載し二輛連結にて突放し來りしが既に顚覆せる車輛に衝突し、折重なりて顚覆せるに止まり、荒木中尉の壯烈なる犧牲は遂に我が裝甲牽引車及裝甲列車を救ひしなり、同中尉の指揮せし兵は夫々打撲傷を受けしも重傷ならず

一同涙 乍らに遺骸を收容し牽引車に納めたり、此の頃既に暮色蒼然として寒氣と共に迫り來る、暴虐の敵に向ふ心は逸るも修理列車の到着を待ち、顚覆列車五輛を排除して前進せんことは夜を徹するも至難なり、恨みを呑んで裝甲列車及牽引車はアパト驛に歸還す、其の夜アパトの驛舍に荒木中尉の遺骸を安置し一同通夜して告別式を行ふ

戰術も一風變つた巧妙さで侮り難い
三角地帶兵匪討伐を了へ歸奉した天野將軍戰況を語る

【奉天電話】三角地帶の兵匪討伐を了へて奉天に歸還した天野○團長は語る

鄧鐵梅、劉縣長の兵匪軍は、附近部落民家を強制的に二十歲から二十七歲までの壯年者を徵兵し、武器彈藥、殊に迫擊砲なども備へ、その戰術も今迄の兵匪とは一風變つた巧妙さで、侮り難いものがあつた、あの三角地帶は鑛山が多く、電信連絡が巧くゆかないので弱つた、それに道路が思つたより惡かつたので非常に難行を續けた、河に張り詰めた氷は十糎位の薄氷で、その上は馬や自動車は渡れないので、碎氷しながら、やつと渡り、また山道等は雪が凍結して氷山のやうになつてゐるので、自動車を上から綱でひつ張り揚げるなどして難行した、敵匪はこちらが大軍で押寄せると忽ち霧散してしまつて、小勢で進むと山の上から猛射を浴びせるといふ有樣で、その討伐には非常に困難を極めた、今度の討伐には十日間の食糧を準備して行つたが十一日間に延びて了つた、この討伐で大體匪軍の主力は失はれたが、何分網の目のやうな處にひよいひよい逃げ込んで了ふのだから始末が惡い、彼等の荒した跡は想像以上に酷いものであつた、東邊道等はその比ではない、我軍の一部隊は目下寬甸に駐屯してゐるが、今後は主に政治工作や宣撫敎化に勉めなければならない

尙天野○團長は○○團長に報告の爲廿四日午前十一時五分遼陽に向つた

戰死國境警察隊員告別式

【新京電話】滿洲里事件で戰死した滿洲國々境警察隊隊員大木俊次、谷口邦男、加納一二、新井誠一、平野敏三、山内兼吉の六氏の遺骨は近く僚友に守られ新京に到着することゝなり新京本願寺に安置され廿七日午後一時より祝町大師堂に於て滿洲國主催の下に告別式を行ふことゝなつた

駐屯部隊管下兵備完了

【奉天電話】第○師團管下の警備は通信を除く外既に兵備を完了したが尙○兵○聯隊は二十四日午前三時滿鐵沿線警備の配置についた

蘇炳文トムスクに監禁中

【モスクワ二十三日發】蘇政府機關タス通信は蘇炳文の處置に關し種々の臆測が傳へられてゐるに對し之を否定し蘇炳文並に其の部下は未だトムスク地方に監禁中なる旨二十三日公表した

友田參事縣葬に竹内氏列席

【新京電話】九月十三日刀窩堡子に於て鄧鐵梅部下のため慘殺されたる友田參事一行の慰靈祭は二十五日午後一時より鳳凰城に於て縣知事以下出席縣葬を行ふことゝなりこれに對し民政部では人事課長竹内德雄氏が民政部を代表して出席することゝなつた

齊々哈爾海拉爾間航空郵便

二十六日から滿洲航空株式會社の開始せられ從來の同會社新義州新京線、新京チチハル線に連絡して航空郵便物の遞送を取扱ふ事になつたので交通及通信上著るしく便利になつたチチハル、ハイラル間航空機發着時刻は左の通りである

チチハル發　前九、三〇
ハルビン　後一、〇〇

日滿兩國人に呼びかける熱辯
馮司法部總長の講演

滿洲文化協會主催滿洲國司法部總長馮涵清氏の講演會は廿四日午後四時十分から滿鐵協和會館で開かれたが、日滿文化協會理事開會の辭を述べ馮總長は秘書木村氏の通譯で「訪日所感」と題し滿洲國人に呼びかける言葉として熱辯を揮つた、氏は先づ

溥儀執政は滿洲國は王道主義の國故第一に司法制度確立を必要とするといはれたので自分が日本を訪れることになつたと前提し、日本の司法制度の完備、少年犯罪者の敎化方法、司法機關と警察機關との圓滿な連絡等をそれぞれ詳細な實例を以て說明し、極力これを賞揚、更に一般的な感想として日本が如何に滿洲國に對して切實な氣持を持ち、國民全部が如何に滿洲國に好意を寄せてゐるかをこれまた實例を列擧して說明

日本は滿洲國をして決して第二の朝鮮たらしめるものではないと斷定した、次いで經濟問題について論を進め、資本と技術的に貧弱な滿洲國と、資源は少ないが技術的にも財的にも優れた日本とが相提携して行くことは兩國双方に大きな利益をもたらすものであると述べ、再び論を返して

現在の日滿人の感情は或點圓滿でないところもあるが、滿洲國人はこの際日本の誠意をその儘に承け入れることが最も必要である

と熱を籠めて滿洲國人に呼びかけ更に在滿日本人に熱望する言葉として

在滿日本人諸君も滿洲國人をして日本が滿洲國を第二の朝鮮化するといふが如き猜疑心を起さしめないやうに努力されんことを望む

と述べて日本人聽衆に強い感銘を與へた、かくて講演にますます熱を加へた氏はこの時日滿親善を謳つた船中作の詩を朗讀、最後に

私は新京に歸つてから日本國民の氣持を滿洲國民に徹底させることに努め、司法制度の確立に着手しその立法の精神は我國民精神の保有に努めて東洋平和の確立を期したい

滿洲國内における治外法權の撤廢については日本各方面で充分な諒解を得て來たから諸君も喜んで戴きたい

と抱負を語り結び割れるやうな拍手の裡に降壇、目滿氏の閉會の辭あり再び滿場の拍手に送られて同五時十分馮總長は退場した（寫眞は壇上の馮涵清氏）

錦州の貿易商馬賊に慘殺さる
極力行方を探索中　九日を經て眞相判明

【錦州特電二十四日發】去る十六日商用のため當地西關貿易商吉岡豐吉（五九）同じく增田隆一（二四）南關居住貿易商山本正男（二七）錦州大馬路居住元遼西時報記者伊藤石鳳（二〇）の四名は滿洲人通譯二人を連れ錦州西北方七邦里の雜木林に向ふ途中一泊翌十七日目的地に到着したがその後杳として消息を絕つたが彼の地は有名な匪首李海鳳の地盤にて一般土民も日本人には非常に惡感を持ち居る事にてその安否も氣づかはれてゐた、一方當地留守宅にても種々人を以て搜索中の處圖らずも當初の模樣を最初から目擊せる滿洲人來り當時の有樣を詳細に物語つた處によると一行六名は彼の地の餘りに日本人に對しての感情の險惡なる爲め目的は到底達せられずと十八日午前十一時過ぎ歸錦の途に就き約七支里の手前の遼河上流河原に差掛りたる際突然十數名の匪賊に襲はれ最初通譯滿洲人二人を慘殺し續いて吉岡、山本、增田と順々に銃殺されたとの事に尙死體は全部河原に埋めたとの事である、當地○○にても其の死體の收容に苦心してゐる模樣である、なほ吉岡氏留守宅を訪へば妻女は淚ながらに語る

主人は行きたくないやうでしたが餘り勸められたためついまた行く氣になつたのですが、今考へればやはり虫が知らしたといふのでせう

蒲鉾行商人の外套を奪ふ
難題を吹掛けて

二十三日午後十時三十分ごろ市内飛驒町四三番地蒲鉾行商人龜井久太郎が濱速町五八番地先を自轉車で進行中、前方を橫切らんとした三十歲前後の日本人二名が自轉車の前輪が觸れたといふので難題を持ちかけ龜井を毆打暴行を加へたうへポケットに九十六錢入りの茶色オーバを奪つて逃走した、強盜行爲に大連署で犯人嚴探中

南北滿洲を繼ぐ航空路完成
二十六日から北滿に　南滿は來春早々開始

【新京電話】中東鐵路西部線平定に伴ひ滿洲國航空會社ではチチハル以西方面の定時航空路の延長方研究中であつたが、來る二十六日から一週間に二回（月曜水曜日）チチハル、ハイラル間の定期航空を開始することゝなり、航空郵便を搭載しチチハル發ハイラル行、下り便には當日ハルビン發チチハル行航空便が聯絡することゝなつた尙奉天大連線は豫定の如く明年一月四日より毎日一回の定期航空を開始し、大連發郵便は奉天にてハルビン行上り航空便にて連絡することゝなり卽ち大連午前七時半發の航空便は當日午後一時四十五分ハルビン着となり、普通の列車便に比べ著るしく早達しこゝに南北滿洲の完全なる航空の完成實現を見るに至つた、前記兩線の發着時刻左の如し

一、チチハル、ハイラル線　十二月廿六日より開始一週二回月曜、水曜、チチハル發午前九時三十分ハイラル着午後一時、ハイラル發午後一時二十分チチハル着午後三時二十分

二、奉天、大連線　一月四日より實施毎日一回大連發午前七時三十分奉天着午前九時五十分奉天發午前十一時三十分大連着午後二時十分

州内は關東廳　州外は滿鐵
戶外デー區域を分擔

昨年度の戶外デーにおいては關東廳は滿鐵の催しに贊成協力する程度であつたが今年は積極的に乘出して相共に運動に當ることゝなり二十四日午後山本關東廳體育主事は滿鐵本社を訪問、中根社會課體係主任と打合せをなすところがあつた、その結果、今年の體育デーは州内は關東廳、州外は滿鐵とそれぞれ區域を分擔して行ふことに決定、經費分擔、宣傳方法その他について協議した、なほ關東廳側は山本主事が歸廳の上州内各體育關係者と打合せて具體的方針を決定するが、今年は旅順、大連、金州、普蘭店、貔子窩の各民政署所在地において盛大な催しをする豫定である

町尻侍從武官

町尻侍從武官は二十九日午後七時五十分着列車で來連、關東倉庫に宿泊、三十日午前九時四十分大連神社ならびに忠靈塔に參拜、三十一日午前九時大連驛發北行の豫定

インフレ景氣で最低賃銀を復活
二年振りで海員浮ぶ

【神戶二十四日發】海事共同會定例委員會は昨日午後同會樓上で開會され海員の最低賃銀復活案を滿場一致承認し三月一日から二年ぶりで復活となり十萬の海員はインフレ景氣だ

市内奧町の居直り強盜
百元强奪逃走

二十四日午後四時十分ごろ大連奧町六三染料原料販賣商謙和號こと奚潤三方へ染料の原料を買ひに來たと稱する年齡三十四、五歲、背の高さ五尺三寸位中折帽を冠つた一名の滿洲人が突如居直り強盜に早變り隱し持つた刺身庖丁を以つて居合せた店員顧安泰（二九）および同李昇官（二〇）の兩名を脅迫し大小洋取混ぜ百元を強奪し折柄の夕闇に紛れ何れかへ逃走した、急報に接し大連署からは國武司法主任を始め各司法刑事は時を移さず現場に驅付け犯人逮捕に努めたが未だ發見に至らず引續き搜査中であるが有犯人は去る二月頃一回同家へ原料購入に訪れた事あり、當日も午後二時ごろ一回來り歸宅後更に同三時四十分ごろ再度訪れて新聞など讀み前記時刻になるや如上の犯行に及んだもので相當同家の事情に通じてゐる者らしいと

獅子身中の虫
大汽船員の密輸

最近上海天津における中國海關が特に我が船舶に關し強くあたり僅かな商品に對しても莫大な罰金を出さしめこの方面に航路を有する各船舶會社は一樣に惱まされてゐるが特に天津上海に定期航路を有する大汽は一層その痛手を感じこれを未然に防ぐ意味で同方面定期船の出帆時大汽として監視員を派遣これ等密輸出せんとするものを嚴重調べつてゐたが去る八日出帆奉天丸で機關部料理人包日長（三二）がウイスキーを二本、十二日出帆大連丸で荷物方の金福根（二四）同給仕王少仁（一九）が砂糖四袋を持ち込まうとするところを發見、會社としては前後の事情調査の上二十四日いづれも馘首したが今後は一層嚴重取締る旨各船舶に通達するところあつた

麻雀倶樂部

大連署保安係では出願中の麻雀倶樂部三十餘件に就き嚴選中のところ二十四日附左の五名に許可を與へたがなほ數日中他に五名の許可ある筈

市内二葉町二番地銀雀倶樂部正留トン▲市内若狹町二三五番地若狹倶樂部村上重之▲山縣通四五番地和泉倶樂部川上ウメ▲市内東公園町七〇番地旭倶樂部岩瓜謙義▲市内濱速町一五七番地扇芳倶樂部松田都千代

お正月を贈る
社外社員に

滿鐵では物資缺乏に惱む滿鐵社外線および新線への派遣社員に幾分なりとも溫かい正月を迎へさすためそれぞれ餠その他の正月の品物を送ることゝなり廿四日から發送を開始、遠い場所から順送りに正月までに屆けることになつたがその品物は次の如くである

餠十一石、酒二七八本（一升瓶詰）スルメ五十貫、リンゴ一二〇〇箱、蜜柑二六四箱、野菜七〇〇貫、味の素一二二瓶、支那酒一石二斗、牛肉罐詰四二〇〇個

あゝ戀は哀し

澤正との戀を遂げられぬ苦しき戀を胸に秘めて、只管脩道に勵む有髮の尼、久松喜世子の悲戀哀話を描いた鬼神も哭く事實小說、講談倶樂部新年號にあり、ヤンヤの大評判

滿鐵本社の同情袋增加

同情週間中における滿鐵本社の同情袋は社會課係で取纏め中であつたが、總袋數一千一百九十三個總金額二百一圓二十四錢で、昨年は丁數、埠頭等の現場關係を合して百四十圓に過ぎなかつたのに比し非常な增加である

青年會Xマス

敷島町青年會館では二十六日午後一時より子供達のクリスマス會を催し（入場無料）二十八日は午後六時より同館においてYMCA會員と家族のためクリスマス祝會を催すと

小崗子署武道納會

小崗子署では廿四日午前十時より同署演武場において武道納會を行び署員の柔劍道模範試合をなした

同情週間へ

滿鐵埠頭事務所電話交換所工長關口大吉氏外一同の名で廿四日午後十三圓を歲末同情週間に寄附してくれと水上署保安係に申出るところあつた

▲興禪會提唱　午前九時より妙心寺に於て
▲西本願寺日曜講話　午後二時より信仰さなしたみ（進藤布教使）
▲歲末所感（岩本輪番勸動）

安樂椅子

千山の道士中には最近易學を研究するもの多く然も文字による占ひをなすが日本と滿洲國の國運につき最近占つたところによると昨年九月十八日の事件卽ち昭和六年九月十八日は四一劃の四十一數となり大吉、又滿洲國承認は昭和七年九月十五日に當りこれまた四十一劃四十一數の大吉。

◇

卽ちこれを合せた八十二から八十一を控除すると一を得る、この意味は滿洲國が統一される前兆であり、支那が如何に聯盟に縋つて失地回復をせんとしても徒勞に歸し、漸次王道善政が日本の援けによつて布かれる大吉の點數であるとの說が行はれて居る。

◇

これが滿洲國人間に傳へられ一般にこれを固く信じて感動して居るものが尠くないさうである

盲人國の全國番附

【東京電話】[illegible]年度末現在の失明者統計を見ると人口一萬人比例では全國各府縣中香川の二三・九七人が最も多く大分縣は二三・七二人で第二位宮崎十二位、熊本十八位、福岡二十二位といふ順序になつて大分縣が日本第二位の盲人國である、尤も失明者の實數では人口の多い大阪が第一位で福岡が五位、大分縣は八位、熊本十六位、宮崎三十二位となつてゐる、なほ大分縣の實數は二千二百五十七人で男よりも女が多く、郡部の千九百二十七人に對し市部は三百三十人である、失明原因は全國的に見て性病、トラホーム、全身病、その他の順になり小兒は矢張り先天性と榮養不良であるが、性病が一等多く次がトラホーム、全身病の順となつてゐるから失明防止對策の方向を明示してゐる譯である

心中作家中村送局

東京四谷區花園町新宿園アパートでムーラン・ルージエの歌姬高輪芳子こと山田英子（一九）と情死を計り一人生き殘つた例のナンセンス作家中村進治郎（二九）は四谷署に留置され取調中であつたが「承諾による殺人罪」として二十二日檢事局に送られた、右は芳子が肺を患つてゐると思ひ込み憂鬱な日を送つてゐたので中村は芳子と情死をはかり自分だけが生き殘つてその情死物語を原稿にしやうとの考へからやつたものとの容疑からである

臭い金三千圓

十九日午後八時頃京都驛構内共同便所へ大阪市西區北堀江通三丁目二一服部淺兵衛氏が滋賀縣へ赴く途中用便に入つたところ神戶瀧藤組合と印刷した封筒が落ちてゐるので拾ひ上げて見ると中に百圓札三十三枚、十圓札七枚、合計三千三百七十圓が入つてゐるので驚いて驛に屆けたので所轄七條署で取調べ中であるが[illegible]屋警部内の某銀行で盜まれた大金が前記のものらしく或は犯人が餘りの大金に面喰つて右便所内に捨てたものではないかと目下犯人搜査中である

龍虎朱公使を殺す

もう一つ、廣東の蛇料理は有名なもので料理に用ひる蛇は最も有毒なのが貴ばれ、一食百元位だが蛇だけでなくこれに虎斑點のある猫を一緒に料理したもので支那ではこの料理を「龍虎」と呼び珍重してゐる、最近廣東電報は前駐英國支那公使朱兆莘の急死原因はある宴會席上で食つた蛇料理に中毒したものだと報じてゐる

成層圏

沈沒潛水艦の福音

潛水艦が沈沒して有爲の人材があたら生命を落すことは極めて遺憾とされてゐるところであるが、最近スペインのアドリアン・ルイスなる人が海水から酸素を取る機械を發明した、それはてうど鰓呼吸のやうな恰好をした小さな金屬製の裝置で、中は僅かに十人の人が入り得る位、ふだんは密封されてゐるが潛水した場合にはこれを海水に接觸させて運轉するもので海水より酸素を取る[illegible]出來、かくて窒息を免れ得るのでこれを巧く應用すれば潛水艦が沈沒した場合でも乘組員はある時間内は生命に別條ないわけである

牝犬が蛇を產む

國が廣大なだけに支那には今も現代離れのした途方もない奇拔なことがある、去る十四日徐州附近の蕭縣黃集鎮居住の農某の飼つてゐる牝犬がお產をしたが、驚いたことには一匹の大蛇と數匹の小蛇を產んだので近近の評判となり見物人が大勢押し[illegible]

幸福を搗きこむ杵の音にS・O・S
算盤戰線に異狀あり

慌だゞしい歲晩だ、御行く人の手ぶり足ぶりも目まぐるしい、カーキ服も、ギヤングと不況の三二年を送る送葬曲が商店のウインドーから放送されてゐる……

◇

中で唯一つ景氣のよいのは餠つくきねの音だ、新しい年のあらゆる幸福をつき込むきねの音は何時もながら氣持がいい、殊に今度は滿洲國に迎へる最初の新年だ、きねを取る腕の力の入りやうも違つてゐやうと云ふもの……

◇

だが、アゝ年の瀨に躍るインフレ景氣よ！　お正月を迎へるのになくてはならぬ糯米の値段は滅法高い、現在の協定料金一升につき五十錢で昨年より二割高、お臺所のソロバン戰線に異狀を呈し、餠屋の注文帳が悲鳴をあげてゐる——吉例ちん餠つきの看板までS・O・Sを發信してゐる

海と空と (64)

高杉晋一郎作
橋本清史畫

秋來る(四)

女中の運んで來た紅茶を飲んで了つた頃には、もう二人ともすつかり打解けた氣分になつてゐた。性の合つた人間と云ふものは實に急速に親くなつて了ふ。二人もそれらしかつた。言葉までずんずんくだけて行つた。土屋の話なども出たがそれは逸見と土屋が親くなつた經緯などで展覽會の事には裏も逸見も觸れなかつた。話は氣輕く愉快に流れた。

「ルーシニと云へば此の間君は海へルーシニの女給と來てゐたぢやないか。前から親いのかね」

ふと裏はそんな事を云ひ出した

「前からつて、さうだな、確に大分前からですね……あの娘はいい娘でせう?」

「いい娘? 娘か」

さう云つて變に高く裏は笑つた

「娘ぢや變かな」

「いや變ぢやないが」

「變でも何でもいい、とにかくあいつはね、面白い奴ですよ、孤子でね、ボールつて云ふんだけど、名前なんか知つてますがね、よく行くさうだから。あゝそんな事云へば此の間あ奴が貴方の事を云つて強い酒をよく飲む人だなんて云つてましたよ」

「ほう」

「いやその時つてのが面白いんだあ奴はね、獨りで小倫児市場へ行つてるんですよ、彼處で逢つちやつてね」

裏は默つてゐた。

「勇敢でせう、靴か何か買ひに支那人の間を押し分けてるんだから敵はねえや全く……いい娘でせう? 確に。僕は彼女が好きなんですよ」

逸見は何でもなくさう云つて、はつはと笑つて一寸鬢へ手をやつた。裏も笑つた。

「いや全く」と逸見は一寸聲を落して不意に云ひ出した。「僕は彼女と結婚しやうと思つてるんですがね、どうも以前の狀態ぢや彼女に食はして貰ふために結婚すると見られてもし方の無い始末だつたんで止めたんだが、今度の處ぢや、一人前給料を貰ひますよ」

「ぢや結婚するのかね」

「まあそんな事にしたいと思つてますがね、處が、はつは、今更滑稽なんだがまだ向ふの意志を確めてないんで」

裏は事も無げな逸見の樣子に微笑しながらも何處か不滿を感じてゐた。それはボールが事も無げに扱はれてゐると云ふ感じに對する不滿らしかつた。

「どうですかね」と逸見は云つた

「と云ふと?」

「彼女と結婚する事ですよ」

「いゝでせう」

「ぢや向ふの、や、そんな事は貴方に訊いたつて分らぬ筈だつた」

と逸見は言葉を切つた。さうして彼に似合はず、眞面目な顔をして暫く考へ込んだ。矢張眞面目なんだな、と裏は思つた。

「僕はね」

と逸見は云ひ出した。

「實を云ふと、でもこんな事は貴方に話すのは變だな、どうしてこんな事云ひ出したんか分らんな、貴方を信頼してるんでつい打明話なんか始めるんです。構ひませんか?」

「構ひませんとも」

裏も思はず改まつた。

「ぢや云ひますがね。土屋にもこんな事は云つた事ないんだが、ボールはね、僕には勿體なく思へて仕方がないんですな」

「どうして?」

「どうしても糞もない、彼女ばもう一枚上の人間だと云ふ事がのしかゝるやうに感ぜられるんで、僕はつまり、その爲になかなか云ひ出せないんです。僕がこんな弱氣な事云ふと土屋なんかきつと本當にしませんがね。然し本當なんです。それで、云ひ出せば斷られるにきまつてゐるやうで」

さう云つて逸見は笑ひながら妙に寂しい顔をした。

けふの放送 大連 JQAK

十二月廿五日

▲午前六時三十分 ラヂオ體操第二
▲午前七時 同第一
▲午前十時 新譜レコード(コロンビア)
▲午後零時十分 ニュース
▲午後三時三十分 ニュース
▲午後六時十分 ニュース
(以下内地中繼)
▲雅樂(六時三十分)「上古の民謠催馬樂其の他」琵琶三條正太郎、箏吾妻吉政、唄園廣元、同黒坂政一、其の他大勢
▲二重唱と合唱と管絃樂降聖曲(七時)「起きよ夜は明けぬれ」新交響樂團練習所より二重唱ヴオーカルアンサンブル、合唱東京合唱團、管絃樂日本放送交響樂團指揮近衛秀麿、解説由木康
▲新講談(七時四十分)「大正天皇の御代」伊藤痴遊
(以下大連放送局より八時三十一分)
▲三曲「茶の湯音頭」三絃福永大勾當、箏木次初榮、上田流尺八妙光院珖山
▲職業紹介事項
▲ニユース
▲氣象通報

講談倶樂部──

まづ落語漫談遊藝百般に愉快なこと飛切りの漫畫をつけた「家庭娯樂大會」に始まつて新長篇の「修羅道春秋」久米正雄の「紅頬樓ずる時」加藤武雄の「三つの眞珠」時代物で白井喬二の「天誅組」が何れも劣らぬ貫録を示してゐる「上州七人嵐」佐々木味津三「俄然結婚記」寺尾幸夫「お俊傳兵衛」小島政二郎「暗黒紳士」甲賀三郎、と讀切物、此外に落語漫談、珍種畫報等恒例の新年號附錄は、その一が別冊の「大石内藏助」村上浪六著四六判三二〇頁、その二には「六大畫伯傑作色紙集」これは雜誌附錄超特大のものだ

現代──

現代新年號附錄の「現下日本の三大問題」四六判三百二十頁、政治外交、經濟の三項目に分つて凡そ明日の日本がどうなるかを闡明したもの、これ等國民生活に最も緊密な關係をもつ三問題を、國民大衆に最もよく理解させようとしてゐるところだ、第一特輯「難局打開更生實話」第二特輯「最近世界各國四方山話」第三特輯「實生活悲劇喜劇」第四特輯「大衆新進短篇傑作篇」何れも一粒選りの名記事揃ひ、外交非常時に際して(内田康哉)空前絶後の好機會(荒木貞夫)日本に對する米國の態度(新米國大統領ルーズベルト)篠沼警視總監豪快物語(楠木寛)米國大統領ルーズベルト(澤田謙)等の論説記事も讀應へがある

第十四回 滿日特選碁戰

相先先番 増淵辰子三段 藤原繁治三段

—【14】—

●二六七ヌ五 ○二六八へ四
●二六九ト四 ○二七〇ソ八
●二七一ツ五 ○二七二ツ三
●二七三レ八 ○二七四ツ八
●二七五レ九 ○二七六ソ九
●二七七百六十六に粘
○二七八イ十二 ●二七九ロ十一
○二八〇イ六 ●二八一イ五
○二八二イ八 ●二八三五十二に粘
○二八四ル十九 ●二八五ヌ十九
○二八六ト十四 ●二八七ル十一
○二八八へ十五 ●二八九へ十三
○二九〇ワ十二 ●二九一タ九
○二九二へ十四
藤原氏四目勝

マンガ日曜附錄

童話　港のＸマス

八木橋ゆじろ

港の町の夜が更けて、風は寒々と吹き暴れてゐた。トミ子は部屋のペーチカに少しばかりの石炭を投げ込んではおぢいさんの歸りを待つた。おぢいさんは夜更けの街を笛を吹いて廻る按摩さんだつた。ペーチカの火が消えかゝると、トミ子は慌て、又一摑みの石炭を投げ込み投げ込み待つてゐた。

きれいな月夜、風の音を聞きながら、トミ子はおぢいさんの難儀して歩いてゐる有樣を思ひ浮べた。

まもなくおぢいさんが、杖をコトンコトンさせながら歸つて來た。

「おかへりなさい。寒かつたんでせう、おぢいさん」

「うん、今夜はすこし寒かつた。それ溫かいお土産だ。どれ〱熱いお湯でも飲んでやすまうかな」

おぢいさんは懷から溫かい麥燒を三つほど出してごつかり坐り、トミ子の汲んでやつた湯をフーフーならしながら飲むと、トミ子に手をひかれて寢床に入るのだつた。

トミ子も寢た。ガラス戸の外はいゝ月夜、青白い月がおぢいさんの寢顏を照らした。寢顏といつても、おぢいさんは盲目ですから眠つてゐるのか醒めてゐるのか分らないのだが――。

「おぢいさん」

「なんだい」

ねむつたと思つたおぢいさんは未だ起きてゐたのだ。

「こんどのクリスマスにも、やつぱりサンタの爺さんは家に來て呉れないでせうかしら」

「サンタの爺さん？その爺さんはどこから來るんだい」

「あのれ、よい子供の爲めにお土産を持つて煙突から入つて來るんだつて。月の世界の神樣だつて」

「いつ來るのかい？」

「もう四日、二十五日の夜に」

「家にはペーチカの煙突しかないから來て呉れないだらう」

さう言つて、お爺さんは向ふを向いてしまつた。

「どうぞ神さま、クリスマスのプレゼントを私にも下さい。すこし汚いが私の家のペーチカの煙突を忘れないで下さい」

寢床の中で、胸に合掌しながら窓の外のお月樣にお願ひした。

その夜の事であつた。窓をコンコン叩くものがあるのでトミ子はハツと眼をさましました。起きて行つて電燈をつけて窓を開いて見ると外に黒い人影が立つてゐた。

「どなたですか？」

トミ子は訊ねた。

「電報です」

外の人はさう答へて、紙片を渡すと向ふの角に消えて行つた。

「なに？電報？」

「えゝ、誰からかしら」

「トミ子讀んで見て呉れ」

「えゝと、二五ヒミナトツクムカヘタノムスミと書いてあるわ」

「スミ？」

「はい」

「うーん」

「スミつてなに？おぢいさん。人の名前ですの？ええ？」

「いや、まあ、いゝじやないか、ねろ〱、その中分るから」

トミ子は「うちに電報が來るなんてをかしいなあ、スミつてなんだらう」と思ひながら寢た。

☆

二十五日が來た。朝の御飯が濟むとおぢいさんは

「さ、これから港に行くんぢや」

と言つた。

「港へ？誰を迎へに？」

「クリスマスとかなんとか今日だつたな、あのぢいさんなんとか云つたれえ」

「え、サンタクロース」

「さう〱、これから港の船へサンタクロースを迎へに行くんぢや」

をかしな事だと思ひながら、トミ子はおぢいさんの手を引き〱港へ行つた。

今日は入船だといふので、港の棧橋は大へんな賑やかさだつた。港を靜々とこちらの岸壁に向つて來る船がそれだらうか。

トミ子とおぢいさんは出迎へ人の群から少し離れたところにしよんぼり立つてゐた。

船がついて、次から次へお客さんは、出迎への人々とにこ〱挨拶をしながらそこを去つて行つた。トミ子達の迎へに來たサンタクロースは、大ていの人々が去つてもなか〱來なかつた。

トミ子は悲しくなつた。その時こちらを、さつきからじーつと見てゐた美しい女の人がつか〱とやつてきて、

「もしや、お父さんではありませんか？」とおぢいさんにいつた。

「お、スミ子か？」

「お、お父さん、濟みません、どうぞ私の不孝を許して下さい」

さういつて、女の人はお父さんの胸に抱きついて泣いた。

トミ子は不思議に思つて、だまつて見てゐると、

「すみ子、許すまいと思つたが許す。これがトミ子だ。トミ子、これがお前の待つてゐたお母さんだ」

「あら、トミちやん、大きくなつたね。ごめんね、悪いお母さんだつたねえ」

その女はトミ子を抱きすくめたのだつた。お母さんと云はれて、トミ子は始めて、遠い國に行つたきり分らないと云ふお母さんであることが分つた。

「お母さん」

さう云つたきり、トミ子はボロ〱泣いた。今日は二十五日、クリスマス、トミ子にとつては何と大きなプレゼントであつたらう。

第廿六回　こどもの考へもの　三つの繪を讀みあはせて下さい

ここに揭げた三つの繪は上がクリ二つ、中が又に這入つてゐるコトリ三羽、下がお米などをはかるマスです、これを讀みあはせると皆さんがたのしみにまつてゐたお祝ひの日の名になります、さてナンと讀むのでせう、わかつた方は來る正月一日までにハガキで大連市東公園町滿洲日報社「滿日日曜附錄係」あてにご答へください、當つた方にはいつものやうに二十五名に限りお褒美を差上げます

第廿四回の答　ボウシです

第二十四回の考へものは帽子でしたが、殆ど全部が正解でしたので籤をひいて今度は左の方にご褒美をあげることにしました、大連市内の方にはハガキをあげますからそれと引きかへに本社でご褒美をお受けとりください、沿線の方には直接お送りいたします

× ×

なほご褒美の中にある森永のチヨコレートとミルクキヤラメルの空箱はどうぞお菓子やさんの支那事變の「戰傷兵士を勞はりませう」とかいた箱の中においれください

當籤者

▲旅順 金子カコ▲新京 緒方初子▲鞍山 池内興三郎▲蘇家屯 實藏壽雄▲鐵嶺 鈴木もと子▲奉天 木内一郎▲周水子 金澤正德▲新京 倉田榮▲大連 三浦尚子▲同 江口節子▲同 金子明▲同 中島清人▲同 南部照輿▲同 山口晶之助▲同 岩本君子▲同 小森政一▲同 關トミヘ▲同 至蘭キヨ子▲同 滕井智惠子▲同 澤田秒子

注意　今までに考へものに當つてまだご褒美を取りに來ない方がありますが、その方は來る三十日までに當選通知のハガキを持つて來て本社でお引きかへください。それ以後は無效にいたします

手工　カレンダーつきのお家をつくる

ためになるボール紙細工

けふはたのしいクリスマスです、さあみなさんそろつてクリスマスにふさはしいボール紙の切り拔細工をいたしませう

まづ長さ廿センチ幅十五センチの一ボール紙を用意して下さい、それから圖のやうに窓と戸を結筆に切ります、ボール紙は全體黒か黒の色紙を張ります、二つの窓にはカーテンを下げます、窓の感じを出すために黄色の色紙に三角に切つた赤色のカーテンを貼ります、初めに窓より大きく黄色の色紙を四角に切ります、次にその黄の色紙の半分の赤紙を三角に切つて黄の色紙の上に圖のやうに貼ります、それから黒の色紙を細長く切つて窓の眞中に貼つてその上から前に作つた黄色と赤を張つた色紙を貼ります、お玄關に張る色紙も一番下は黄色その上は黒でも紫でも構ひません、そして一番上には前のよりも一ミリ半か、二ミリ位狹い赤色の紙を張り最後に襖の樣に見せるため眞中に黒で細く線を書きます

☆

それから木や土は草色の紙で體裁よくきつて貼ります、最後に鳩目をつけ（リボンの紐をつけてもよいでせう）小さいカレンダーをつけますがカレンダーは文房具屋さんに五錢位で賣つてゐます、銀紙があれば小さくざく〱に切つてあちらこちらにはりますと雪の樣に見えて綺麗でせう

おヒゲの値うち

お髭はいつたい何れくらゐの値うちのあるものでせうか、ニユーヨークのウエスト・キングストンといふ町にフランセス・マストロステフアノと呼ばれる七十歳のおぢいさんがゐます、この人は大へん立派な長い、まッ白なお髭を持つてゐましたが、或る日のことソソツカしい床屋さんがおぢいさんの自慢のお髭をチヨキンときつてしまひました、おぢいさんは大變おこりました「わしのこの髭は三十年間かゝつて仕上げた家の一番の寶物だ、どうか二千弗（約一萬圓）バツ金としてとつて下さい」と裁判所にうつたへました、裁判長は大變こまりました、一體お髭はどれ位値うちのあるものか裁判長も知りません、そこでツケ髭をこしらへる人を呼んでたづねましたところが「さア……五十錢もしないでせう」と答へました、さうしてとう〱二十五ドルのバツ金をとることになりました

クリスマスノオヂサン ボクノウチヘハヤクキテヨ
サンタクロースノオヂサン ボクノウチガイチバンチカイノデスヨ
アタシニオニンギヨウチヨウダイネー
幸

けふは大正天皇祭
私達は先帝の御遺德に對して一層國のため君の爲に盡さう

けふは大正天皇祭で、先帝大正天皇が大正十五年の今日崩御遊ばされた日に當ります

大正天皇は明治天皇の第三皇子として明治十二年八月三十一日、青山御所で御生れ遊ばされ、御名を嘉仁と申上げました

御即位後三年を經た大正三年八月歐洲大戰が起り、わが國は世界五大强國の一として世界に輝きわたりました、この歐洲大戰で天皇が御心をおいため遊ばされたことは一通りでなく、御幼少の頃から御弱くわたらせられた玉體はます／＼御勝れ遊ばさなかつたのでありました

その後陛下には皇太子裕仁親王殿下を歐洲各國に巡遊遊ばさせ給ひ各國との親交を厚くさせられましたが、玉體はいよ／＼御惡く、大正十年十一月皇太子殿下を攝政に任じ給ひ、御靜養御恢復に御心を注がせられたのであります

大正十二年九月、突然帝都は大震災に見舞はれました、陛下には御內帑金を御下賜遊ばされ國民精神作興の詔書をお下しになり、御病中にも拘らず日夜國民のことを御心配遊ばされました、畏くも皇后陛下を初め奉り各皇族、重臣方の夜を徹しての御看護も國民の熱心な神佛祈願もその甲斐なく大正十五年十二月二十五日遂に崩御あらせられ、昭和二年二月八日多摩御陵に御鎭まり給ふたのであります

私たちは天皇の御靈が、天地のあらん限り日本の國土にとゞまり給ひ、日本がいや榮えに榮えゆくやうお守り下さることを思ふとき、ます／＼天皇の御遺德にこたへ奉ると共に御靈に對して一層國のため、君のため盡すところがなければなりません（大連伏見臺小學校平井先生講話）

西洋人でさへもほめる日本のハネつき遊び
女の子にとてもよい運動です
羽子板のおはなし

お正月が近づいて來ました、もうそろ／＼羽根つきの音が聞えるやうになりました、羽根つきは面白い遊びといふだけでなく、女子の運動として大へんよい遊びです、お正月はどこのお家でもごちそうをたくさん食べますから身體のためどうしても運動が大切です、お正月頃は一番寒い時ですが、寒風にさらされながら羽根をつくのはたしかによい强健法です、それに羽根をつく時の姿勢をごらんなさい、上をむいて胸を張り手を動かし足を動かせますから全身のよい運動になります、それに羽根を落さぬやうに注意するので精神の統一にもなります、ですからお正月だけでなくふだんでも大いにやつた方がよい遊戯です、テニスによく似た運動ですが羽根つきはテニスより女らしく、やさしいところがあります、フランスの學者でバドシントンといふ人は「世界の女子の運動競技にはいろ／＼あるが、その中で最もよいのは羽根ゲームである」といつてゐます、外國人でさへこんなに褒める位で今では外國でもさかんに行はれてゐます、處が本家本元の日本では何でも西洋物でなければならないやうに思つてこの世界にほこるべき羽根つきが一時廢れたことがありました、それが外國でさかんに流行するやうになつて又日本でもさかんになり女學校では羽根つき競爭をするやうにさへなつて來ました、何と馬鹿らしいお話ではありませんか

惡い病や惡人を拂ふ
羽子板のうつりかはり
むかしはハゴキイタとかコキイタとよんでゐました

羽子板 の歴史をお話しませう、これはいつごろできたものでせうか、それはずつと大昔の室町時代、今から七百年ほど前からはじまつたものです、そして昔は男もさかんに羽根をついたものです、ずツと昔は羽子板のことを羽子木板（ハゴキイタ）といひ、後には胡鬼板（コキイタ）と呼ばれました、胡鬼とは野蠻人のことです、羽子板は惡い野蠻人を追ひはらふ板のことでこれが羽根つきの起原だといふことです、けれども他にもいろ／＼の話があつて羽根つきは毬投げの遊びをする時毬をカキで防いだことから思ひついてやつたのだ、といふ人もあり、まだその起つたもとははつきりしてゐません

がとにかく大昔は今のやうなきれいな羽子板はありませんでした、板で羽子板の形にこしらへそれで羽根をついたものです、それに初めはお正月だけにやつたものではないのです、今のやうに **お正月** だけの遊びとなつたのは徳川時代の寛政文化の頃今から百五十年ほど前からです、その頃は羽根をつくと惡い病氣にかゝらないとか、又は蚊に喰はれないとか、いろ／＼縁起をかついだものです

始めごく簡單であつた羽子板も世の中が贅澤になるにつれ大へんきれいなものができるやうになりました、羽子板の表や裏に美しい繪を切りぬいてはるのが始まりで、おもに表には七福人や、寶船や、三番叟や、美しい人の繪などをはりつけ裏には松や梅、鶴や竹などをかいたものです、それが今から二百四十年程前の元祿時代になると大變進んできれいな小切れでお人形などをこしらへて貼りつけた押繪の羽子板ができるやうになりました、そればかりでなく金や銀などで飾るやうにもなり大きさも一尺から一尺五寸位にきまつてゐたのが一尺八寸、二尺、三尺といふ大きなものがあらはれました

こんな 大きなのを持つてはとても羽根はつけませんからたゞお正月に床の間に飾つておくだけなのです、こんな風にあまりぜいたくに流れて來たので徳川幕府から二度も三度も羽子板に金銀などを用ゐてはならぬといふきびしい御禁令まで出た位で、いかに華美なものであつたかゞわかりませう、つゞいて明治のはじめ頃には「窓あき羽子板」といふものがあらはれました、これは押繪が二重になつてゐて上の繪に窓があつてその窓をあけるとちようど窓からのぞいたやうにその中に又別の繪があらはれるといふ仕かけでたとへば佐倉宗吾が雪のふりしきる中に立つてゐる押繪でうしろに窓があつてその障子をあけると子供が泣いてゐる繪があらはれ宗吾の子別れの繪になるといふやうなものです、そのほか變り羽子板では羽根をつくたびにお人形の目玉が動いたり **手や足** が動いたりするものなどもありました、繪の羽子板ができたのは今から二十年ほどまへのことですからまだ新しいものです、近ごろは又た大へんかはつた形の羽子板があります、お月樣の形だの小判のやうなものだのがあります、繪もその時代によつて變つてお角力がさかんなころはお角力さんの似顔がはやり戰爭があると軍人の繪がはやります、この頃は活動寫眞がはやつてゐるので活動役者の似顔がたくさん出てゐます、ずつと新しいものではスポーツや童話などを材料にしたものがあります、今年は團十郎の三十年祭にちなんだものや滿洲事變、オリムピツクなどを材料にしたものがたくさんでてゐます

四本あしのひな

つひこの間のこと、栃木縣の芳賀郡で脚が四本にお尻のアナが二つある珍しいひなが生れました、四本脚ですから、じつとしてゐる時は二本脚のひなよりシツカリしてゐますが、歩き出すとヒヨツコリ／＼としてとてもこつけいださうです、專門家のお話によると、脚が四本あつたり、頭が二つあつたりするやうな珍しいひなもときどき生れるさうですが、大抵は四五十日で死んでしまふさうです、それでももし丈夫に育てば醫學上大へん立派な研究の材料となるので栃木縣ではこの四本脚のひなを大切に育てゝゐるといふことです

歳晩狂躁曲

煽る人氣!! 奏づる

慌だしかつた一九三二年もカレンダーの一めくり毎に影を薄くして、餘すところ僅かに六日間だ、三千圓福引を眞つ向にふりかざして建國記念の飾柱が林のやうに立並び、空には色とり〴〵の旗幟が目まぐるしく寒風にはためいてゐる、滿店飾を施した商店街は今、火の出るやうな賣出し戰である、血まなこの商人と慌しい人の流れ、ボーナスはカンフル注射のやうに果敢ない暮景氣を煽つてゐる、新らしい滿洲國の表玄關、グレート大連の巷々で拾つた喜怒哀樂の繪姿、なんと歳末の狂躁曲を奏づるではないか

祝入營

色とりどりの賣出し幟と並んで紫に白文字を染抜いた「祝入營」の旗幟はあわたゞしい歳末風景の異色である、打ちつゞく討匪戰のうちに暮やうとする多端な昭和七年を顧みる時軍國的な亢奮を覺える

門松屋

「時局と不景氣でお話になりませんや」と門松屋さんは大零しである、こゝにも緊張した非常時日本の姿をうかゞふことが出來やう、材料は騰つたし世間はます〳〵安いので間に合はさうとするし中に這入つた門松屋さんの澁面のしわがいよ〳〵ふえる、結局相場は昨年と大した差はない、廿五日を過ぎる頃から邊に門松やさんが續出して一入暮氣分を添へることであらう

七つや

質流れが三分の一に減つたと質屋さんは不平をいふ、それほど景氣がよくなつたのではない物價騰貴の今日安い質札をそのまゝ流してたまるかといふインフレ現象なのだ、日陰町の古着屋街は品拂底で狼狽し、プロ階級の越年に及ぼす間接の打撃も大きい、ボーナスによる質受けがあらかた終つて、五十、六十とまとまつた大口の質入が多くなつたのは眞劍な小商人のせつぱ詰つた金融である、ほんとうの歳末景氣はぎりぎりの三十日と大晦日の二日間だけだからである、いゝ氣になつてボーナスを使ひ過ごした會社員のお小遣ひがこゝから捻出されぬでもない

物乞ひ

凍りついた鋪道にお叩頭の百萬べんもしてゐるが押つまつた歳末に焦慮を感じる人々はふり返らうともしてくれない、ドンゴロスにくるまつた父娘の顔は寒さと飢のために、死人の如く血色を失つて機械のやうに哀れみを乞ふてゐる——だが傍らに置いたトランク代りのカメラ・ケースが滑稽なほど乞食稼業には不釣合な存在である、無心に眠る幼兒の姿はかなしい

港の暮

年を追ひ年に追はれて旅する人々が忙しく右往左往してゐる押つまつた歳末をせきたてるやうに銅鑼がなる、大きな高利貸風の男が料理屋の女將らしい女にペコ〳〵頭をさげながら救はれた面持で船にとび乘つた綾なす五色のテープの切れた時、海と陸との縁が斷たれるのである、悲喜交々たる歳末の船出は暮の感じそのものだ

カフエ

忘年會流れでカフエーの書入れどきだ、ウエートレスに包圍された二次會の彼氏はつれ込んだ斷髮ガールとミリオンダラーの杯をあげて仲々の上機嫌である、どのテーブルもボーナスに醉ふ人々で景氣がよい

踊り場

赤く青くゆるやかに點々と廻るダイヤライトの歩みに矢の如き光陰を感じ、忍びよる債鬼の足どりをワルツにみてはならない、ボーナスの喜怒哀樂と歳末の憂鬱をかき混ぜるやうにコンガラがつたステップが廻つてゐるではないか

逆も眞なり　佐方幸ゑがく

「これは最新流行のショールです、これをお召しになりますと誰方でも三つ四つは若く見えます」
「マアー、ぢあ私止すわ、ショール取る度に急に三つ四つ老けて見えるのは厭なんですもの……」

四角のつむじ風　やすを

おやかた 親方 だいしたもらいもねーから 引き上げますぜ さむくてやりきれねー

としもいふでねー この五目雲君の様なゴミを見ろよ こん中に永く永く眺めようとすると 百円札の一枚もねーともっへね もっと欲しんで見てろーよ いゝ正月がこなくともかまらねーといふことよ!

講談 快男子(くわいだんし)

一龍齋貞山

【上】

快男子と題し一席、講演いたします、之は明治初年のお話でございますが、鹿兒島出身の陸軍中尉仁禮半九郎と云ふ二十五になる青年があります、本村町の古月堂と云ふ菓子屋の二階を借りて毎日市ケ谷の兵營に通ひ、家へ歸れば本を讀んで樂しんで居ります、或日の事古月堂の主が奥樣を持ちなさいと勸めると仁禮は笑つて半「イヤ僕には妻がある、見給へ此の籠の中のカナリヤだ、此のカナリヤは吾輩には最愛の妻だ、軍隊から歸つて來ると優しい聲を發して啼いて呉れるので、之が無上の樂しみである、人間は總て感情の動物だから、カナリヤが優しい聲を發するのが、恰で、賢所能くお歸んなさいましたといふやうに聞えるのが、主「結構な内儀さんでございますね、稗に粟ッ葉でも食べさせて

ウム、このカナリヤといふ奴は怜來人に馴れん鳥だが、これは實によく馴れて我輩の命令の下に活動するれ主「ヘヱー半「今籠から出して見せやう主「逃げると往けませんよ半「大丈夫だ」籠の蓋を開けて半「籠を出ろーオーイ…主「ヤツこれは先生不思議だ、籠から出て啼いてます、これア奇態だ…ア、先生往けません、私の頭へ止まりました、畜生、嫌な心持だ、頭がムズ〳〵する半「アハヽヽ、爺の禿頭へ小鳥が止まつた風景は又別ちやのう主「冗談云つちやア往けません、ア、嫌な心持だ、アヽ先生彼方へ飛びました半「イヤ大丈夫だ、オイカナリヤ元へ歸れ元へ〳〵主「何だか變ですれえ、元へ〳〵と云つたつてカナリヤに分りやアしません半「イヤ分る、我輩の號令の下に動くからマア見給へ主「然んなことを云つたつて先生分りません、ア、外へ出た出た、オッ先生往けれえ〳〵、廂の所に斑猫が狙つてますよ半「何處に〳〵」とヒヨイと見ると下の廂の隣の所に斑猫が蹲踞まつて、ヒヨ〳〵啼いて彼方へ飛び此方へ飛

ひして居るカナリヤを狙つて居る樣子半「己れッ」と云ひさま仁禮が床の間に立てかけてあつた軍刀を取つて柄に手を掛けるや否や、スラリと引拔いたので猫は驚いて向ふの塀の上へ飛んで逃げてしまつたが、其が爲にカナリヤも驚いて隣家なる資産家長谷部家の邸内

へ飛込みました、古月堂の主人は主「マア先生仕方がございませんから、私がアノお隣にお願ひ申して、お庭へ入れて頂いて捕へて參りませう」と尻端折つて表へ飛出した、仁禮は頻に隣の庭園を見て居ると、そこへ女中きよと共に出て來たのはこれが市ケ谷小町と謳はれた長谷部家の令孃雪子でございます、女嫌ひと云はれる仁禮も、此の美しき姿を見ては、流石に恍惚として、カナリヤの何れへ飛去つたも心着かず、茫然として居る内に孃は女中に手を取られて奥へ這入つて了ひました、そこへ息急き切つて馳けて參りましたのは古月堂の主人主「イヤ仁禮さんどうも驚きました、漸々先方へ頼んで庭へ入れて貰ひましたらカナリヤは逃げて了つた跡で、仕方がないから歸つて來ましたが、先生、惜いことをしましたなア半「ウムえらい惜い事をやつた主「

から金を持つてつて、カナリヤを五、六羽買つて來て呉れ主「其ア横丁の鳥屋にあるから買つて來ますが、カナリヤ五六羽どうするので……半「ウム、此所から逃がすのだ主「ヘ、先程御覽なすつたれ、的物を半「何を……主「何でもないもんだ、茫惚ちやアいけません、市ケ谷小町、辨天孃と云はれるお隣のお孃さんを御覽なすつたれ半「ウム女を二人見たが、一人はテク〳〵して醜い面だが今一人は却々の美形だ主「其の奇麗なのが先生、長谷部雪子さんと仰しやるんで……半「ウム、さうか主「どうでございます、餘り惡くはございますまい半「馬鹿を云へ、俺は女は嫌ひだ」と云つたが餘んどうも驚きました、

先生々々、何を茫然考へて居るんですえ、確りしなくつちやア往けません、エー先生……半「アハヽヽ、ウーム……主「何がアハヽヽ、ウームです、先生々々」背中を一ツ叩かれて半「オイ、何をするか主「何をするかちやアありません、どうしました半「爺、蓋

【下】

鈴木大尉を初として、青年將校盛んに酒杯を交して居ります其中に、只だ一人、酒も飲まず肴も食はず、煙草を喫しては溜息を吐いて居る青年士官、傍らに居ります德山といふ陸軍中尉、大分醉ひが廻つて來た樣子で德「オイ仁禮、何んぞ一つ隱し藝をやらうぢやないか、孤鞍雨を衝いて茅茨を叩く少女爲に贈る花一枝、コラ仁禮や

茫然して、日頃飯々と云つて騷ぐのに碌に食事もせず、所謂氣鬱病兵士を見ても雪子に見え、馬を見ても雪子に見えるといふ位に想ひ込んで了ひました。すると、或一日大隊長岡本陸軍少佐の所に祝ひ事があつて、部下の將校を悉く招待致し、仁禮半九郎も其の席に列なりました。やがて席定まつて其れ〳〵酒肴が列ぶ、固より嚴格な軍人のことでありますから、禮を缺くといふ事は決してありませんが斯ういふ前へ出て惡遠慮などは致しません、酒が始まると各々大杯を擧げて盛んに語りつ笑ひつして居ります。

んよ、何んで喧嘩などするのかね德「イヤ大隊長、怪しからん奴でございます、仁禮ちう奴は、私を毆るといひます、私は毆られる理由はないのであります、何がために私を毆るのでありますか、甚だ分らんのであります、第一仁禮は今日このお目出度い席にお招きを受けながら、一杯の酒も飲まず、一箸の肴も食ひません、仁禮の行爲は大いに不都合だと思ひます岡「ウム、仁禮何故お前酒を飲まんか半「ハイ岡「ハイではない、大分顏色も惡いやうぢや、何所が惡いのか、オイ中村軍醫中「ハイ、ハイ仁禮さん、大隊長の命令であります、診察を致しませう半「イヤ、診察を願ふには及ばん岡「イヤ及ばん事はない、診察をして貰ひなさい、何所も惡うなかつたら何故酒を飲まん、何故肴も食はん我が隊で最も大食の名を取つて居るお前が、今日我輩の家へ來て、一杯の酒も飲まんと云ふは、何か不平でもあるか、不平があるなら云つて居ると思ふか、不平があるなら云つてしまへ半「イヤ決して不平などはないのであります岡「何もないなら何故飲まん、貴樣のやうな不活潑な奴は歸れ妻「マア貴方何んでございます、折角皆さんが御機嫌克く召上つて居らつしやるのに大きな聲をお出しなすつて……仁禮さん、婆アのお酌で御意には入りますまいが、マア一杯如何でございます半「イヱ奥さん、甚だ恐縮いたします、決して私は不平などはないのであります、少し酒も飲めず肴も食へんと云ふ理由があるので…す岡「ナニ酒も飲めん、肴も食へん理由があると、其の理由を聞かう半「イヤ大隊長殿に、此のお話をするに就ては、茲に奥さんが聞いてお在でては甚だ迷惑を致すやうな譯で……岡「ナニ奥が聞いて居つては話が出來んと云ふか奥お前は彼方へ行つてろ、何か知らんがお前が居つては仁禮が話が出來んと云ふから、彼方へ行つて居れ妻「アラ嫌でございますれ、私が居りましてもお話の出來ない

公主嶺郊外にある公主陵

『公主嶺』の名の始まり

皇女を祀る公主嶺

滿鐵沿線中で有數の地として重要視されるまで

＝滿洲＝の都邑中、その命名の由來で最も優しい、奥ゆかしいものは公主嶺です、今を距る二百年前、清朝乾隆帝の公主――公主とは皇女のこと――が北京宮朝より蒙古格拉汗王家に降嫁することになり、玉輦この地を通り現在の市街を北方にさる約八支里の地點にまで來つた時、不幸にも公主は病にかゝりました、お附人一同は婚儀を前にしての公主の發病に驚き、手の及ぶ限りの看護をつくしましたが、天命つきて公主はこの地に歿してしまひ、一同は泣く〳〵公主の亡骸をこの地に葬つて北京に歸りました、この公主の墓所は現在も北方八支里の地點に在つて人より公主陵と呼ばれてをり、丘上には廟が建立されましたそれにこの地方一帶が高地であつて、南北滿洲の分水嶺をなしてゐるので、轉じて公主嶺といふ地名を生じたと傳へられてゐます

＝一說＝には拉拉罕王家の一族二人の兄弟が共に清朝の皇女を娶り、その墳塋をこゝに合祀したので蒙民が格々兒陵と呼んだのが公主嶺の起原だと云ひ、また六屋塋に祀つてある質愼公主の墳塋に對し東格陵と蒙民が呼んだのが起原だともいひます、しかし事實上最も信ずべきものは嘉慶皇帝の妊に當る公主の墓で道光

年間、今から約百年前に造營されたものが地名の濫觴となつてゐるといふ說です、兎に角何れにしても公主が祀つてあることは事實のやうです、公主嶺はもと達爾罕旗に屬してゐましたが、嘉慶年間約百三十年前より漸次漢人が移住して來て開墾事業にあたり、部落が出現しました、しかし部落といつても特產物があるわけではなく又格別交通の要路には當つてゐなかつたので、露國が東清鐵道を敷設するまでは僅かに七八戶の煙が立つてゐただけでした

＝我が＝　明治三十三年北清事變後ロシアは極東經營に全力を傾倒し、東清鐵道を延長するに當り軍事上ハルビン、公主嶺、遼陽の三地に大都建設を計畫し、堂々公主嶺に二百萬坪の附屬地を取擴げやうとしました、この計畫

の大袈裟なことは遼陽以上で、これを知つた支那人は忽ち蝟集して來て、附屬地外に居住して、見逃へる程の人爲的都市を現出したのでした、露治時代の遺物は今日も市內各所に遺つて往年の經營振りを視ふに充分です、その後日露開戰に當つて露軍はこの地に所謂公主嶺陣地を造つて我が軍に備へましたが、既に奉天で一敗地にまみれ公主嶺の戰鬪はありませんでした、その代り日露の講和に當つて兩國委員が此處に會し、鐵道の授受を行ひ、戰史上に記念すべき土地となつたのです

＝今や＝　公主嶺は滿鐵沿線中有數の特產出廻り地として名高く、又軍事上及び鐵道守備上の重要地點として重要視されてゐます

巴布札布率ゆる蒙軍の南下

舊軍閥卑怯の振舞ひ

公主嶺に關する物語は奉平橋間題日支交渉事件、蒙軍來襲事件等種々ありますが、こゝでは蒙軍の來襲當時のことをお話いたしませう、これは事件の舞臺は公主嶺よりも、其の事件の發端は公主嶺より

ろ、南に二驛隔てた郭家店ですが公主嶺の守備隊が出動し、又公主嶺騎兵第二十一聯隊が活躍してゐるので公主嶺に關する事件として物語るわけです、支那民主政體た

＝清室＝を擁立しやうといふ計畫は袁世凱在世當時から蒙民間に非常な勢ひで畫策されてゐましたが、この潮流の急先鋒となり鋒を提げて起つたのが東蒙に赫々たる武名を轟かせてゐた巴布札布將軍です、巴將軍は清朝の復辟を決行しやうと久しく兵を練つてゐましたが、遂に大正五年七月精鋭三千を率ゐていよ〳〵南下を開始し、先づハイラルを占據し、直に興安嶺を越え、まさに破竹の勢ひをもつて、行くところ草の靡くが如く席捲して、同年八月十五日突如公主嶺南方の郭家店に當つたのは蒙軍の前衛先驅部隊五百騎でありましたが、その行動は實に疾風の如く、忽ち三百餘の巡警、保衛團を馬蹄に蹴散らして同地を占領し、主力部隊と合してこゝに

＝黃色＝の蒙軍獨立旗を飜へしたのでした、總帥巴布札布將軍は大兵肥滿、色黑きこと鐵の如く、見るからに偉丈夫の相貌があり、雪白の愛馬に跨つて全軍の先頭に立つた姿は實に悠揚として迫らず、三千の兵を心服せしむるに充分な貫祿がありました、加へるに蒙兵の南下を知つて隆山一派の宗社黨、馬賊等も公主嶺を中心として巴軍を援助する行動を起し官兵の手うすに乘じて各地を荒しまはりましたので、奉天では狼狽して二十七師の主力を郭家店西方に集め更に小城子(一說には吉林)の支那騎兵一千名が郭家店北方に陣地を布き、蒙軍をとしく大激戰を繰り返したのでしたこのため郭家店の我が附屬地は兩軍に圍まれ、頗る

＝危險＝となつたのでつひに二十一日午前六時、我が郭家店守備隊より兩軍に休戰を命じました、これに對し蒙軍は柔順に休戰準備に入りましたが、卑怯なる支那官兵は休戰を承諾しておきながら蒙軍が備へを解くと見るや突然不意打ちを行つたので流石の蒙軍も一堪りもなく雪崩をうつて敗走し、再起することが不可能となつてしまひました、我が軍では支那官兵の卑怯なる態度を極度に憤慨しましたが、日支親善の大義のために怒りを押へ、我が軍見送りの下に蒙軍をその故鄕に歸らせ

ることゝなり、蒙軍は九月三日引揚を開始しこゝに全滿を風靡せんとした勇將巴布札布の望みも一夕の夢と破れたのでありました、始め呼倫から出た時に比べたなれば何といふ淋しい姿でありましたでせう、驅軍千里、風雨と鬪ひ黃龍の旗風に

＝全滿＝を蹈み躪らんとした壯圖も徒らに兒戯と終つた彼等蒙軍の哀憐又無量なるものがありました、その昔、大ナポレオンがモスクワ遠征に失敗して雪の廣原を祖國に引揚げた時の心境と巴將軍の心境は一脈通ずるものがあつたでせう、その後惜いかなこの勇將巴布札布將軍は林西縣攻擊中戰歿し、蒙軍南下の事件も一段落を告げたのでした

今週の歷史

十二月二十五日……　源賴義に安倍貞任を討たしむ。(天喜三年)
大正を昭和と改元す。(大正十五年)

同二十六日……　德川家康生る。(天文十一年)
雲井龍雄刑せらる。(明治三年)
聖上社會事業協會へ一萬圓下賜(昭和五年)

同二十七日……　徐州門合戰。(平治元年)
鐵道者燒く。(昭和五年)

同二十八日……　年賀の往來を禁ず。(文武帝元年)
法制局を置く。(明治十八年)
半世紀振にてスペイン軍艦長崎に來る。(昭和五年)

同二十九日……　グラッドストン生る。(一八〇九年)
廣島市電罷業。(昭和五年)

同三十日……　英文豪キプリング生る。(一八六五年)

同三十一日……　初代尾上菊五郎歿す。(天明三年)
松樹山砲臺占領。(明治卅七年)
日支通信協定成る。(昭和五年)

1週間

十二月廿五日　營口方面における匪賊討伐の狀勢は日毎に急迫し、ために遼陽駐劄天野旅團は關東軍司令部の命により二十五日午前十一時旅團司令部を營口に移した

同廿六日　午前零時三十分、安奉線を狙ひつゝあつた別動隊の一部約五百名は鄭鐵梅に指揮されて突如鳳凰城驛並びに城內に放火した、驛舍を襲ふた賊は一時驛より五十米突の地點まで迫つたが驛從業員、警官、守備隊よく防ぎ、タブレット線によつて四塔子に救援を求め、午前二時二十五分、鷄冠山より出動した守備隊が到着と同時に賊を擊退するを得た

同廿七日　營口方面の事態に驚いた學良は皇軍の營口方面よりの北上を阻止すべく、新民府占領を目差して錦州軍に行動開始を命じた、これによつて錦州軍騎兵第三旅及び義勇軍第四旅は北上行動を起した▲盤山附近の匪賊益々猖獗を極め、我が軍に對し猛烈なる攻勢に出て來たので多門師團長は天野旅團に對し盤山の總攻擊を命じ、多門師團は先づ司令部を田莊臺に移した

同廿八日　遂西匪賊別動隊の大討伐を決意した皇軍は、先づ多門師團麾下の各部隊に命令を發し、二十八日午前四時、田莊臺より一齊に進擊を開始し、盤山附近に於て賊の大部隊と衝突一時間餘にわたる大激戰を交へ

同廿九日　滿洲新國家の旗印に關しては奉天省政府において構圖その他の制定を急いでゐたが、二十九日新五色旗を決定、管內各縣を始め吉林、黑龍江兩政府へもその色彩と寸法を通達した

同三十日　飽くまで我が軍に對し戰ひをいどむ錦州軍に對し我が軍も止むなくこれに應戰することゝなり三十日午前八時五十分我が裝甲列車は敵を西方に壓しつゝ前進、つひに白旗堡において敵と一の砲火を交へ、こゝに北寧線上に戰端を切り落すに至つた

同卅一日　破竹の勢ひを以て溝帮子に進擊した我が嘉村旅團の先發歩兵部隊並びに多門師團先發若松騎兵隊は三十一日早朝相前後して無事溝帮子に入城したが、嘉村旅團は午後までに主力部隊全部が入城した、このため錦州方面は大混亂に陷り、續々山海關方面へ退却を開始した

朝　晝　晩

	朝	晝	晩
日	蛤と芹の味噌汁 燒海苔 香のもの	トーストパン 牛乳 半熟卵 紅茶 果物	牛片と三つ葉清汁 貝柱の卸し合へ まぐろ刺身 香のもの
月	かぶらの味噌汁 はぜの佃煮 香のもの	高野豆腐と椎茸のうま煮 香のもの	豚肉さつま汁 ほうれん草海苔卷 香のもの
火	大和芋おとし あげの清汁 柚子味噌	オムレツ 煮豆 香のもの	鯛のちり鍋(松茸、豆腐、ほうれん草) 里芋人參こんにやく煮〆春菊したし
水	豆腐味噌汁 納豆 無干枚漬	あらめと豆の煮付 燒竹輪 香のもの	すき燒 ふわ〳〵卵とさらし葱の清汁 香のもの
木	切干の味噌汁 若布の味噌汁 昆布佃煮	めざし 卸し大根 香のもの	鯖の味噌煮 鳥賊糸作り二杯酢 日菜サラダ 香のもの
金	ざぜん豆 香のもの	里芋の田樂 香のもの	鯛そろ、蒸し 牛肉とキヤベツのカレー煮 香のもの
土	里芋と大根の味噌汁 海苔の佃煮 香のもの	五目ずし とろゝ昆布の吸物	よせ鍋 栗ふたご卸し山葵 香のもの

滿洲日報
十二月廿四日發行
(明治四十年八月二十五日第三種郵便物認可)

けふ議會召集
政機不動、和かに開幕
落着いた政友、與黨氣取の民政
純野黨らしい國同

【東京特電二十四日發】日比谷座も往例により目出たく廿四日第六十四議會の開幕、秋田議長はいつもながら明快な口調で議會の成立を宣した、

和戰兩樣 の氣構へを見せてゐる政友會が鈴木總裁初め山本（悌）秦、島田其他の面々三百餘名の郎黨を引き具して議場を睥睨してゐる、これに對し民政の百四十餘名は櫻內、俵、松田、小山等の闘將に率ゐられ西側の議場の一角を占據してゐるが、純然たる與黨氣取で全く熱が見えぬ、一と聲發できぬものか、町田ののんきな父さんの激命ではピンと來ないのも如何せん、

若槻總裁 の病氣が氣にかゝる、いよいよファッショ氣取の國同、今日は安達御大、中野闘將の顏が見えぬが、山道大幹事が一黨を率ゐて東側の議席約三十を占領し、野黨らしい意氣込を見せたが、此日栗原、鈴木、野中の三代議士が黑シャツ黨團服でやつて來たが、バンド附で議場に入るのは奇矯の扮裝とあつてすつたもんだの末、バンドだけ外すことゝなり話題の中心となる、政友會の出方一つが問題だが辛抱すれば

政權が近 く廻つて來るといふので何となく落ついてゐる、少くとも來月二十日までの休會中には政機動かず無事熱議することになる、今日は部屬の決定、部長互選等で日が暮れて明日は日曜休會、二十六日開院式、二十七日豫算委員長選擧、其他の案件を片づければ直ぐ休會、各派の代議士諸賓たもらつて先づはニコ/\と迎春の仕度にかゝる段取、貴族院も豫定の如く二十四日成立した

二中全會の抗日案は
支那の沒落を早めるに過ぎぬ
わが陸軍當局の見解

【東京二十四日發】支那國民黨第三次中央全體會議につき陸軍當局は語る

第三次中全會議も濟んだが、我軍部として注目すべきは彼の徹底的抗日案で、これがため傳統的「夷を以て夷を制す」の策によりロシア、アメリカとの提携が傳へられてゐる、國內の一時的結束をはかり以て**對外的に無政府狀態を蔽はんとするにあるが**、之は東洋の平和に重大な脅威を與へんとするものであつて、その眞相に對し吾人は輕々に看過することは出來ぬ、採るに**國民黨の眞意は對日敵愾心を露骨に挑發して人心を刺戟し、且抗日案の提議にあたり第二世界戰爭を云々してゐる、これは頗る危險なる遊戲で、何故極東を世界擾亂の舞臺に提供し、支那自身の沒落を早めんとするか諒解に苦しむ**、世界の識者が不自然なこの現狀を整理することこそ世界大戰の防止であり、平和維持の道であり、現下の急務は世界平和に對し危險なる國民黨の存在とその外交政策を清算することである

貴衆兩院成立

【東京廿四日發】第六十四議會召集の貴族院は午前七時五十九分山本米三氏（同成）を先頭に、議員相次ぎ登院、午前九時五分振鈴と共に德川議長議長席に着き、定員に達するを俟つて、德川議長「本院規定第五條に依り部屬の抽籤を行ふ」旨を宣告し直に九部に分ち書記官をして部屬の抽籤を行はしめたる後、部長理事の互選を行ふ旨を宣し午前九時四十分一旦休憩、休憩中部長理事の互選を爲し、斯くて十時五分再會、其の結果を報告し、德川議長「之にて本院は成立しました、此旨政府並に衆議院に通知いたします」と宣し午前十時十分散會、德川議長は直に貴族院成立の旨政府並に衆議院に通告した、一方衆議院は廿四日午前十時振鈴、秋田議長「衆議院規則第十五條により部屬決定のため抽籤を行ふ」旨を宣し、部長、理事の互選を行はしめ、午前十時四十分一旦休憩、同十一時十八分再開、部長理事の互選結果報告あり、秋田議長「本院は成立しました政府並に貴族院に報告致します開院式日は官報で報告致します」とて閉會を宣し、午前十一時二十分散會

各派對議會策

政友　和戰兩樣で時局に善處

【東京廿四日發】政友會は廿三日の議員總會及び代議士會で院內役員を決定し、鈴木總裁の演說で今期議會の重要性に對する黨の方針を宣揚すると共に對議會陣容を整へたが、政友會の態度としては總裁の演說に明示された如く政府提出の明年度豫算外、重要法案に對し嚴正なる檢討を加へて適正を期せんとする以外に具體的方針は何等觸れるところなかつたに見るも全く和戰兩樣の構へなることを表示せるもので最近迄の硬軟兩派の議論を排擊して鈴木總裁指揮下に一致結束時局に善處せんとするものゝ如くであるが、なほ院內役員の筆頭總務は設けられなかつたが島田俊雄氏が事實上の筆頭總務として議場の驅引其他最高黨略に秘策を練ることになるであらう

政友豫算委員長 山崎氏に內定

【東京二十四日發】政友會の豫算委員長候補者は大體山崎達之輔氏に內定した

國同　野黨として自由に行動

【東京二十四日發】國民同盟代議士會は二十三日午後三時より丸の內本部に開會、安達總裁外二十九名出席、同盟の對議會態度につき意見交換の結果

國民同盟としては極めて自由率直に政府の爲したるところを批判し自由の立場で行動しやう

といふに意見一致し純然たる野黨の立場を明かにした、而して全院委員長並に常任委員等の人選については同盟側より候補者を擁立することなく、適當な人物を推擧すること、同盟會委員は協議の上二十四日發表を申合せ中溝一郎氏より選擧公營問題につき法制審議會案を內務省關係が獲へすは遺憾である、齋藤首相の注意を喚起すべきだと提議し滿浦氏以下五氏を擧げ、數日中に齋藤首相に會見し進言を爲すことを申合せ午後四時半散會した

民政役員顏觸

【東京二十四日發】民政黨の本部總務外黨役員は來年一月の大會で正式決定發表の筈であるが、今回は特に筆頭總務を置かず總務連帶制とし前閣僚並に中堅幹部中より十名を採る方針で詮衡の結果左の顏觸れに決定した

黨總務、原脩次郎、片岡直溫、俵孫一、田中隆三、賴母木桂吉、川崎卓吉、小山松壽、鈴木富士彌、添田敬一郎、八木逸郎

なほ幹事長には大幹事長主義をとるため松田源治氏に決定した

同成會新入會十名 交涉團體となる

【東京二十四日發】貴族院同成會は先般の多額議員選擧の結果減少したゝめ交涉團體の資格を失墜したので同會の伊澤多喜男、菅原通敬兩氏が交涉團體數を纏めるため奔走中であつたが、二十四日の召集日を控へ二十三日夜不足の十名を入會せしめ交涉團體の屆出を爲した、新入會左の如し

武富時敏、川上親晴、塚本清治、小坂順造、大和田健三郎、金岡又左衛門、山本米三、坂野鐵次郎、油井德藏、平沼亮三

大衆　現內閣打倒 インフレ政策反對

【東京二十四日發】社會大衆黨は二十三日午後三時より黨本部で議會對策部會を開き、安部、杉山、龜井各代議士以下中央執行委員數名出席、第六十四議會院內闘爭に關し左の對策を決定した

一、議會を通じ齋藤內閣打倒に集中し民衆の眞質なる要求を大膽率直に表明するに努力すること

二、昭和八年度豫算對策
（イ）國債の三分利國債借替へ
（ロ）日蘇不可侵條約の締結に依る軍事費の削減
（ハ）稅制の根本改革
（ニ）資本家本位のインフレーション政策反對
（ホ）爲替安定策を貿易管理に進ましむること

三、選擧公營案 强制投票比例代表制を既定內容とせる全國委員會決定の我黨案を中心に選擧公營を主張す

社倶幹事長

大連滿鐵社員倶樂部昭和八年度の評議員選擧は既に終り來る二十六日までに幹事の推薦を行ふことになつてゐるが、新幹事長としては慣例により七年度幹事會から三名の候補を擧げることゝなり中西地方部副事、市川經理の各部長を推薦したが中西、市川兩氏は擔當部の關係上就任困難な事情があり、目下武部氏が最有力である

德田大佐歸任

滿洲國駐在武官、關東軍司令部附海軍機關大佐德田順一氏は約二週間前朝鮮經由上京軍部方面と種々重要事項につき打合せの上二十四日入港うらる丸で歸連直に新京に向つた

はるびん丸船客

【門司特電二十四日發】廿六日大連入港豫定のはるびん丸主なる船客諸氏

山口倭太郎、小澤太兵衛、松田元市、中村太次馬、三好正、池

武藤大使の信任狀捧呈

【上】執政府における記念撮影【下】執政府に到着して執政の握手

司法制度完備せば法權問題解決容易
日本の司法官の援助に期待
馮司法總長訪日感想

日本における司法制度視察旁々新興滿洲國司法部を代表し訪日中であつた滿洲國司法部總長馮涵清氏は同部秘書木村辰雄氏、同部法令審議委員會副委員長王允卿氏、同部總務司事務官程義明氏、同部法務司代理委金諧氏帶同廿四日入港うらる丸で歸滿した、船中日本における朝野の名士並に一般國民の嵐のやうな歡迎と熱誠なもてなしに滿足し切つて左の如く記者團に語る

東京を中心に日本の一流都市はすつかり見て來た、感想は澤山あり過ぎてどれからお話して好いやら解らない、何れにしても貴國朝野の官民各位から盛んな歡迎を受け感激した、貴國々民が**滿洲國の** 研究に熱心なことは大變うれしい、同時に愉快に思ふ事は全國民が滿洲國の誕生に好感を持つて居られる事で、自分は今度日本に行つて貴國民の本當の氣持が判然と解つた、これは是非自分から滿洲國の三千萬民衆に知らしめたいと思つてゐる、今度貴國訪問の第一要件は司法制度視察であるが、日本の司法制度の完備してゐるのに感心した、特に十月一日かに貴國は調停法を實施してゐるが、成績は頗る好いやうだ、日本が普通の裁判から訴訟手續による調停法迄進んだ事は大變好い事でこれは東洋古來の精神にもごつた事だと信ずる、滿洲には昔からこの法律はあつたが運用を間違つてゐた嫌ひがある、日本が效果をおさめてゐるやうに我國も改良して行くつもりである、更に

刑事方面 の行政制度は勿論教化を主としたもので、實に行き屆いたものだ、これによつて社會に好い人を送り出す事たらう、從つて日本に一人の好い人が出る事はつまり我々滿洲國人の喜びだわが滿洲國の王道主義の實施は人民をしてその堵に安んぜしめるが、それには司法の完備が大切だと思ふ、それにしては今のところ滿洲は人材が少ないが、是非貴國よりその道の權威を招聘したいと思ひ、小山法相にもよくお話しておいたが法相もよく理解して頂けた、そしてその道の練達の士を派遣して頂くやうになるだらう、これは明年

二三月頃 實現するだらう、かうして日本から招聘の司法官によつて司法事務が刷新されゝば治外法權撤廢問題も容易に解決する運びにならう、治外法權の問題に對して日本の司法官は一般に了解してゐてくれた、尙社會一般の方面では神社佛閣が多く日本人は日本人獨特の神修養があるやうだが、これは我滿洲國人が孔子の道を奉するのとは違つた精神であると信ずる、日本の本當の好い所、强い所はそこにあるのだと思ふ、滿洲國人も精神の統一を計る事が必要だ、最後に自分は各方面の視察した箇所から色々な

表や統計 を大きな箱に二箱も持つて歸つたが、これによつて將來一つの著書を發行すると共に滿洲に效果をもたらす事になるだらう【寫眞は一行中央〇印が馮總長】

馮總長日程

滿洲國司法總長馮涵清氏一行はうらる丸上陸と共に麗小園子酷議會頭滿鐵より西脇總裁代理森本法院長等の出迎へを受けヤマトホテルに投宿したが、旅大滯在中の日程左の如し

▲廿四日午前十時滿鐵總裁訪問同十一時地方法院視察、午後十二時半滿洲館における滿鐵總裁の招宴に臨む、同四時半協和會館において日本訪問演說會、同五時半大連司法界の招宴に列席▲廿五日午前中黑石礁の于沖漢邸に赴き正午滿洲國興商務總會の招宴に臨む▲廿六日午前十時半大連發旅順へ赴き、正午關東廳の招宴、博物館參觀後高等法院視察、午後五時旅順司法界の招宴、同七時半大連に歸る▲二十七日午前九時發はとで新京へ

惑星韓復榘等 北平へ赴く
山東問題報告の爲?

【天津二十四日發】各方面より疑惑の目をもつて見られてゐた韓復榘、沈鴻烈は愈々廿三日夜十時廿五分水兵三十名、衛隊二百七十名を連れて軍用列車で北上した、今朝天津通過北平に赴いたが韓復榘は語る

今回の赴平は學良に山東問題報告のためで二三日で濟南に歸る豫定である、芝罘、龍口は目下海軍陸戰隊によつて治安維持されてゐるが、必要時には陸軍を派遣する筈である

人事

▲田正巳、黑井忠一、古知昇、近藤三彌、長澤千代造
▲德田順一氏（滿洲國駐在武官海軍大佐）二十四日入港うらる丸にて歸任
▲塚本寬氏（大連醫院耳鼻科長）同上
▲深水壽氏（滿鐵計畫部審査役）同上
▲岡田齋平氏（滿洲工業重役）同上
▲高木盤雄氏（大汽常務取締役）同上
▲馮涵清氏一行（滿洲國特派赴日考察司法事宜一行）同上
▲瀨川龜氏（立正團役員）同上來連
▲岸本國治氏（同）同上
▲須田清七氏（同）同上
▲長岡タツヱ刀自（故長岡少佐母堂）同上
▲入江正太郎氏（滿電專務）廿四日午前八時奉天より
▲前田孝成氏（海軍少佐）同上
▲佐藤俊久氏（ハルビン顧問）同上新京より
▲田邊敏行氏（大連自動車取締役）同上
▲中西敏憲氏（地方部次長）廿四日午前九時發北行
▲清水賢雄氏（鐵道部次長）同上
▲有賀庫吉氏（地方部學務課長）同上
▲小磯國昭中將（關東軍參謀長）廿四日午後七時五十分着連の豫定
▲鞍山中學ラグビー選手一行廿名廿四日出帆あめりか丸で內地へ
▲工專ラグビー選手一行 同上

蛇角

◇第六十四議會、いよ/\蓋開きの段取り。

◇この議會を稱して「非常時內閣の通常議會」といふ。

◇勢揃ひした各政黨政派、いづれも口々に「非常時の非常政策」を說くこと甚し。

◇なれど闘體ばかりの政友、無氣力な民政、獨りよがりの無產黨々相變らず新味なし。

◇同盟僅かにファッショに色づけど果してどれだけの期待が擔ひ得るやは頗る疑問。

◇衆議院に未だインフレ景氣來らず。

滿鐵辭令（廿四日附）

奉天驛貨物方事務員　龜山乾
同　小川武司
同　石井修男
構內助役を命す（各通）奉天驛貨物方事務員　三井田弘
蘇家屯驛助役を命す（各通）安東驛貨物方同　吉野郎
大官屯驛助役を命す　奉天驛貨物方事務員　竹內忍
安東驛同　柴野亮之助
同　中村亨
構內助役を命す　金滿子驛長同　田中德一
新京鐵道事務所勤務を命す　新京驛構內助役同　齋藤喜久治
金滿子驛長を命す　虻牛哨驛同　鶴田彌市
新京驛構內助役を命す　大平山驛務方同　後藤吉彥
虻牛哨驛助役を命す　昌圖驛助役同　杉田浩識
開原驛助役を命す　新京鐵道事務所同　洋谷勝榮
昌圖驛助役を命す　鐵嶺驛貨物方同　萩谷治良
開原驛同　增田誠一
四平街驛同　氣賀澤利一
助役を命す（各通）同　中嶋一之

滿蒙の戰慄 (182)
直木三十五作　淺枝次朗畫

大陸晴る 四ノ三

こんな時に、貴下がゐて下さつたなら」
と、書けもしたし
「お父さんは無事でした、元の通りのお父さんでした。明日にでも妾は、貴下との事をお父さんに打明けて――」
と、いふやうな文句を、使へたが、麗は、西城に云へない多くの重荷を、心の中へ背負つてしまつて――それを、何うしていゝか？――西城に云つていゝのか、云ふべき事でないのか、默つてゐるのが正しいのか、打明けるべきものであるのか――そうした判斷さへつかなかつた。
そして、麗の頭の中のスクリーンの上には、道木と、西城と二人の顏が、きら/\と映されてゐた。道木に逢ふてなれば、道木がよくなつたし、西城と交際してゐれば西城へ傾いて行く自分のやうな氣持ち

外には――この寒い夜の街を何處へ行くのであらう。打つやうな、すれるやうな靴音や、凍つた石道に石花を散らしてでも行くやうな馬車の鐵蹄の音と――
麗は、父を送つて出た時の、肌を刺すやうな寒さを、まだ肩に感じながら、ストーブの所へよると淋しさと同時に
（こんなに無事に、お父さんに逢へて――矢張り、來た方がよかつたわ）
と、思つた。そして、テーブルの上の、父と二人で書いた、母へ宛てゝの賴信紙を見て、心の中で
（お母さん）
と、叫んだ。
チチブジアウタレイ
レイブジツイタチチ
二人が別々で書いても、電報では技手一人の事務的な文字になるとは知つてゐても、二人は別々にその文句をかいた。
（お母さん心配してゐるなさるだらうに――明日早く、これを打つて夕方にはつくから）
麗子は、電報を見てゐる母の顏を想像してみたが、それと同時に
（あゝ――妾、西城さんの所へそうだわ、あの人の所へは、何一つ出さなかつたのだから――）
麗は机の上の硝子のインキ・スタンドへ眼をやつて
（寢るまでに書かう）
と、思つたが――何を書いていゝか？もし、まだ父に逢へず、もしまだ道木を知らず、そして、道木の話を父から聞かない前、父の要求を聞かない前であつたなら――
麗は、西城に對して
「未だ父の居所はわかりません。妾は、何うすればいゝのでせう。
がした。
（妾、浮氣なのかしら）
と、麗は、インキ・スタンドをみつめながら、首を傾けたが
（一人で、二人は同時に愛せぬ、といふ事は本當だけど、同時に二人が好きになれるつて事も、噓ぢやないわ。西城さんには、もう一度、身體が許せるけど、道木さんには、そうはできない。それが、貞操つてものだと思ふけど、もし西城さんに許してない前で、お父さんが、あゝ仰しやつたなら――そうだわ。妾、道木さんに、捧げたかも知れないわ――道木さんさへ、上手に、妾を誘つて下すつたら――）
麗が、こう思つた時
「あら、お眠みではございませんの」
と、女中が入つてきた。
「えゝ、今――」
麗は笑つて、振り向いた。

岫巖城頭の悲劇

父と弟を奪はれ可憐な日本娘泣く
天野將軍も暗涙にむせぶ

【岫巖二十三日發】わが天野〇團が岫巖に入城した十六日北門外に出迎へた市民の中から流暢な日本語で「お小父さん達御勞れでせう」といつて嬉し泣きに取すがるやうに近寄つた岫巖城の紅花一輪十八、九歳の娘があつた、時が時場所が場所なので驚いて訊ねると「支那人ではありません日本人です」と答へた、事情を聞けば坂本谷まつえ(一九)で三歳の時父母に伴はれて岫巖に來り九歳の時から來天の小學校に入學し母が病氣のため岫巖に歸りその後自宅にあつたが去る舊曆七月十一日以來支那人相手に雜貨商を營んでゐたものである、父坂本谷久吉及び末弟は匪賊鄧鐵梅のため拉致されまだ行方が知れず殘る長弟倉吉と二人父生前の知人王某方に寄食してゐたが十四日夜十一時頃討伐隊の銃鋒を避け逃走せる前縣長劉景文に拉致され全く孤獨となつたもので日本軍來の噂に全く蘇生の思ひをなし入城と聽いて北門外に出迎へ皇軍の姿を見て思はず馳せ寄つたもので

たゞ一人になつてどうなることかと思ひましたが日本の軍隊が來て下さつたのでやつと助かつた思ひがします、お嫁にゆけさ度々いはれましたが誰が支那人等のお嫁にゆくものですか

とかゝる悲慘な境遇にありながらなほ日本人としての誇りを忘れぬ心情が嬉しい、しかし彼女も人の子である、心が平靜にかへると直ぐ

私これからどうしたらよろしいでせう、私の父は今どうしてゐるでせう、お小父樣達御存じなら敎へて下さい

と淚と共に尋ねるいぢらしい姿に天野〇團長以下並居る將兵皆暗淚にむせんだ、故鄕は和歌山とだけ聞いてゐるが歸つたことはなく滿洲に親戚もないといふので結局憲兵や政治工作員の手で目下世話なし見てゐるが近く奉天のよりべを訪ねるとのことである

中島部隊奮戰

【奉天二十三日發】關門山附近に包圍した劉景文の匪賊約一千を攻擊せんと前進中の中島部隊は二十二日正午頃敵の警戒部隊と衝突し激戰一時間の後敵約六十名を殪してこれを擊退したが我軍も戰死一兵一名、負傷二名を出したんなく占據されたが我急鋒に四散した鄧鐵梅、劉景文、李子榮等の匪賊聯合軍は岫巖の奪回を企み天險に據つて二十一日夜來又も反し來り今や岫巖の周圍はこれ等匪賊のために完全に包圍されたが〇〇隊熊崎〇隊のみで應戰しつゝあるが二十三日夕刻に至るも一步も退却せず目下激戰中にて同隊は苦境に陷り相當憂慮されるに至つた

海城方面めがけて匪賊團脫出を圖る
愈よ全滅の日近づく

【新京電話】三角地帶匪賊劉景文鄧鐵梅一派は討伐軍の猛攻に遇ひ今や全滅の悲況に陷らんとし最後の足搔をなしつゝある有力なる匪賊團は海城方面に脫出すべく西方に退卻中の模樣で二十二、三日の戰況は左の如くである

一、二十二日中島枝隊の猛烈なる攻擊により黃花甸西方三キロ鶴盤溪、朱家堡子附近の敵は遂次退卻し死體約五十を遺棄して逃走した、我損害は兵士一、將二

二、上田枝隊は二十二日午後三時黃花甸に到着したので二十四日早朝から長岡枝隊、及川〇隊當面の敵に對し攻擊を開始した

三、又析木城から岫巖縣に向ひ前進中の自動車部隊は不良なる山間の道路を冒して前進中二十三日午前七時頃大偏嶺小偏嶺附近にて敵三百と遭遇しこれを攻擊中である

四、鶴冠山方面より前進中の渡邊〇隊は二十三日午後三時三十分頃獅子溝に於て約三百の敵と遭遇直に攻擊熱くこれを擊退し更に大洋河に沿うて進擊し流域の匪賊掃討中約三里河下にて迫擊砲を有する約一千の反滿抗日軍及び有力なる紅槍會聯合併の匪賊と遭遇し午後四時三十分より激戰三時間日沒後敵は死體百五十を遺して張家堡子方面へ敗走したので我軍は更に夜に入るも追擊掃討中で現在までの我が損害は重傷一名、輕傷三名である

岫巖を包圍
熊崎部隊應戰中

【奉天電話】近く凱旋の第〇〇團ー天野〇團の急追的進擊で岫巖もな

畏し皇太后陛下
天刑病者に御歌

【東京二十四日發】皇太后陛下には御事業として癩病根絕のため巨額の資金を下賜せられて病に惱む憐れむべき人の上に左のゐるが毎月御恒例の御歌會後兼題「癩患者を慰めて」の下に不治の

つれづれの友となりても慰めよ行くことかたき我にかはりて

御歌を賜り二十四日大島内務省衞生局長、生駒拓務省管理局長に對し宮內省に於いて御歌を傳達され患者にこの思召を傳へることになつた

『うむ、でかした』情熱の陸相が一言
荒木大尉戰死の公報
陸軍省內に感激湧く

【東京二十四日發】蘇炳文討伐の我軍の最先頭に立ち興安嶺の白雪を血汐に染めて壯烈な戰死を遂げた荒木大尉に關する公報は二十三日午後四時半陸軍省に到着したが居合せた將校連は悲壯なその狀況に感激し省內に時ならぬセンセーションを捲き起してゐる、熱情の將軍荒木陸相は眼に淚を泛べ「うむ、でかした」と只一言、六師團在職當時の部下荒木少尉の姿を偲ぶ如く暫く瞑目した、本間新聞班長も「荒木の戰死は殊勳と云ふには餘りに大きい犧牲だ、世界戰史を飾る大和魂の發露だ」と前提し面を輝かし左の如く語つた

ホロンバイル事件が豫想外に早く片付いたのは鐵道作戰の成功だ、而してそれは一に先驅たる裝甲車隊さ特にその長たる荒木大尉のお陸である、大興安嶺の環狀線で奔流の如く落下する敵の貨車を發見、皇軍の危急を救つたのは鬼神の業だ、又脫線器を裝置して部下を後退せしめたが後退した部下が又荒木大尉を案じ前進負傷した如き人情美談に泣かずには居られない

北滿の匪賊南下
我軍と江省軍が追擊

【新京電話】大勢上遂に北滿に蟠居し得られなくなつた李海靑、鄧文、檀自新及び靈剛は洮南方面に出て熱河經由山海關方面に遁入せんと企圖せるが如く松花江を渡り南下せんとしつゝありとの情報に接し我軍及び黑龍江省軍は協力して進擊中である、又天照は日頃資性極めて暴虐で仲間の指彈を受け孤立無援となり目下水明附近にある彼の匪賊は黑龍江省軍周作霖の部隊より又林甸に於いて約一千の部下は黑龍江省軍の宗樹聲、姜鵬飛、張魁演各團により包圍攻擊され全く進退の自由を失ひ今度は愈々殲滅するであらうと見られてゐる、これで北滿の兵匪は概ね掃討し盡されたことになる

同情週間の醵金
五千六百餘圓を分配

市中の極貧者や社會事業團體に收容保護されてゐる老幼者ならびに疾病者に對し恩賜慰惡資金の交付金傳達および歲末同情週間の醵集金分配は二十六日午後一時から市役所市會議場に於て行はれるがなほ歲末同情週間の方は二十四日朝まで日本人側より五千二百三十一圓九十三錢、滿洲人側より四百二十九圓合計五千六百六十圓九十三錢の醵集金があつた、右の內配給金は日本人側三千三百三十九圓、滿洲人側一千三百四十九圓、合計金額四千六百八十八圓であるがそ

送金があるまでは遁入者として抑留
露領の蘇炳文軍一行

【新京電話】二十四日モスクワより新京のわが大使館に到着した情報によればモスクワ駐在支那代表王蘇思とカラハン氏との間に蘇炳文軍の遁入者始末に對する意見の交換に對しカラハン氏は滿洲國からソ聯國領內に遁入した軍人二千八百九十名、人民一千二百名(其の中女三百四十七名、子供三百六名を含む)に對しソ聯國政府のソ聯領より出國を許可したが、其の後彼等に於て出國費は勿論ソ聯領內に於ける生活費をも持合はせ居らざること判明しソ聯政府では彼等を無報酬にて運送又は給與し得ざるをもつて支那政府に於て彼等に對し必要なる費用支出方を配慮せられんことを希望する旨を述べた、尙ソ聯政府では本件解決前軍人及び人民を遁入者としてトムスク附近に抑留するの已むなき旨を附記したるに王は右を直に支那政府に報告すべき旨を約したとのことである

の內容は左の通りである

▲日本人側　貧困者百九十二世帶七百七十三人でこの金額二千五百六圓、救護十二團體、收容人員四百七十一人でこの金額八百三十三圓

▲滿洲人側　大濟善堂に三百四十九圓、紅卍字會施粥所に五百圓、大連庇寒所に五百圓

滿洲代表チーム
ラグビー大會へ
工專と鞍中兩軍遠征

來る一月四、六、八日の三日間花園球場において開催される全國高專ラグビー大會に滿洲代表チームとして出場する南滿工專ラグビーチーム一行二十一名は安藤助教授に、また三、五、七日の三日間甲子園球場に於て開催される全國中等學校ラグビー大會に滿洲代表チームとして出場する鞍山中學一行二十名は三宅、山浦兩教諭に、それぞれ引率され二十四日出帆のありか丸で多數先輩校友並に運動關係者の盛んなエールを受けて遠征の途に就いたが工專監督安藤助教授は語る

早高なのぞく他チームはそう恐ろしく思ひませんが、大いに滿洲代表チームとして恥づかしからぬ戰ひをやる考へです

また鞍中監督三宅教諭は語る

一行二十名中、十名は昨年大會に出場して居りますのでこの點甚だ心丈夫です、州內外豫選の決勝戰終了後運よく滿鐵ラグビー部の野口貫一選手が內地の早慶戰その他大學のビッグゲームを見學されて鞍山に歸られたものですからその後ずつとコーチを受けた結果可成り進步したものと信じて居ります、然し何分京城師範の如き超中等學校チームがありますので、まあ正々堂々と戰つて滿洲ッ兒の意氣を見せる考へでの州內外優勝戰後ゲームをやつて居りませんので着阪後北野中學と神戶一中の兩チームと試合をやることになつて居ります

なほ工專は大阪堂島の三笠館に鞍中は甲子園若狹屋に宿泊する

對工大戰に負傷者がありその負傷者の創もやつと昨今全快したやうな次第である、とり分け攻擊の中心とも言ふべきHBの西山君が可成の傷でしたがこれも漸くなほり昨日練習に出ましたがまあどうにかなると思ひます

驚ろかしてはいけません!
ゆうべ大連署內で銃擊一發

歲の瀨も押し迫つて世上騷然たる二十三日午後七時ごろ大連署警務係で轟然たる銃擊一發に署內は「それッ」とばかりに總立ちとなり、大騷ぎとなつたが實は警戒交代巡査某君が拳銃の手入れ中、一發殘つてゐた彈丸が突如爆發したものと判明幸ひに銃口を天井に向けてゐたゝめ怪我人を出さなかつた

歲暮にどりこの

贈るに便利、受けて何より重寶、新時代向の贈答品として『どりこの』が一番

戰傷病者內地へ
明朝七時大連驛到着

滿鐵沿線各地に療養中の戰傷病患者六十五名は內地へ歸還することゝなり來る廿五日午前七時大連驛に到着、二十七日午後四時出帆の照國丸で內地へ向ふ豫定である

再考を促す俱樂部のホール
地方部の反對意見書

昭和七年度大連滿鐵社員俱樂部幹事が最後の會議で決議した俱樂部內のダンスホール設置問題は俄然問題化し擔當部である地方部でも愼重に本問題を硏究中であつたが中西部長始め關係者の意見は何れも「その時期に非ず」といふに一致した、その理由の最重要點とされるものは奧地派遣社員の淚ぐましい努力を思へばダンスホールを造るが如きは全然否定さるべきことであるといふ點にあり、從つて地方部では

本要求の實施に當つてはその時期に就て愼重に考慮する必要のあるものと認む

との意味の反對意見書を附して一兩日中に幹事會の決議文を社員俱樂部に送り返し、社員俱樂部幹事會の再考を促すことゝなつた

故長岡少佐の母堂來連

三角地帶の匪賊討伐に際し去る十七日午後十一時頃約七百の敵匪に對し陣頭に立つて華々しく奮鬪遂に黃花甸に盡忠の鮮血をぬり、天晴れ帝國軍人の花と散つた故長岡寬少佐の母堂タツヱ刀自は親戚の稻岡碩、石原信親兩氏と共に二十日入港うらる丸で來連したが、タツヱ刀自は流石に武人の母らしく靜かに落ついて語る

寬も死に場所を得た事をサゾ喜んでゐるでせう、こちらには寬の妻女と子供が居りますが戰死の報に接し取敢ず參りました、もし遺骨を頂けたら護つて故鄕兵庫に歸らうと思ひます

爆發五勇士告別式
廿六日新京で

【新京電話】二十三日午前九時四十分新京飛行場で飛行機が爆發した際戰死した福島大尉以下五名の告別式は二十六日午後二時新京商業學校講堂に於て飛行第〇〇隊主催の下に舉行することになつた

警察官に警告
警務局長から

最近關東廳管下の警察官が所謂時氣分から放逸に流れ官紀の上から面白からぬ傾向があるので林警務局長は二十四日附管下各警察署長に對し規律の振肅を計り警察官の體面を毀けるやうな行爲なきやう部下を戒飭されたしとの注意事項を發した

恭親王夫人

尾ケ浦黑石礁五二一番地恭親王夫人寶氏はかねて病氣療養中であつたが二十三日午後四時死去した、恭親王家では未だ喪を發表せず近く正式に發喪する筈

白木屋の商品火保査定

【東京廿四日發】白木屋火災に對する火災保險會社の査定は漸く廿三日に至り商品に對する査定を終つたが六割百七十萬圓の見込である

北の風雲・時晴
各地溫度（廿四日午前十一時）
大連零下三　奉天零下一二
旅順同三　新京同一二
營口同八

けふの小洋相場（正午）
金百圓は一三五圓七五錢

三二年婦人界の展望（一）

◆…今年の婦人界で目立つものは何といつても愛國運動の勃興です、正月中に滿洲を視察した林、久布白兩女史の歸國と共に矯風會はすつかりファッショ化し、これに續いて將校婦人會と愛國婦人會合同の愛國獻金が行はれ、又三月には陸海軍將校夫人たちが中心となつた日本家庭協會が生れました

◆…四月には全滿婦人聯合會の代表が母國を訪ひ、東京で移動兵士ホームと隣保館建設のため三萬圓の寄附金を集め、又五月には母國から各種の婦人使節が軍の慰問に來滿しました、斯うした空氣の中に婦人を中心としたファッショ團體は續々發會式を擧げましたが主なるものは六月發會の名流夫人を發起人とした日本航空婦人會、無名婦人の集まりたる十月發會の大日本國防婦人會等です

◆…又各地方にもファッショを標示した各種の婦人團體が生れましたが主なるものとして關西の國粹婦人聯盟、金澤國防婦人會等を擧げることが出來ます、さうして反動的に婦人の平和運動は全然振はず、唯矯風會が死んだ犬養首相を訪問し軍縮の理想を陳情しただけでした

お酒やご馳走でお召物が汚れたら

早くこんな方法で汚點抜きを……

春を迎ふ主婦の心得

お正月になるとお酒や御馳走のためにきものや洋服を汚す場合が多く、若しその手當をあやまりますと折角の晴着も臺なしになりますから汚れたらなるべく早く次の方法によつて汚點抜きをするやう藥品類もあらかじめ揃へて置いて頂きたいものです、この方法は毛織物、絹、人絹、木綿類の色物一切に應用出來ますから大變便利です

酒のかゝつた場合

硼砂末茶匙二杯、亞鉛末一杯を五勺の微温湯によくかきまぜます、若しつまめる所でしたら十分間その中に浸しつまめなければ乾いた厚いバスタオル樣のもの〻上にひろげ藥液をガーゼに浸して汚れた箇所に數回叩きつけて汚れを去ります、仙臺平や角帶など厚地のものでこれだけで抜けない場合は醋酸曹達茶匙二杯、グリセリン一杯を二合の湯にとかし前と同じ方法で抜きます、全部とれましたら清水で藥の殘らぬやうよく拭きとりうすい醋酸液にちよつと浸して色澤を戻します、そのまゝ乾かすと縮立ちますからきはりに水霧を吹いてぼかし、乾いた布に挾んで兩面からよく押して水氣をとり火に焙つたりしないで自然に乾しますすつかり乾いたら裏からアイロンで（霧を吹かないで）仕上げれば結構です。

醤油のしみた場合

水一合、アムモニア一勺、硼砂末茶匙七分を調合した液で前と同じ樣にしてこり、清水で藥を去り醋酸液をとほして同樣に仕上げます

砂糖類や菓子など

斯んなものがついた時は厚い乾いた布地をよごれ物の下に敷き汚點の全面に大根おろしの汁を數回塗りつけ乍ら輕く叩きます、ついて間もないものはこれで綺麗にとれますが時日が經つて充分抜けないものは水五勺、醋酸二勺、硼砂末茶匙一杯の割合で作つた液體を塗り、乾いた厚い布地を汚れた物の上下に置いて上から熱いアイロンを當てます、すると殘つてゐた汚點は蒸氣と共にたつて上下の布にすつかり吸取られます、その後の始末は酒や醤油の場合と同樣です

酢物がついた時

微温湯五勺に硼砂末茶匙一杯の割でよくかきまぜこの液で同樣にして汚點を抜き仕上げます。

×

帶や色のさめ易い裏地などのついたものはそのまゝで洗ふと裏へとほつたり裏の色がしみたりするおそれがありますから面倒でもその部分だけ解いて洗はねばなりません、これで大ていとれるはずですが若しどうしてもうまく行かねやうでしたら電話八三一六番へおたづね下さればよろこんで御質問に應じます（寶ドライ商會主師岡氏談）

ベルリンの八百屋さん

いはゆる交通地獄の繁華な街をウロウロして車馬を避けて行く歩行者を見下しながら誇らし氣に――事實感心するが――蕎麥のザルを高く積んで行く蕎麥屋の出前持が我國にゐるやうに、ベルリンにも青物や果物を入れた籠を頭の上に高く積んで歩く八百屋さんがゐる、何處も同じ「あんちやん」氣分からこの素晴らしい街のユーモアを演ずる勇み肌が居ること洋の東西を問はぬらしい

ご婦人の新春の裝ひ

上品に落着を見せる事

▼…不斷洋裝をしていらつしやる御婦人方もお正月の廻禮には多少あらたまつた服裝がほしいものです、歐米では絹物でさへあれば派手な柄物でも禮服として用ゐられますが、日本人は禮服として無地の紋附が用ゐられる習慣上、洋服にしても矢張り無地もの〻方が禮儀に適ふやうに思はれます、それも夜會やダンスなどの場合なら華やかな色合でないと榮えませんが、普通の廻禮でしたら強ひて地味にしないまでも上品で落ついた例へばブルー、茶、グリーン、黒、紺系統等の色合が好もしいと思ひます

▼…おめでたですから若い方なら相當華やかな色をお用ゐになつて結構ですが、徒らに刺戟的な色合は下品です、寧ろ落着いた地色を使つて配色やスタイルによつて派手にした方が遙かにスマートで効果的でせう、配色といつてもゴテゴテと種々の色を使ふのは下品でカラー、カフスに調和のよい布やレースをとり合せるとかベルトに思ひ切り凝つた金具をつけるとか、左の胸あたりにデカ繪具やペンテイックスで金か銀の花を描くといつた程度の裝飾品が床しいと思ひます

▼…生地はサテン、クレープデシン、絹ビロード等がふさはしく毛織地は禮儀でありません、スタイルはワンピースのアフタヌーンドレスであまり極端でない袖つきのスッキリした型が望ましく、スカートもふくらはぎがかくれる程度が恰好です、靴下は絹の肌色、靴も共の肌色か黒が上品でせう、さてその上に召す外套は矢張り絹物か毛皮が禮裝で絹ポプリン、絹ビロード等の襟とカフスに上品な毛皮をフンダンに使つたのはなかなかシークです、晝間でしたらフエルトかドレスと共生地のしやんとした帽子をおかぶりになつた方がよろしいでせう

▼…はなやかな夜の服としては勿論イヴニングドレスが正式で靴もこれに相應して金や銀或は繻子地などの華奢なハイヒールを用ゐます。この場合にはお化粧もおぐしも相當派手にして帽子はお止め下さい。外套は晝と同樣で差支ありません（連鎖街中山婦人服店主談）

滿洲婦人歌壇

林田成子

○
果物も色づくまゝに秋たけて海の彼方を思ひ出づる日

○
手にのこる蜜柑のにほひふるさとの人など思ふ靜かなるよる

○
晴れし日は沖の彼方に見ゆる島ふるさとの如くなつかしきかな

○
旅にゐる寂しき幸をこのごろの雪ふる日々はしみ〴〵思ふ

○
このくには北斗の眞下感傷の秋をなく鳥われもなきたし

家庭顧問

盲腸炎手術のあとでは子供が出來ないものか

【問】私は本年三十二歳の女ですが二十四歳で結婚し唯今八歳と五歳の子供があります、昭和四年盲腸炎の切開手術を受けまして以來身體はごく健康ですのにその後一回も姙娠致しません、主人も丈夫です、五歳の子供は本年の八月まで乳を吞んでゐました。人樣に伺ひますと盲腸炎の手術を受けた者は子供が出來ないさうでがつかりしてゐますが、本當でせうか（子寶のほしい女）

貴女の不姙は手術の結果でない、他にある

岩男其二郎

【答】貴女は既に二人のお子さんがおありですから問題は其後即ち第二次的不姙の原因を調べればよろしいわけになります、お尋ねの盲腸炎切開手術は結果が惡くて腹腔内に障碍を起し卵巣や輸卵管等を荒廢させた場合は不姙症になりますが、貴女が手術後健康の増進されてゐる點から考へますとさういふうれひはなく從つて手術に原因する不姙とは考へられません、とすれば不姙の原因は授乳性子宮萎縮症或は子宮内膜炎、子宮後屈症、輸卵管閉塞等の何れかでせう、長年月に亘つて授乳してゐますと子宮は萎縮して生理的作用が障碍され月經不順、無月經、不姙といふやうなことになり勝ちですが貴女のは恐らくこれではないでせうか、其他の病氣も必ず自覺的苦痛があるとは限りませんから苦痛がないからとて油斷出來ません、一日も早く專門醫の診察をお受けになつて不姙の原因をのぞき、再び御希望の通り丈夫なお子樣を御擧げになります樣希望いたします

硝子　斯うすれば立派になる

お正月を前にどの家庭でもお部屋のお掃除に多忙を極めます、殊に硝子張りで圍まれてゐる滿洲の家庭は硝子のお掃除に骨が折れますが、簡單にしかも綺麗に短時間で拭く方法？

アルコールで拭くのも一方法でせう、又石鹼水で拭くのもよいでせうが、お臺所に使ふボンアミ（磨粉と石鹼を混合した固形のもの）を濡れた軟かい雑巾につけながら硝子を裏表全部拭きますと、硝子は眞白になります、これを乾燥するまで放つて乾きましたら乾いた軟かい布で綺麗に拭きとりますと澄み切つた氣持よい硝子になります、ボンアミですと手間も別にかゝらず、どんなに多い硝子窓でも人手さへあれば短時間で綺麗に磨けます、因にボンアミは廿錢から五十錢位でもとめられます（大連浪速町福田硝子店主談）

滿日各地版

東邊道、間島方面への鮮農移住案具體化
東亞勸業の手で實施

【奉天】東邊道一帶、間島方面からの地域に鮮農を移住せしめる案は總督府にても具體化し、東亞勸業公司に依囑して指導に當てる方針であるが、來年度は數百戸宛の集團移民を數組に分ち移民する模樣で、豫算關係によつては數千名の移民を實行する意向である、然し現住の鮮農にたいしては全然これら集團移民と別項に取扱ひ、前任鮮農民には農耕低資の融資、種子の支給、收穫期までの生活資の貸與といふ範圍の金融と社會的施設をも行ふ方針であり、これまた東亞勸業の手を經由して實施されるものとみられてゐる、將來間島と東邊道は地域的に集團移民の根源を成すやう指導する目的であると

奥地領事館の警察官兼任問題
關東廳との統制如何

【奉天】滿洲國の承認に伴ひ今後各地の匪賊が平定になれば邦人の奥地に向ふものもかなり增加するので、邦人保護の必要上、外務省直系の領事館警察官を增員せねばならぬが、豫算其他の關係上、果して十二分の外務省警察官を配置し得られるや否やは問題である、既に關東廳警務局と外務省關係の警察官との統一案さへ論議されてゐる程である、現に錦州はこれまで關東廳警務の外務省警察官が派遣されてゐたが、領事館の開設により昔の如く兼務官を派遣するかどうかゞ問題である如く滿海線山城鎭或は海化、海龍の各分館が領事館に昇格した曉、又は他に領事館が開設された際は當然警察官を配置せねばならぬので、右外務省警察官と關東廳警察官との統制問題は當然起きて來るから目下外務省關東廳當局においても研究中である、然し大體において關東廳警察官の兼務が實現するのではないかとみられてゐる

貨物車脱線

【奉天】午前八時半安東發の二三四貨物車が劉河家驛構内に進入せんとした際機關車二輛目の車軸折れ脫線、其のため午後一時着の急行は二時間半延着した

明星ホール 正式開場

【奉天】奉天加茂町に新設された明星ダンスホールには二十三日奉天署より正式に開業許可を得たのでいよ／＼二十四日のクリスマス當夜より華々しく開場するなほ同ホールのダンサーは十八名許可となつてゐるが既に内地より三十三名のダンサーが來てゐるので近く全員認可されるはづ

皇軍、析木城に入城

戰傷六勇士 凱旋入院

【奉天】三角地帶匪賊討伐に出動し長子山及び秦兒山附近に於いて戰鬪中名譽の負傷をなした奉天○○隊六勇士は二十二日奉天に送られ衞戍病院に入院手當中であるがその中の前島龜吉上等兵は頭部に盲貫銃創を負ふてゐるため同日午前十時四十二分惜くも戰友に手を握られて遂に名譽の戰死を遂げた尚同部隊は廿四日奉天に凱旋の筈

藤内巡査部長一周年追悼會

【鳳凰城】昨年十二月廿二日午前三時半約百名の匪賊が高麗門驛と同地警官派出所とを同時に襲撃せる際奮戰遂に名譽の戰死を遂げたる故藤内勇二巡査部長の一周年追悼會が二十二日午前十時半より新築の高麗門派出所内に於て盛大に擧行された、當地から辰巳巡査部長夫妻（辰巳夫人は故藤内部長の實妹）は遺族として、本田警務主任は署長代理として參列し式は先づ高海奉領師の讀經に始まり遺族近親各代表者の燒香ありて正午式を終つたが同地としては稀に見る盛儀であつた、尚此日同地渡邊驛長、白崎巡査等が主となり派出所構内に故藤内巡査部長の記念碑を建立する等此儀に對し兩氏の盡力は一通りでなかつた

文官屯派出所 屋上に銃眼
盛大に開所式を擧行

【奉天】モダン文官屯の警察派出所が廿日竣工し伊藤警部、島田警部補の立會で開所式を擧行した、滿洲にはめづらしい容姿で而も地方の必要にせまられて屋上には銃眼があり、匪賊の襲來には十二分の防禦ができる、この日近郷十一ケ村の滿洲國村長が列席したのは盛觀で、村長一同は國境を超越して日本警察官が我等の保護に當り事變來の勞苦にたいし感謝の外はないと心からの謝辭を述べ記念撮影をした、これと同樣に最近新城子にもモダーン警官派出所が竣工した、地方農村の鎭めとして居住民の信頼を受けてゐる（寫眞は文官屯派出所開所式）

管下五十八縣の縣治統制
自治制實現の方針

【奉天】奉天民政廳としては管下五十八縣の縣治政策としては現在一等から三等の差級縣制であるがこれは將來改稱する方針である、縣の構成は從來財務、總務、警務、敎育、實業の五局であつたが、新令によると實業局を廢止することになつてゐる、然し大小各縣が右の如き五局制を採用することは縣費を膨脹せしめる禍根となるので縣の財政收入の點から省又は中央で統制し得らる機關はこれを縣治から除き其間各縣の情勢に從つて局制を改め縮少する考へである、そして縣治の根本方針としては自治制の實現を期待し、縣治統制の後、區、村制の確立を計り、現在各縣の小、中學校の如きも或は縣に又は區に、村費により經營せるものあり、これらを統一して複雜化を防ぎ成るべく單一化さしめる方針であると

除幕式を兼ね慰靈祭執行
湯崗子三勇士記念碑

【鞍山】本年度夏湯崗子溫泉を襲擊した匪賊と戰ひ名譽の戰死を遂げた上等看護長菊地次郎氏、伍長渡邊幸平氏、伍長瀧谷忠司氏の戰死記念碑建設に就ては既報の通り湯泉公園北方宮樣お手植の松附近の聖地に建設中であつたが愈々竣工したので二十二日午前十一時半から除幕式を兼ね慰靈祭が執行せられた、自然石の碑面には上田大隊長の執筆にて「忠烈」と刻せられてあり式は梶野神職の修祓行事碑の除幕、招魂詞奏上、型の如く行はれ貴島衞戍病院長、小野寺所長、泉警視、久留島分會長、井上驛長等玉串奉奠あり齋藤支配人の挨拶にて盛儀を了つた地下に眠る三勇士の英靈も定めし喜ばれたことであらう

滿洲自動車 認可
公稱資本百萬圓

【奉天】兼て問題となつてゐた滿洲自動車株式會社は二十三日正式に設立認可を得た右會社は公稱資本金百萬圓、拂込金額二十五萬圓でこのうち十五萬圓は不動産である

貧困者救濟に百圓寄附

【奉天】春日町八番地森洋行では金百圓を貧困者救濟金として二十三日奉天署に寄附した

避難鮮人に冬着分配

【四平街】懷德縣五家子より公主嶺に引揚げた一千五百名の避難鮮人に對し各地の同情者より寄せられた十九個包の冬衣が到着したのでそれ／＼分配したところ彼等は感泣これをうけた、なほ領事館は十五日より冬期間に於ける救濟を開始したのである

安東署の貧困者救濟

【安東】安東署はかねてより市内居住の極貧者を調査中であつたがこの程一段落をつけた、その結果に依ると五十三戸二百二十名でこの氣の毒な人々に對し來る二十五日までにそれ／＼金一封と白米若干を貧困者救濟費から惠與し正月らしい正月を迎へさせることゝなつた

不逞鮮人の取締は日滿協調
三矢協定破棄對策

【奉天】三矢協定の破棄に伴ふ不逞鮮人の取締、特に共產黨及反滿洲國的運動、朝鮮獨立等を計畫するものにたいしては奉天警務廳としても地方的に取締の緩急をする方針であるが、總督府警務局としても全滿的若しくは奉天省の思想方面の特別取締については矢張り部分的協調をもつて進む考へであるらしい

氣の毒な人達に溫い同情品配給
奉天署がトラックで

【奉天】年の瀨もあと數日に迫つたこの師走を越すに越されず寒さと、飢に泣いてゐる哀れな邦人貧困者に對し奉天署では第二回の救濟を行ふことゝなつたが、今回救濟すべき邦人貧困者は十六戸六十名で前回よりも溫かい救ひの手を伸ばすことゝなり、廿四日小畑警部補等はトラックに白米と石炭を積み順々に之等の家族にお金と米と石炭を支給したが殊に頑世ない小谷育兒ホームの幼兒にも人並に喜び滿ちた正月を迎へさせてやりたい心から玩具を惠與した又病院に入院中の施療患者に對しても夫々救濟品を與へた處何れも涙を流して感謝してゐた

井上司令官

【安東】指揮連絡の爲め來安中の井上獨立守備隊司令官は三角地討伐一段落をつけたので二十日午後八時四十五分發にて離安北行赴任した

旅順放送

▲出雲大社教では恒例に依り來る三十一日午後八時から大祓式を執行する
▲觀世流正謡會では二十五日午後一時から壬申忘年謡曲會を開催する番組は
▲素謡 和布刈、張良、[illegible]
▲獨吟 八島、江口、蟬丸、鉢木、女郎花、熊坂
▲仕舞 鞍馬天狗（阿部かなめ）富士太鼓（古澤治子）松虫（高木美壽子）玉の段（稲本勇）にて番外は稲本氏は歐陽宮を謡ふ
▲忠海町高橋サタ子（四）は疫痢に大津町所司ツトム（二）は咽喉ヂフテリヤに元寶町一三五水野義則（八）は猩紅熱疑似といづれも診斷された
▲在滿中の軍艦平戸乘組員は二十三日午後一時から黃金臺一帶に於て陸戰隊演習を行ふ
▲旅順日本基督教會同日曜學校では來る二十六日は新市街講義所にて二十七日は舊市街會堂にてそれ／＼クリスマス祭を開催、合唱、對話演説、活人畫、ハーモニカ合奏、プレゼント分配等がある

沿線往來

▲千種滿鐵衞生課長 二十三日來奉
▲田中香苗氏（大每奉天支局員）今回新京に轉任することゝなり二十三日各方面を挨拶したが同氏は二十五日赴任の筈
▲天野○隊長 二十三日歸奉

荷馬車拂底で賃銀が暴騰
奉天の運搬業困る

【奉天】歲末を控へて奉天市中の荷馬車は著るしく拂底し各種運搬業者及石炭商は多大の不便を感じつゝあると同時に馬車賃の暴騰を來すに至つた、從來荷馬車一頭引き一日の賃銀二元十仙同二頭引き三元三十仙三頭引き四元三十仙であつたが現在では二三割の昂騰を見てゐる

凱旋工兵隊 送別宴

【鐵嶺】鐵嶺初代の駐剳工兵隊として昭和六年四月以來鐵嶺駐剳の任にあつた工兵隊第○○隊は昨年事變勃發するや奉天新京吉林チチハル等に出動し更に錦州に轉戰再び北滿に活動するなど一ケ年餘は殆ど出動して各地到るところ赫々たる武勳を樹てたが愈々來る二十九日滿洲駐剳の重任を果して第○○隊と交替して母國に凱旋することになつたので鐵嶺時局後援會主催の下に高城○隊長以下幹部九名を主賓とし二十七日午後六時より萬安に於て盛大なる送別宴を開催することになつた、會費四圓一般多數の出席を希望すると

長岡部隊の復讐戰

【鞍山】黃花甸の戰鬪に於て長岡○隊長を失つた小林○隊は悲壯な決心の下に中島○隊と協力作戰をなし引續き殘敵を掃蕩中の處二十日午前六時黃花甸の南方閻家保子に於て大砲二門、重機關銃等を有する約五百の敵と衝突し長岡大尉の仇と猛烈なる攻擊を加へ突擊又突擊遂に之を潰走せしめた、此の戰鬪において我軍は負傷兵五名を出したが敵は死體二十餘個を遺棄して逃走した、我軍は引續き殘黨を蹴つて進擊中であると

鞍山部隊 敵匪を潰滅

【鞍山】黃花甸に向つて出動した鞍山上田○隊は途中嵩難を排し二十一日敵地に進軍し小林部隊、中島部隊と合致し二十二日早朝勇躍前進中午前九時黃花甸南方約二里の地點周家堡子において敵の前哨部隊約百名と衝突し約三十分間銃火を交へたが敵は死體二を遺棄して逃走した、更に進擊を續けたが匪首は小林○隊の剛勇さに恐れをなし關門山附近の峪地に後退潛伏し王全一の部隊は○○○に後退した、上田○隊の應援を知るや敵匪は死物狂ひに抵抗を試みんとして居る模樣であるが此處二三日中にはさしもの敵匪も潰滅されるものと觀られて居る

(明治四十年十二月五日 第三種郵便物認可)

滿洲日報

發行人 鈴木 昇 / 編輯人 松本豊代治 / 印刷人 本村武松 / 大連市東公園町卅一番地 發行所 株式會社滿洲日報社 / 定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵稅 金十五錢 一部 金五錢 / 廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

聯盟會議の經過と將來の情勢甚だ好調

ブロンソン・リー氏の快電

【新京特電】ジニネーヴで活躍中の滿洲國顧問ブロンソン・リー氏は二十四日集外交總長宛左の如き電報を寄せた

滿洲國中央政府及び地方團體より送附せる滿洲國關係の宣言書報告書並に寫眞等續々到着しつゝあり今次の聯盟會議の經過及び將來の情勢甚だ好調にて愉悅な禁じ得ず外交部においては右は滿蒙の事情に通ぜるリー氏の寛感であるから滿洲國に關する限り聯盟における空氣も漸次好轉すべしとして將來に對し樂觀してゐる

第六十四回通常議會

準備をいそぐ兩院

外科材料も山と積んで亂鬪さわぎに備へる

晴曇不明瞭の政局

【東京特電二十三日發】六十四議會もいよ〳〵明日から開かれるが開院式を合せて年内四日間開かれるわけで貴衆兩院の係員は議席の振替へや名札の書直しその他で二十三日は全員大汗の態、警視廳では院外から如何なる者が押しかけるか判らぬとあつて三百名の新撰組の警官隊を組織し百五十名は衆議院通用門前に防彈チョツキに拳銃を携帯で待構えることになつた、院内は百五十名の私服の腕力の強い連中が網を張り大臣には三人の護衛がつく、民政百十六、國同三十三、無産十一名に對し政友二百九十八名が議場の眞中に頑張る、齋藤內閣といふ寄合世帶がこの政友會に揉り潰されるかどうか最も興味がある、政友派の閣僚が頑張るので解散は到底斷行出來ぬ、萬一の時は總辭職の外はないが今の所では豫算は結局鵜呑み、一揉みされてもこの議會はどうやら切拔けられるらしい院內事務室では萬一亂鬪が演じられても差支へないように外科材料を山と積んであつた

召集日の兩院

【東京二十三日發】第六十四議會は二十四日を以て召集されるが召集日の貴衆兩院の順序は左の通りである

貴族院 午前九時開會議長は議員三分の一の着席を待ち開會を宣し議員の部屬を定め一日休憩其間各部に於て部長及び理事を互選し再開議長は書記官をして其結果を報告せしめ成立を告げ散會直ちに政府及び衆議院に通告する

衆議院 午前十時開會議長定員の着席を待つて開會を宣し議員の部屬を定め一日休憩其間各部に於て部長理事を互選し再開書記官をして互選の結果を報告せしめ成立を告げ散會し政府及貴族院に通告する

貴衆兩院 各派勢力

【東京二十四日發】廿四日召集日の貴族院(皇族御十八方を除く)及び衆議院各派の分野は左の如し

貴族院

會派	人數
研究會	一五〇
公正會	六九
交友クラブ	三九
同和會	三九
火曜會	三四
同成會	二五
無所屬	三一
欠員勅選	二

衆議院

會派	人數
政友會	二九九
民政黨	一一七
國民同盟	三三
第一控室	一〇
欠員	七

議會開會の詔書公布

【東京二十四日發】第六十四通常議會は二十四日召集され、貴衆兩院より成立を告げた旨政府に通告があつたので內閣より直に上奏の結果、同日附官報號外で左の如く二十六日帝國議會の開會を命ずるの詔書を公布された

詔書

朕帝國憲法第七條及議院法第五條ニ依リ十二月二十六日ヲ以テ帝國議會ノ開會ヲ命ス

御名御璽

七年十二月二十四日

各國務大臣副署

大論戰を豫想さるゝ今議會の重要問題

その中心は財政々策

【東京特電二十四日發】第六十四回帝國議會はいよ〳〵二十四日を以て召集されたが、齋藤內閣としては成立以來三度目の議會である然し前二回はいづれも非常時豫算を審議した臨時議會であつたので現內閣に對する政策の檢討、施設の批判はこれを充分なす餘裕がなかつた、從つて

今議會は その意味において現內閣の批判の論議が相當深刻なるものであらうと見られて居る即ち組閣以來約八ケ月の施政には內治、外交共に重大問題多く殊に非常時內閣としての政策が法律案豫算案等に多分に織込まれて居りこれが議會の協賛を求むることになるのみならず一方政友會の態度は急進派の反政府熱により可成り硬化し居り、また國民同盟は純在野黨の旗幟を鮮明にし、民政黨は反對に與黨的立場で滿足せんとしつゝあるも

純理論に おいてはこれまた或る程度までは突き込んで質問すべく、その他無產各派並に貴族院各派はいづれもそれ〴〵の立場から空前の大膨脹豫算に對する痛烈な檢討を行ふことはいふまでもない、されば年內の議會は例によつて大した事もなく經過すべきも休會明けの議會においては相當華々しい論爭が展開されるであらう、今議會において論議の題目となるべき主なる案件を列擧すれば……

外交問題

先づ外交問題においては目下國際聯盟において日支紛爭問題が進行中であり問題の進展如何によつて直に當面の問題として議會の論議となるであらうが殊に對聯盟策、對米外交などの外交々涉に伴ふ對露、對支の方針および露支關係若しくは米支關係と日本の立場について各種の論議が行はるべく又對滿政策、日滿經濟統制、これに關聯する資源開發問題、更に軍縮問題についての質問應答が相當盛んに行はれるものと豫想される

財政問題

については一般會計豫算總額二十二億三千九百萬圓(內新規承認額七億四千四百萬圓、公債發行額八億九千六百萬圓)といふ空前の大膨脹を計上して居るのが各方面の問題となつて殊に貴族院各派においてはこれが問題として種々政府の急處を衝くべく攻究されて居る模樣である、この歲計の膨脹とインフレーション政策の將來については世上の不安が相當深刻なるだけに論議の鋒鋩も茲に集中され、後年度財政計畫の破綻如何については可成り手痛い非難を加へらるゝであらう從つてこれに伴ふ當然問題となるべき行財政及び稅制の整理、公債の整理方針、增稅の可否論等についての論議續出し一方軍事費の增加

經濟問題

更に他方經濟問題としてインフレーションの緩和に、或は皮肉に質問されるものと豫想される

策とこれに伴ふ物價騰貴の國民生活に及ぼす影響、爲替對策として爲替管理問題が論議さるべく、また農村救濟に關する諸問題は國救貧の審議と關聯して組上に上ることはいふまでもあるまい

多門將軍に感謝狀を贈呈す

時局後援會より

滿洲事變以來殘敵討伐の最後に赫々たる武勳を殘して近日名譽の凱旋をなする第二師團長多門中將に對し在滿日本人時局後援會では左記感謝狀を贈ることとなり大內市會議長、高塚市會議員は後援會を代表し二十三日午後十時發列車で赴奉した

●感謝狀● 滿洲に於ける帝國の權益は舊東北軍閥の爲に蹂躪され日本の生命線は將に危機に瀕せんとす此時に當り支那官兵は我が滿鐵線を爆破し我が守備隊を襲撃するに及んで皇師赫怒して排擊に從ふ、爾來皇軍の出動に依りて舊軍閥を潰滅し遂に滿洲國の建設を見るに至れり貴師團は曩に滿洲駐劄軍として渡滿してより各地に分駐して治安の維持と在留邦人の保護に任じ其勞苦は深く感謝する處なり然るに滿洲事變の發生するや貴師團の將兵は各地に轉戰し武勳赫々長く靑史を飾るものあり、酷寒炎暑に屈せず惡路泥濘に挑まず其戰跡は南北滿洲に亘れり將兵の身を鋒鏑の犧牲となし或は殁し或は傷病するもの實に若干餘名を數ふ、豈感激に勝ゆべけんや茲に日を期して本國に歸還し名譽の凱旋を見んとす、本會は時局の後援を趣旨とし夙に銃後の支持たらんことを期するものにして貴師團將兵の偉勳に對しては感謝措く處を知らざるものなり、今や滿洲國の建設工作は着々として進捗し在住三千萬民衆の福利は日に增進せんとし日滿議定書成りて我が帝國の權益は確保せられ政治的經濟的勢力の扶植は實現されつゝあり、貴師團將兵が故國に凱旋されんとする時其來滿の當時に想到すれば感慨轉た深きものあらん、刻下寒威益々加はらんとす、冀くは將兵各位の健康に加養せられん事を茲に謹んで感謝の微衷を表す

昭和七年十二月

在滿日本人時局後援會長 小川順之助

第二師團長 多門中將閣下

決議案を附して財政案協賛か

貴族院の對議會態度

【東京二十四日發】貴族院各派の對議會態度は平穩に推移し未だ何等決定してゐないが、平素齋藤內閣に好感を有せる貴族院としては政府に挑戰態度に出るものとは思はれぬ、しかし貴族院の使命に基き慎重審議し、殊に二十二億といふ厖大な豫算に對しては嚴重な審議をなし、從て無定見、無方針と非難さるゝ高橋藏相の財政計畫に對し將來を警告し、且つ保障する意味の適當なる決議案を附し協賛を與ふべしとの意見を抱くものが多いから結局之が實現するものと見らる

貴院部長理事

【東京二十四日發】二十四日互選された貴族院各部々長理事左の如くである

部	部長	理事
第一部	柳澤保惠伯	武知勇記
第二部	小野塚喜平次	佐々木行忠侯
第三部	土方寧	兒玉秀雄伯
第四部	倉知鐵吉	高木正年
第五部	西鄕從德侯	岩瀨亮
第六部	阪本釤之助	安部磯雄
第七部	鷹司信輔公	村松久義
第八部	石渡敏一	町田忠治
第九部	德川圀順公	三尾邦三

第一部々長 柳澤保惠伯 理事 小野塚喜平次
第二部々長 佐々木行忠侯 理事 土方寧
第三部々長 兒玉秀雄伯 理事 倉知鐵吉
第四部々長 西鄕從德侯 理事 阪本釤之助
第五部々長 鷹司信輔公 理事 石渡敏一
第六部々長 德川圀順公 理事 三宅秀
第七部々長 二荒芳德伯 理事 眞野文二
第八部々長 大隈信常侯 理事 紀俊秀男
第九部々長 細川護立侯 理事 木場貞長男

衆議院の部長理事

【東京廿四日發】廿四日衆議院において各部長理事互選の結果左の如し

第一部々長 菅原傳 理事 船田中
第二部々長 戶井嘉作 理事 藤生安太郎
第三部々長 清家吉次郎

第四部々長 高木正年 理事 武知勇記
第五部々長 岩瀨亮 理事 安部磯雄
第六部々長 村松久義 理事 町田忠治
第七部々長 荒川五郎 理事 三尾邦三
第八部々長 能谷五右衞門 理事 三上英雄
第九部々長 八木逸郎 理事 中井一夫 粟山新五郎

貴院研究會 百五十名となる

【東京二十四日發】貴族院子爵議員水無瀨忠政、多額議員米原章三、大澤德太郞の三氏は、二十三日研究會に入會した、よつて同會は塚本清治氏の同成會入りを差引いて百五十名となつた

政友各委員長候補者

【東京二十四日發】政友會は全院委員長、常任委員長候補につき

施設の美よりも安居樂業の實

黑龍江省內の治政について 韓省長抱負を語る

【新京電話】黑龍江省內最近の諸情報報告及び事務打合せのため東京中である省長韓雲階氏は二十三日午後一時より國務院において日滿記者團と會見したが氏は大要左の如く語つた

四月二日馬占山が滿洲國に謀叛を起し黑龍江省城を脫走黑河に逃げて以來

省內治安 は全く亂れた友邦日本軍の援助により彼等一味の全滅となり黑省中系地區は完全に平定された、蘇炳文問題は自分この個人的感情の如く一部では取扱はれてゐるが自分としては何等の私心なきは勿論彼を滿洲國のために忠誠を盡さしめるため二ケ月半に亘つて努力を拂つたが優柔不斷の彼は遂に擧兵部下のため一身を誤られて了つた、黑河方面は徐景德も其の代表を省城に派し歸順の誠意を表し茲に省內

五十三縣 の匪賊及叛軍は一掃され第二段の策として政治軍事兩工作に鋭意努力してゐる、軍事工作としては全省を九軍區に別ち各區に一個旅を駐屯せしめ地方警備隊と密接なる聯絡を保たせ治安の確保に任じ、政治工作としては王道主義の普及友邦援助の誠意を徹底せしむるため宣撫救濟員西紳を組織して全省に活躍させてゐる、又郷老會議を招集して民意を聽き官民一致の施設を尊重することとした、都市計畫としては市政大綱研究委員會を組織し衆智を集め公正を期することにしたがこれは三ケ年計畫であるが大體の目鼻はつくことゝなり

廣漠たる 沃野を保有する省內は一晌地(二天地)の收穫二十元としても全省內から見る時は一億元の收穫を得ることは容易である、然るに水災による省內の苦惱は兵匪の慘害以上で本年の收穫は平年の三割にも達しない慘狀にある、從がつて住民は食ふに食なく着るに衣なく住むに家なく餓死線上に立つてゐる、實に見るに忍びない此の事實を中央に愬へ冬季間の救濟として六百萬元を無條件で惠與し衣食住を與へ更に春耕に際して一千萬元を貸與し收穫の道を開いてやることゝしたが

中央でも これを承認して呉れたから自分も非常に悅んでゐる、斯くすることが王道政治の眞諦なることだと自分も信じてゐる、國都建設も良からう道路網の完成もよいが先づ民をして安居樂業に就かしめること第一の先決問題である、春耕に當つて一千萬元を救濟すれば收穫時に於て一千萬元の返濟金が出ても全省內の

住民には 一億元中尚八千萬元の餘裕を持たせ潤をして惠さ爲すことができる

と民意に立脚した氏の手腕は各方面から嘱目されてゐる

議會風景

【東京二十四日發】齋藤非常時內閣が本格的舞臺に立つ第六十四議會召集の二十四日はからりと霽れ議院周圍の警戒は水ももらさぬ陣容を整へ、通行人は一々誰何されるといふ始末、トタン葺きの詰所の机上には拔身のピストルが轉がつてゐる◆この日衆議院一番乘りは例によつて十年一日の如く坂東幸太郞氏が朝の七時半玄關に現れて衛兵を苦笑させ、次で八時三十七分政友の鈴木隆氏が着

し元氣のあるのは出現したばかりの國民同盟の控室だ詰席は一誠三十三名を網羅し新興氣運を見せ、今議會興味も加へられたわけである、安達御大は姿を見せぬが和服の山道襄一氏を中心に遠慮なく政府攻擊の氣勢をあげるこの日ファツシヨ服を着けたのは野中徹也氏外二名、それもバンド附きだと許されぬので時々取出し「これが無いのが表構だぜ」と野中氏不平滿々◆民政黨控室では小泉老が圍み金塊引揚げた話題に花を咲かせてゐる

板倉機犧牲者

參謀本部葬として執行

【東京二十三日發】板倉機犧牲者渡邊中佐井上少佐の葬儀は二十七日青山齋場で總務部長梅津少將葬儀委員長となり神式を以て委員三十名の手で本部葬として盛大に營まれることゝなつた、當日は畏くも閑院參謀總長宮殿下にも御參列遊ばされる筈

戰債問題放任

次期政府と協力せず

フーヴァ米大統領遂に決意

【ワシントン二十三日發】フーヴァ大統領が戰債問題につきルーズヴエルト氏の協力を要求し拒否されたことは兩氏の聲明により明かなるも、政府高官はこの結果フ氏は戰債問題解決について次期政府と協力せんとの努力は爲さず、思ひがけぬ事態の起らぬ限りこの問題は放任し淡く主義を採るに決意したと語る

フ氏はル氏が辛辣な言葉を以つてフ氏の提案を非難せるを憤慨して居り三月四日の任期滿了まで此問題につき如何なる手段を採つても無駄であると思ふ

聲明書

ル氏より發表

【オルバニー二十二日發】フーヴァ大統領が戰債問題に就きルーズヴエルト氏との間に交換された文書を公表したに對しル氏は左の聲明書を發表した

余はフーヴァ氏の發表を意外とする余は對外問題に關し現政府と共同動作を取るを不適當と見る余はフーヴァ氏に對し對外問題と準備的調查研究をなすため代表を專任するを提言し準備交涉の進行を報告されん事を請求し三月四日余の就任まで自由に相談に應ずる旨申出た、隨つて余の此の實際的計畫及び協力的提言はフーヴァ氏に依つて快諾される事を希望す

英國議會休會

【ロンドン二十二日發】去る十一月二十二日を以て開會された英國議會は二十二日を以て休會に入り明年二月七日を以て再開されることゝなつた

政府委員任命

【東京二十四日發】第六十四帝國議會政府委員として內閣書記官長

氏有力である

政友會院內總務決定

【東京二十三日發】政友會院內總務は本日の議員總會で左の如く決定した

關東 安藤正純、今井健彥
東北 佐々木平次郎、高橋熊治郎
北信 高見之通、加藤鯛四郎
近畿 板野友造
中國四國 島田俊雄、生田和平
九州 松野鶴平、樋口典常

野總務、山口幹事長の手許にて詮衡し二十六日午前十時からの院內代議士會で鈴木總裁より指名ある筈だが、大體豫算委員長は山崎達之輔氏、全員委員長は綾園三四郎氏に內定、懲罰委員長は熊谷直太郎氏、柴田善三郎、法制局長官堀切善次郎氏以下六十七名それ〴〵仰付けられた

福田代議士民政黨に入る

【京都二十三日發】京都府選出代議士福田關次郎氏は二十三日民政黨に入黨したこれで同黨は百十七名となつた

インフレ景氣で鐵道省泣き出す

材料の暴騰に惱みて

【東京特電二十三日發】鐵道省では爲替安とインフレ景氣のため鐵道工材が三、四割暴騰した爲レール、車輛等の製作その他改良豫算に手違ひを來し事業費で百萬圓、改良費で百萬圓を追加せねばならぬことになつた、特にレール工材を使用する工務局保線課では來年度に於て東京、下關間の優秀スピード旅客列車の運轉計畫があるといふので當然山陽線の七十五ポンドレールは百ポンドとなし更にカーヴポイント等の改良をなす豫定で計畫中であるがこれが經費一千二百萬圓を要することゝなり頭痛鉢卷の態である

輸組聯合會の奉天移轉說

聯合會では一笑に附す

最近奉天方面に於て滿洲輸入組合聯合會の奉天移轉說が盛んに喧傳されてゐる、卽ち滿洲國成立による周圍の事情一變に大連中心主義の無意味なこと從つてその統轄機關の滿洲財界中心地たる奉天への移轉、小包課稅問題消費組合問題等の例を擧げて州內と州外との經濟事情の激變それによる聯合會當局の無策其他種々の理由を擧げて聯合會の奉天移轉が執拗に喧傳されてゐるが、右に對し聯合會側では我田引水の論として一笑に附してゐる、卽ち根本的問題たる滿鐵あつての輸組、聯合會ではないか滿鐵本社が奉天に移轉するか或は輸入組合が完全に滿鐵より獨立し滿鐵と何等關係なき存立たらざる限

郵政管理局の新日附印使用

奉天郵政管理局においては本年七月二十六日、郵政接收以來、管下各局の日附印は殆ど中華民國郵務局製の日附印を使用しゐるを以てこれを整理統一すべく既に注文作成したる新日附印を年內に各局へ送附し、來年一月一日より一齊に右新日附印を使用する事に決した

小磯參謀長等來連

【奉天電話】二十四日はとにて小磯參謀長、有富副官、岡村參謀副長、河本理事、中島秘書、中島顧問等政府參議が大連に向つた、小磯參謀長は滿鐵における會議列席のためで二十六日歸奉する由

林警務局長赴京

【奉天電話】林警務局長は本年度の管內狀況と來年度豫算關係報告のため三時十五分新京に向つた

外務辭令

【東京廿四日發】安東副領事 桑津一良 在奉天總領事館通化分館在勤を命ず

滿鐵人事(二十四日附)

大連工事々務所長 技師 湯本三郎
計畫部審查役 技師 湯本三郎
審查役を命す、計畫部勤務を命す
地方部工事課兼務を命す
鐵道部工務課長 技師 郡新一郎
審查役計畫部(審查役附)土木班主查兼務を免ず計畫部兼務を命す
鐵道部工務課 技師 鈴木正雄
大連工事々務所長を命す
總務部文書課 事務員 福山重起
涉外係主任を命す
總務部資料課 事務員 星菊治
庶務係主任を命す
總務部資料課 事務員 渡邊諒
調查係主任を命す
同上事務員 大室松三郎
情報係主任を命す
同上事務員 高橋嘉市
資料係主任を命す
同上事務員 河野憲
統計係主任を命す
總務部監理課 事務員 高野勇
總務係主任を命す
總務部監理課 參事 八木聞一
運輸係主任を命す
總務部監理課 事務員 河本茂次郎
農務係主任を命す

社説

大正天皇祭

皇考大正天皇御崩御遊ばされてより既に七年、本日はその滿六箇年目の御周忌に相當する。今上陛下至仁至孝、常に明治、大正兩代の偉蹟を追念し、夙夜勵精して先聖の遺謨を恢弘し給ふ。是れ實に我等臣民の感激措かざる所、今日に際會して皇考御在世の當時を回顧し、國運の消長如何は、一に繫つて帝家の洪範にあることを痛感せざるを得ない。

◇

直言すれば大正の大御代は、内外共に多事多端の時代であつた。光彩陸離たりし明治の末年は、陛下御踐祚の際に於て益々紛糾したが、越えて三年世界曠古の歐洲戰爭起り、年を閲すること正に五星霜、この間に起伏した各國の事態は内外を問はず千變萬化の曲折を重ねたが、その影響は益々日本の國際的位置を高め、諸強國の間に伍して戰後の收拾策を講ずるに至らしめた。併し舊文明の破壞は同時に新文明建設の大なる惱みであるその中最も深刻に世界を風靡したのは、經濟逼迫に因る社會的革命の新氣運であつて、洋の東西を通じて、人心は沸騰に沸騰を重ね、日本もまたそれに伴ふ外來の黑潮と、内生の惶惑とを免れ得なかつた。況んやその間に不測の天災地變あり、帝都の破壞によつて失ふ所鉅億を數へたるをやだ。

◇

遮莫かうした多事多艱の間に立つて、國民相一致して毫も意氣を沮喪せず、一難の至る毎に敢然として能くその試煉に堪へ得たるは、一に大正天皇守成の御乾德、人心を指導して嚮ふ所を知らしめ給うた爲である。古より創業は難く、守成は更に難しといひ傳へられる。明治中興の創業に次いで、大正天皇の大御代は實にこの守成の最も至難なるを示し、且つ之を試練すべく内外事故を頻出簇生せしめたが、それが却つて益々皇基の鞏固と、民心の忠誠とを發揮した處に、帝德と國體との萬國に卓越したる所以を認め得る。

◇

唯だこの大御代の間に、來るべき國命の戒心事は醞釀されたそれは今や吾人が直面せる第二維新の大業であつて、明治大帝の創建された新國是は、今上陛下に至つて更に大に恢廓さるべき秋に際會した。第一の維新は東海に偏在した日本が、數千年來獨立國として培養したる潛勢力を、世界列強に認識せしめた對内整理の奮鬪であつたが、第二の維新は更にこの趣旨を擴充して、亞細亞民族全般の興隆を促がし、數百年來屈伏狀態にあつた東洋諸國を覺醒せしめ、歐戰後の世界が今猶は模索して掴み得ざる國際平和の大建設を、東洋大陸に確立せんとするにある。而してこの精神の萌芽は、明治維新の當時にあつたが、それが具體化するまでの事と物とは、概ね大正守成の大御代に發生培養されたので、昭和の大御代が第一維新後の二聖代を通じて、夙に約束せられたる洪謨を大成せんとする理由である。今や大正天皇祭に際會し、吾人は益々奮勵努力、この皇謨の萬一を翼賛せんことを思ふの情に堪へない。

我全權大使の信任狀捧呈

武藤全權大使が滿洲國駐劄を仰付けられたのは十一月三十日であつたが、十二月二十三日我聖上陛下の御信任狀を執政に捧呈した。元來日滿の關係は切つても切れぬ關係にあり、之れは區々たる人爲でなく天命の然らしむる所であるから、如何なる政權が樹立されても、少しも變りはない。只政權が之れを認識すると否とによりて、此の自然關係を圓滑ならしめ得るや否やが分れる。此の自然關係を益々圓滑ならしむるによりて此兩地の民衆が利益を受くるのである滿洲國は最も確實に此日滿關係を認識するによりて、日本も亦援助を惜しまず、九月十五日の日滿議定書の交換に至りて、殊に兩國の關係が密接になり、實際的のものを法律的に定めた。而して十一月三十日には武藤全權大使が滿洲國駐劄を仰付けられて、十二月二十三日信任狀捧呈式を終つた。之れによりて日滿國交が愈々法律的の形式を備へたのである。國際聯盟や中華民國の關係がどうあらうとも、日滿兩國の關係は今後益々密接となり、兩々相扶けて各自其繁榮を增すべき基礎を固定したのである。吾人は此の國交形式完成に際して特に慶祝の意を表するを禁じ得ない。

電燈、電力の消費は本年は二倍に增加

滿洲景氣の現はれ

滿洲國出現後滿洲の景氣向上綫は電力電燈の異常な增加によつて明示されてゐる、卽ち滿電の大連本社始め新京、奉天、安東、鞍山、海城、鷄冠山、連山關、海城の各支店を含む八ケ所の本年電燈消費高一日平均概算六萬キロ、電燈數は四十九萬九千燈である、これを電動力昨年の五萬五千キロ、電燈數四十五萬餘燈に較ぶれば夫々一割の增加を示してゐる、從來電燈電力消費の增加は毎年平均五分增加を普通としてゐたものだが本年の如き倍率增加は人口の急激なる增加發展による電燈增加及び各種動力工業活況による電力增加となつたもので滿洲景氣の實力を示してゐる

人材を養成する鏡泊學園の特色

滿洲國て實習農園を貸與す

【東京二十四日發】國士館大學では吉林省鏡泊湖畔に移民學校建設の計畫を進め山田理事、大林教授を現地に派し實地踏査を行ひ滿洲國關係方面と交涉、去る十月三十一日附で文教府の許可を得たので生徒募集を開始した、同校は滿洲鏡泊學園と稱する、この學園の特色は

(イ)滿洲王道國家建設の人柱として世界平和に貢獻すべき理想的人材を養成する

(ロ)滿洲國政府の特典で卒業生の建設する學園村の地域を承認された

(ハ)同學園は志望者に對し渡滿者に豫備訓練を行ひ統制精神を涵養し學園で研究實習した科學的成果を學園村に指導普及する

(ニ)學園は學園村初期の經營に對し適當の援助を與へる

(ホ)卒業生は學園村用地中から十町歩乃至二十町歩の農耕地を分與して貰へるので一家末代の生活の基礎が確立する

卒業生は學園統制の學園村經營に身を捧げる建前で授業料は取らない、修業年限は三ケ年、定員は一學年三百名、學科課程は實習と學科で晴耕雨讀式でやる、資格は

(一)國士館高等拓殖學校の豫備訓練を修了したもの(二)中學または甲種實業學校卒業生(三)農業の經驗ある二十五歲以下の青年で同校の選拔試驗に合格したもの(四)在鄕軍人分會長の推薦する二十五歲以下の在鄕軍人(五)在滿蒙公私機關および内地各府縣知事の推薦する委託學生(六)學園職員會で適當と認め推薦したもの

なほ滿洲國では同學園の實習農園として水田三百町歩、畑地同、牧場一千町歩、森林五千町歩を、また學園村用地として卒業生およそ一千戶定住のため水田、畑地各一萬町歩、牧場三萬町歩を貸與した

奉天省の明年豫算

【奉天電話】奉天省においては大同二年度の豫算編成を終り二十三日左の如く發表した

國家草創非常時にある滿洲國としては國庫の財政が困難なる際のこととて奉天省においては豫算編成に當り總ゆる方面に極度の緊縮をなして國庫財政の支援を圖つてゐる

歲出經常費五、四二三、〇六三圓臨時費六、二六七、九四九圓この外滿鐵費三百十萬圓だけ暫行的承認を得、各縣への救濟金は未定である、歲入は各縣收入千四百二十萬圓と推定されてゐるが、實際の收入は六百萬圓位又中央國庫から三百萬圓乃至三百五十萬圓の補助を仰ぐべく目下考慮中、追加歲出豫算は營口に漁業商船補助二百萬圓奉天省留學生派遣費五萬圓、これは大同二年度より文教部が支出し情報機關として無電擧設置費十一萬圓これは關係當局の間にも意見があり中央に委託した、國道縣道の豫算は中央に道路局においてを審議、奉天省道路豫算は追加編成して提出することゝなり現在奉天省提出案は保留されてゐる、臨時部百萬圓(事業費、產業開發、教育その他新規事業樹立中に產業助成、金融組合として百萬圓)水利開發、新開川水利開發費五千百六十圓を支出、その外棉花栽培費を合せ二十五萬圓を保留、近く實行豫算に移す、救濟費七萬圓(省城貧民施粥費)治安費三十五萬圓警備掃匪六萬圓、文教助成費八萬四千七百十八圓、事變後における學校の復興費十六萬六千七百圓保留、新規貿易百萬圓その他事業調査費三萬圓、以上臨時部總計八十四萬四千八百八十六圓

豆信定時總會

配當八分八厘

大連取引所信託會社の定時株主總會は二十四日午後三時より取引所樓上會議室に開催、昭和七年下半期の配當八分八厘を決定、任期滿了の監査役安藤民氏は改選の結果重任となり、定款第四條「當會社の存立期間は昭和十八年六月十八日迄とす」との變更の件を承認平穩裡に同三時二十分閉會した、尙當期利益金處分案を示せば左の如し(單位錢)

當期益金 二一四、九五六、〇〇

奉天城内電車軌道延長

奉天市電車廠は來春解氷して軌道の延長を實行すべく軌道は現終點大北門より東門を經て小河沿に至るものにして、この軌道が開通する時は夏季納涼客は極めて便利にして電車廠もまた相當の利益あるべし、而してこの計畫は既に測量も完了したるを以て來春解氷期より實行に着手の筈と

熱河の阿片輸出嚴禁

張學良が命令

【奉天電話】滿洲國の阿片專賣制を妨害のため張學良は東三省の阿片中毒者匡救のため熱河省の阿片を滿洲國へ輸出することを嚴禁する旨湯玉麟に命じた

臺灣航路の巴狀戰

大連汽船常務高木謙雄氏は同會社の臺灣航路開設に伴ひ臺灣の荷主方面と挨拶旁々臺灣視察中であつたが二十四日入港うらる丸で歸連語る

大汽の臺灣航路は同地と滿洲との間に生彩を與へたもので、各方面とも評判が好かつた、今度は荷主に挨拶に行つたんだが、生果類はドシ／＼送つて貰ふやうになるだらう、從つてこの成功に刺戟されてか近海郵船でも大連臺灣に傭船を廻すことゝなり既に第一船は二十日に來た筈である、一方バナナの出廻期には大阪商船も例年の如くこの航路を定期さするだらうから、來春から初夏にかけては三つ巴の荷物の爭奪戰になるだらう

滿鐵社員功績調査

課長主任級は完了

滿洲事變における滿鐵社員の功績調査は二萬五千人の多數に達するため容易に進捗せず漸く副官相當者(課長および主任級)一千一百人の分だけが完了した、よつて二十三日午前十時より重役應接室に山崎委員長をはじめ各委員參集臨時功績調査委員會を開催して原案の査定を行ひ午後五時散會した、最初の豫定では二十四日も續行決定を見る筈であつたが二十三日の會議にて議論百出し功績查定の基準について再吟味する必要を生じたので二十四日は開催せず、各委員それ〴〵意見を纏めて提出これによつて改めて新基準を作成して査定をなすことゝなつた從つて委員會の次回の開催も未定であり又一般社員の分も自然決定は明年に持ち越される筈

撫順炭輸入數量協定本極り

明年度百八十五萬噸

【東京二十三日發】先般來十河滿鐵理事と石炭聯合會松本副會長との間に折衝中の撫順炭内地輸入協定は兩者間に協定成立し明年度輸入數量は百八十五萬噸(特別契約なし)とし若し内地操短制限を緩和する場合は内地炭三撫順炭一の割合卽ち内地の全操短緩和四分の三が内地、其の四分の一が撫順炭の比率で其の輸入を認めることに協定成立依つて石炭聯合會は理事會を開き右協定の報告承認を得聯合會滿鐵間に覺書を交換し撫順炭輸入協定は本極りとなつた

日滿實業家懇談會

愈よ近く開催

商會宛、二十六日午後一時よりと指定したが、張會長は目下芝罘に出張中でそれ迄に歸連し得るや否や未定で遲延すれば二十八日ごろ開催を希望し、二十四日午前玉同交際係主任の來訪に際しても種々……

五品總會

利益金繰越し

大連五品取引所では二十三日午後三時から株主總會を開き上半期決算に關する件並に勞金贈呈の件などが株主中村春吉氏より安藤及び小野監査役の説明の他に關し質問があつた、事長及び小野監査役の説明に株主伊藤久太郎氏より役に對し役員として責任質問があつたが結局原案を承認し當期は利益金を繰越し定し退職役員水谷、河村對する慰勞金贈呈の件は一任することになり午後會したが當期利益金處分左の如し

當期利益金九、二七……

期繰越金二七、六六〇……

三六、九三七圓(右處分)

定積立金五〇〇〇圓

金三六、四三七圓

關東廳辭令(二十三日)

關東廳遞信局長正五位……

兼任關東廳事務官 敍高等官二等 關東廳事務官 櫻……

書議員を命ず 休職關東廳遞信技手 岩……

復職を命ず

人事

◆郡新一郎氏(滿鐵々道部長)新任挨拶のため……

大同元年を顧る

(6)

金融、交通等内政整ふ

成就せる各施設

市況(廿四日)

株式

當市保合

東新軟調乍ら當市は五品二十錢安新を引けた、東新三十錢高と

特産

各品無味

一般氣乘薄で各品無味

錢鈔

當市弱保合

商品

綿糸保合

麻袋も變らず

奥地市況

宣撫隊入城し 市内の秩序を回復

排日本據に揚る日章旗

【新京電話】十六日岫巖入城の宣撫隊は到着と同時に直に民衆隊を指導し集會に街頭に施療に寧日なく宣傳を續け數日ならずして市内の秩序は回復し早くも隨處に日滿親善軍民融和の情景を見せるに至つたが宣撫員は引續き教育者との懇談會、小中、女學校等にて講演會を開いて學生兒童を通じて全市民に皇軍の出動理由、日滿共存共榮の必然性、滿洲建國の事情を明かにし或は城内外に避難中の農民には皇軍によつて匪害が除去されたことを聽かせて歸業を勸むるなど、彼等は日本軍の活動によつて今後は全く匪害と窮境から免れ得ることを知り感激の涙をもつて感謝しつゝ日本軍の永久駐屯を要望して止まず又住民は飛行機見物に殺到してその威力に驚き絶大なる信賴を捧げ、飛行場に働く千六百人の人夫は卽刻賃銀の支拂を受けて「日本軍から金を貰つた、日本の軍隊は直ぐ賃銀を支拂つて呉れる」と驚喜して全市内に觸れ廻り曩に匪賊と行動を共にしてゐた役人、公安隊員などは殆ど全部岫巖城の縣民であるので宣撫隊を通じて續々歸順申込みを哀願する者增加し數日前まで匪賊の居城にしてゐた排日の根據であつた岫巖縣城は日滿宣撫員の工作を妨害する者一人も無く進んで協力を申出でる者多く今や城内外は擧げて日本軍を謳歌する聲に充ちてゐる

ることゝなり新京本願寺に安置され廿七日午後一時より祝町大師堂に於て滿洲國主催の下に告別式を行ふことゝなつた

板倉機遭難者參謀本部葬

【東京二十四日發】板倉機遭難者步兵少佐井上辰雄（福岡）步兵中佐渡邊秀人（福岡）兩氏の葬儀は二十四日午後一時參謀本部葬として擧行された

友田參事縣葬に竹内氏列席

【新京電話】九月十三日刀窩堡子に於て鄧鐵梅部下のため慘殺された友田參事一行の慰靈祭は二十五日午後一時より鳳凰城に於て縣知事以下出席縣葬を行ふことゝなりこれに對し民政部では人事課長竹内節雄氏が民政部を代表して出席することゝなつた

到る處擊退

三角地帶討匪狀況

【新京電話】岫巖方面討伐隊は二十日午後一時龍王廟の西方王家陽子北方の高地を占領してゐる鄧鐵梅の部下高揚章の率ゐる約四百を攻擊し直にこれを擊退した、敵は多大の損害を受けて忽ち潰亂し大洋河を渡つて東方の後營子方面に遁却した、又討伐隊は時を同じくして、大孤山北方李家堡東方高地に潛伏中の兵匪約三百を攻擊し悉くこれを擊退した

天野〇團歸奉

【奉天電話】三角地帶の兵匪討伐に偉功をたてた〇〇團は二十三日午後七時十分安奉線列車で天野〇團長以下奉天に歸還した

友田參事葬儀

【鳳凰城電話】歸順問題と人質救出交渉のため鄧鐵梅の根據龍王廟に向ふ途中刀窩堡に於て交渉決裂の鄧の部下より迫害を受け奮戰せるも衆寡敵せず壯烈なる最後を遂げた六氏一行中の鳳凰城參事友田敏明氏外三氏の葬儀は二十五日午後一時縣葬を以て滿洲街劇場に於て盛大に執行される

駐屯部隊管下 兵備完了

【奉天電話】第〇師團管下の警備は通信を除く外既に兵備を完了した尚〇兵〇騎隊は二十四日午前三時滿鐵沿線警備の配置についた

戰死國境警察隊員告別式

【新京電話】滿洲里事件で戰死した滿洲國々境警察隊員大木俊次、谷口邦男、加納一二、新井誠一、平野藏三、山内兼吉の六氏の遺骨は近く僚友に守られ新京に到着す

戰術も一風變つた 巧妙さで侮り難い

三角地帶兵匪討伐を了へ歸奉した 天野將軍戰況を語る

【奉天電話】三角地帶の兵匪討伐を了へて奉天に歸還した天野〇團長は語る

鄧鐵梅、劉縣長の兵匪軍は、附近部落民家を强制的に二十歲から二十七歲までの壯年者を徵兵し、武器彈藥、殊に迫擊砲なども備へ、その戰術も今迄の兵匪とは一風變つた巧妙さで、侮り難いものがあつた、あの三角地帶は嶮山が多く、これに妨げられて、電信連絡が巧くゆかないので弱つた、それに道路が思つたより惡かつたので非常に難行を續けた、河に張り詰めた氷は十糎位の薄氷で、その上は馬や自動車は渡れないので、碎氷しながら、やつと渡り、また山道等は雪が凍結して氷山のやうになつてゐるので、自動車を上から綱でひつ張り揚げるなどして難行した、敵匪はこちらが大軍で押寄せると忽ち霧散してしまつて、小勢で進むと山の上から猛射を浴びせるといふ有樣で、その討伐には非常に困難を極めた、今度の討伐には十日間の食糧を準備して行つたが十一日間に延びて了つた、この討伐で大體匪軍の主力は失はれたが、何分鼠の目のやうな處にひよいひよい逃げ込んで了ふのだから始末が惡い、彼等の荒した跡は想像以上に酷いものであつた、東邊道等はその比ではない、我軍の一部隊は目下黃花甸に駐屯してゐるが、今後は主に政治工作や宣撫教化に勉めなければならない

尚天野〇團長は〇〇團長に報告の爲廿四日午前十一時五分遼陽に向つた

蘇炳文トムスクに監禁中

【モスクワ二十三日發】蘇政府機關タス通信は蘇炳文の處置に關し種々の臆測が傳へられてゐるに對し之を否定し蘇炳文並に其の部下は未だトムスク地方に監禁中なる旨二十三日公表した

町尻侍從武官

町尻侍從武官は二十九日午後七時五十分着列車で來連、關東倉庫に宿泊、三十日午前九時四十分大連神社ならびに忠靈塔に參拜、三十一日午前九時大連驛發北行の豫定

朱慶瀾彰德で策動

【天津二十三日發】關嶨に在つて義勇軍の指揮に當つてゐた朱慶瀾は今回湯玉麟の本據彰德に來り、同地に救國軍部を置き最後の策動を爲しつゝありと

齊々哈爾海拉爾間航空郵便

二十六日から滿洲航空株式會社のチチハル、ハイラル間定期航空が開始せられ從來の同會社新義州新京線、新京チチハル線に連絡して航空郵便物の遞送を取扱ふ事になつたので交通及通信上著るしく便利になつたチチハル、ハイラル間航空機發着時刻は左の通りである

チチハル發　前九、三〇
ハルビン　後一、〇〇

執政の精勵

パーミン遊戲で健康に注意

中島諮議語る

【奉天電話】中島執政府諮議は二十四日當地通過大連へ向つた、氏は二十八日までに新京に歸るが

執政最近の動靜は五十坪よりも廣い屋内にてパーミンと稱するゴムに羽のついたテニスの如き運動により健康に注意し、政務を總攬する、餘暇には東西古今の書籍を閲讀し近代學術の進步發達に遲れざるやう努め極めて熱心である

と語つた

日滿兩國人に呼びかける熱辯

馮司法部總長の講演

滿洲文化協會主催滿洲國司法部總長馮涵清氏の講演會は廿四日午後四時十分から滿鐵協和會館で開かれたが、目瀬文化協會理事開會の辭を述べ馮總長は秘書木村氏の通譯で「訪日所感」と題し滿洲國人に呼びかける言葉として熱辯を揮つた、氏は先づ

溥儀執政は滿洲國は王道主義の國是第一に司法制度確立を必要とすると言はれたので自分が日本を訪れることになつた

と前提し、日本の司法制度の完備と少年犯罪者の教化方法、司法機關と警察機關との圓滿な連絡等をそれぞれ詳細な實例を以て說明し、權力これを賞揚、更に一般的な感想として日本が如何に滿洲國に對して切實な氣持を持ち、國民全部が如何に滿洲國に好意を寄せてゐるかをこれまた實例を列擧して說明

日本は滿洲國をして決して第二の朝鮮たらしめるものではない

と斷定した、次いで經濟問題について論を進め、資本と技術的に貧弱な滿洲國と、資源は少ないが技術的にも財的にも優れた日本とが相提携して行くことは兩國双方に大きな利益をもたらすものである

と述べ、再び論を返して

現在の日滿人の感情は或點圓滿でないところもあるが、滿洲國人はこの際日本の誠意をその儘に承け入れることが最も必要である

と熱を籠めて滿洲國人に呼びかけ更に在滿日本人に熱望する言葉として

在滿日本人諸君も滿洲國人をして日本が滿洲國を第二の朝鮮化するといふが如き猜疑心を起さしめないやうに努力されんことを望む

と述べて日本人聽衆に强い感銘を與へた、かくて講演にますます熱を加へた氏はこの時日滿親善を謳つた船中作の詩を朗讀、最後に

私は新京に歸つてから日本國民の氣持を滿洲國民に徹底させることに努め、司法制度の確立に着手しその立法の精神は我國民精神の保有に努めて東洋平和の確立を期したい

と抱負を語り

滿洲國内における治外法權の撤廢については日本各方面で充分な諒解を得て來たから諸君も喜んで戴きたい

と結び割れるやうな拍手の裡に降壇、目瀬氏の閉會の辭あり再び滿場の拍手に送られて同五時十分馮總長は退場した（寫眞は壇上の馮涵清氏）

幸福を搗きこむ 杵の音にS・O・S

算盤戰線に異狀あり

慌たゞしい歲暁だ、街行く人の手ぶり足ぶりも目まぐるしい、カーキ服も、ギャングと不況の三二年を送る送葬曲が商店のウインドーから放送されてゐる……◇……中で唯一つ景氣のよいのは餅つくきねの音だ、新しい年のあらゆる幸福をつき込むきねの音は何時もながら氣持がいい、殊に今度は滿洲國に迎へる最初の新年だ、きねを取る腕の力の入りやうも違つてゐやうと云ふもの……◇……だが、アゝ年の瀨に躍るインフレ景氣よ！ お正月を迎へるのになくてはならぬ糯米の値段は滅法高い、現在の協定料金一升につき五十錢で昨年より二割高、お釜所のソロバン戰線に異狀を呈し、餅屋の注文帳が悲鳴をあげてゐる——吉例ちん餅つきの看板までS・O・Sを發信してゐる

沈沒潛水艦の福音

潛水艦が沈沒して有爲の人材があたら生命を落すことは極めて遺憾とされてゐるところであるが、最近スペインのアドリアン・ルイスなる人が海水から酸素を取る機械を發明した、それはちやうど繋留ブイのやうな恰好をした小さな金屬製の装置で、中は僅かに一人の人が入り得る位、ふだんは密封されてゐるが潛水した場合にはこれを海水に接觸させて運轉するもので海水より無限に酸素を取ることが出來、かくて窒息を免れ得るのでこれを巧く應用すれば潛水艦が沈沒した場合でも乘組員はある時間内は生命に別條ないわけである

牝犬が蛇を產む

國が廣大なだけに支那には今も現代離れのした途方もない奇拔なことがある、去る十四日徐州附近の蕭縣黃集鄉居住の趙某の飼つてゐる牝犬がお產をしたが、驚いたことには一匹の大蛇と數匹の小蛇を產んだので遠近の評判となり見物人が大勢押しかけてゐると

龍虎朱公使を殺す

もう一つ、廣東の蛇料理は有名なもので料理に用ひる蛇は最も有毒なのが貴ばれ、一食百元位だが蛇だけでなくこれに虎斑點のある猫を一緒に料理したもので支那ではこの料理を「龍虎」と呼び珍重してゐる、最近廣東電報は前駐英國支那公使朱兆華の急死原因はある宴會席上で食つた蛇料理に中毒したものだと報じてゐる

臭い金三千圓

十九日午後八時頃京都驛構内共同便所へ大阪市西區北堀江通三丁目二二服部喜兵衛氏が滋賀縣へ赴く途中用便に入つたところ神戸商業組合と印刷した封筒が落ちてゐるので拾ひ上げて見ると中に百圓札三十三枚、十圓札七枚、合計三千三百七十圓が入つてゐるので驚いて驛にこの旨屆出たので所轄七條署で取調べ中であるが過日神戸兵庫署管内の某錢湯で盜まれた大金が前記のものらしく或は板場稼ぎが餘りの大金に面喰つて右便所内に捨てたものではないかと目下犯人搜查中である

心中作家中村送局

東京四谷區花園町新宿園アパートでムーラン・ルージエの歌姫高輪芳子こと山田英子（二一）と情死を計り一人生き殘つた例のナンセンス作家中村進治郎（二八）は四谷署に留置され取調中であつたが「承諾による殺人罪」として二十二日檢事局に送られた、右は芳子が肺を患つてゐると思ひ込み憂鬱な日を送つてゐたので中村は芳子と情死をはかり自分だけが生き殘つてその情死物語を原稿にしやうとの考へからやつたものとの容疑からである

盲人國の全國番附

中央盲人福祉協會の調査による六年度末現在の失明者統計を見ると人口一萬人比例では全國各府縣中香川の二三・九七人が最も多く大分縣は二三・七二人で第二位宮崎十二位、熊本十八位、福岡二十二位といふ順序になつて大分縣が日本第二位の盲人國である、尤も失明者の實數では人口の多い大阪が第一位で福岡が五位、大分縣は八位、熊本十六位、宮崎三十二位となつてゐる、なほ大分縣の實數は二千二百五十七人で男よりも女が多く郡部の千九百二十七人に對し市部は三百三十人である、失明原因は全國的に見て性病、トラホーム、全身病、その他の順になり小兒は矢張り先天性と榮養不良であるが、性病が一番多く次がトラホーム、全身病の順となつてゐるから失明防止對策の方向を明示してゐる譯である

安樂椅子

大連取引所長小林和介氏は多少の白髮こそ交えてきたが、あの潤ひのある眼差しや、艶々した頰などみると、どうしても六十を越えた人とは思はれない。……◇……先日も新京の旅館に投宿した時のこと、例の如く住所、姓名、職業等を記入したが年齡の段になると女中が「御冗談でせう」と本氣にしない、そこで「これならいゝだらう」と十歲だけ若くして記入したら、その女中「有難うございました」と引下つていつたそうである。……◇……この話をすつかり御披露に及んだばかりに早速友人連から罰金をとられた小林氏「どうも困つてしまうよ」と不平らしいが、それでも御當人滿更でもなさそうである。

南北滿洲を繼ぐ 航空路完成

二十六日から北滿に 南滿は來春早々開始

【新京電話】中東鐵路西部線平定に伴ひ滿洲國航空會社ではチチハル以西方面の定時航空路の延長方研究中であつたが、來る二十六日から一週間に二回（月曜水曜日）チチハル、ハイラル間の定期航空を開始することとなり、航空郵便を搭載しチチハル發ハイラル行、下り便には當日ハルビン發チチハル行航空便が聯絡することゝなつた尚奉天大連線は豫定の如く明年一月四日より每日一回の定期航空を開始し、大連發郵便は奉天にてハルビン行上り航空便にて連絡することゝなり卽ち大連午前七時半發の航空便は當日午後一時四十五分ハルビン着となり、普通の列車便に比べ著るしく早達しこゝに南北滿洲の完全なる航空の完成實現を見るに至つた、前記兩線の發着時刻左の如し

一、チチハル、ハイラル線　十二月廿六日より開始一週二回月曜水曜、チチハル發午前九時三十分ハイラル着午後一時、ハイラル發午後一時二十分チチハル着午後三時二十分

二、奉天、大連線　一月四日より實施每日一回大連發午前七時三十分奉天着午前九時五十分奉天發午前十一時三十分大連着午後二時十分

インフレ景氣で 最低賃銀を復活

二年振りで海員浮ぶ

【神戸二十四日發】海事共同會定例委員會は昨日午後同會樓上で開會され海員の最低賃銀復活案を滿場一致承認し三月一日から二年ぶりで復活となり十萬の海員はインフレ景氣だ

州内は關東廳 州外は滿鐵

戸外デー區域を分擔

昨年度の戸外デーにおいては關東廳は滿鐵の催しに賛成協力する程度であつたが今年は積極的に乘出して相共に運動に當ることゝなり二十四日午後山本關東廳體育主事は滿鐵本社を訪問、中根社會施設係主任と打合せをなすところがあつた、その結果、今年の體育デーは州内は關東廳、州外は滿鐵とそれぞれ區域を分擔して行ふことに決定、經費分擔、宣傳方法その他について協議した、なほ關東廳側は山本主事が擔當の上州内各體育關係者と打合せて具體的方針を決定するが、今年は旅順、大連、金州、普蘭店、貔子窩の各民政署所在地において盛大な催しをする豫定である

滿鐵本社の同情袋增加

同情週間中における滿鐵本社の同情袋は社會施設係で取纏め中であつたが、總袋數一千一百九十三個總金額二百一圓二十四錢で、昨年は工場、埠頭等の現場機關を合して百四十圓に過ぎなかつたのに比し非常な增加である

あゝ戀は哀し

瀾正との遂げられぬ苦しき戀を胸に秘めて、只管佛道に勵む有髮の尼、久松喜世子の悲戀實話を描いた鬼神も哭く事實小說、講談倶樂部新年號にあり、ヤンヤの大評判。

重傷者は自殺

既報、二十三日傅家庄海岸に頭部、腹部に重傷を負ふて倒れてゐた金州姜家衛左官職黃計（三二）に就き大連署司法係では原因不明で活動を續けてゐたが本人の供述及び周圍の事情から就職難を悲觀して自殺を圖つたものらしい、なほ本人は宏濟善堂で手當中であつたが二十四日午前十一時死亡した

青年會Xマス

敷島町青年會館では二十六日午後一時より子供達のクリスマス會を催し（入場無料）二十八日は午後六時より同館においてYMCA會員と家族のためクリスマス祝會を催す

ローマ郊外 古城塞爆發

【ローマ二十二日發】二十二日午前ローマの郊外アピオの古城塞に爆發の慘事が起つた、死者三名負傷者數十名を出したが原因は城塞内に貯藏せられた爆發物が引火した爲めである

▲西本願寺日曜講話　午後二時より
▲信仰さなしたみ（進廳布敎使）
▲歲末所感（岩本輪番助勤）

海と空と (64)

高杉晋一郎 作
橋本清史 畫

秋來る(四)

女中の運んで來た紅茶を飲んで了つた頃には、もう二人ともすつかり打解けた氣分になつてゐた。性の合つた人間と云ふものは實に急速に親くなつて了ふ。二人もそれらしかつた。言葉まですんすんくだけて行つた。土屋の話なども出たがそれは逸見と土屋が親くなつた經緯などで展覽會の事には裏も逸見も觸れなかつた。話は氣輕く愉快に流れた。

「ルーシュと云へば此の間君は海へルーシュの女給と來てゐたぢやないか。前から親いのかね」

ふと裏はそんな事を云ひ出した

「前からつて、さうだな、確に大分前からですね……あの娘はいい娘でせう?」

「いい娘? 娘か」

さう云つて變に高く裏は笑つた

「娘ぢや變かな」

「いや變ぢやないが」

「變でも何でもいゝ、とにかくあいつはね、面白い奴ですよ、孤子でね、ボールつて云ふんだけど、名前なんか知つてますね、よく行くさうだから。あゝそんな事云へば此の間あ奴が貴方の事を云つて強い酒をよく飲む人だなんて云つてましたよ」

「ほう」

「いやその時つてのが面白いんだ、あ奴はね、獨りで小崗子市場へ行つてゐるんですよ、彼處で逢つちやつてね」

裏は默つてゐた。

「勇敢でせう、靴か何か買ひに支那人の間を押し分けてるんだから敵はねえや全く……いい娘でせう? 確に。僕は彼女が好きなんですよ」

逸見は何でもなくさう云つて、はつはと笑つて一寸頭へ手をやつた。裏も笑つた。

「いや全く」と逸見は一寸聲を落して不意に云ひ出した。

「僕は彼女と結婚しやうと思つてるんですがね、どうも以前の狀態ぢや彼女に食はして貰ふために結婚すると見られてもし方の無い始末だつたんで止めたんだが、今度の處ぢや一人前給料を貰ひますよ」

「ぢや結婚するのかね」

「まあそんな事にしたいと思つてますがね、處が、はつは、今更滑稽なんだがまだ向ふの意志を確めてないんで」

裏は事も無げな逸見の樣子に微笑しながらも何處か不滿を感じてゐた。それはボールが事も無げに扱はれてゐると云ふ感じに對する不滿らしかつた。

「どうですかね」と逸見は云つた

「と云ふと?」

「彼女と結婚する事ですよ」

「いゝでせう」

「ぢや向ふの、や、そんな事は貴方に訊いたつて分らぬ筈だつた」と逸見は言葉を切つた。さうして妙に似合はず、眞面目な顔をして暫く考へ込んだ。矢張眞面目なんだな、と裏は思つた。

「僕はね」と逸見は云ひ出した。

「實を云ふと、でもこんな事は貴方に話すのは變だな、どうしてこんな事云ひ出したんか分らんな、貴方を信頼してるんでつい打明話なんか始めるんです。構ひませんか?」

「構ひませんとも」

裏も思はず改まつた。

「ぢや云ひますがね。土屋にもこんな事は云つた事ないんだが、ボールはね、僕には勿體なく思へて仕方がないんですな」

「どうして?」

「どうしても糞もない、彼女はもう一枚上の人間だと云ふ事がのしかゝるやうに感ぜられるんで、僕はつまり、その爲になかなか云ひ出せないんですよ。僕がこんな事云ふと土屋なんかきつと本當にしませんがね。然し本當なんです。それで、云ひ出せば嘲られるにきまつてゐるやうで」

さう云つて逸見は笑ひながら妙に淋しい顔をした。

けふの放送

大連 JQAK 十二月廿五日

▲午前六時三十分 ラヂオ體操第二
▲午前七時 同第一
▲午前十時 新譜レコード（コロンビア）
▲午後零時十分 ニュース
▲午後三時三十分 ニュース
▲午後六時十分 ニュース
（以下內地中繼）
▲雅樂（六時三十分）「上古の民謠催馬樂其の他」琵琶三條正太郎、箏吉妻吉政、唄園廣元、同黑坂政…其の他大勢
▲二重唱と合唱と管絃樂降臨曲（七時）「起きよ夜は明けぬれ」バッハ作曲、由木康譯詞、新交響樂團練習所より二重唱ヴォーカルアンサンブル、合唱東京合唱團、管絃樂日本放送交響樂團指揮近衞秀麿、解說由木康
▲新講談（七時四十分）「大正天皇の御代」伊藤痴遊
（以下大連放送局より八時三十一分）
▲三曲「茶の湯音頭」三絃福永大勾當、箏木次利榮、上田流尺八妙光院珖山
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報

講談倶樂部——

まづ落語漫談遊藝百般に愉快なこと飛切りの漫畫をつけた「家庭娛樂大會」に始まつて新長篇の「修羅道春秋」加藤武雄の「三つの眞珠」久米正雄の「紅頰緋」時代物で白井喬二の「天誅組」が何れ劣らぬ貫祿を示してゐる「上州七人嵐」佐々木味津三「俄然結婚」寺尾幸夫「お伽傳兵衞」小島政二郎「暗黑紳士」甲賀三郎、と讀切物、此外に落語漫談、珍種畫報等恒例の新年號附錄は、その一が別册の「大石內藏助」村上浪六著四六判三二〇頁、その二には「六大畫伯傑作色紙集」これは雜誌附錄超特大のものだ

現代——

現代新年號附錄の「現下日本の三大問題」四六判三百二十頁、政治外交、經濟の三項目に分つて凡そ明日の日本がどうなるかを闡明したもの、これ等國民生活に最も緊密な關係をもつ三問題を、國民大衆に最もよく理解させようとしてゐることだ、第一特輯「難局打開更生實話」第二特輯「最近世界各國四方山話」第三特輯「實生活悲劇喜劇」第四特輯「大衆新進短篇傑作篇」何れも一粒選りの名記事揃ひ、外交非常時に際して（內田康哉）空前絶後の好機會（荒木貞夫）日本に對する米國の態度（新米國大統領ルーズベルト）藤沼警視總監豪快物語（楠本寬）米國大統領ルーズベルト（澤田謙）等の論說記事も讀應へがある

第十四回 滿日特選碁戰

相先先番　增淵辰子三段　藤原繁治三段

藤原氏四目勝

防備嚴重な 鄧鐵梅の城砦
周圍には防彈壁 お庭には穴藏

【安東】去る十四日安東出發、川上部隊に配屬され行動を共にしてゐた安東憲兵分隊大沼軍曹は天谷中佐一行と共に廿一日夜歸安したが同部隊の戰況及び匪首鄧鐵梅の根據地たりし龍王廟の模樣に關し次の如く語つた

川上部隊に屬し十七日黃旗街に到着したが午前七時頃部落を通行中の便衣二名を逮捕檢查をしたところ此奴は東北民衆自衛軍第四方面第七旅司令王星譚の部下で仁旅衛及び大梨家堡子の村長宛の密書及び布告文を封筒に入れ所持してゐたので嚴重に取調べたが、却々頑强に口を開かず銃殺して呉れと云ひ張り度胸骨の据はつた賊だつた同日午前十時半頃約三百の大刀會と遭遇、討伐最初の血祭に猛烈なる火蓋を切り午後零時半頃まで交戰、遂に擊退し同夜は黃旗堡子に宿營、夜間の警備線を敷いてゐたところ十八日午前零時頃約六百の有勢な敵は暗夜を利し健氣にも夜襲を企てたので山砲を一發見舞ひ敵の動靜を窺つた、すると僅か五十米ばかりの前方に半圓形に接近して來た賊はワーツと喊聲をあげると同時に猛烈な射擊を開始したが、我が部隊の果敢な猛擊に流石の賊もバタ〳〵と倒れ午前一時半頃連長以下多數の死傷者を收容して敗走した、十八日全員は勇躍前進し午後零時半龍王廟前方高地に約六百の尖兵集團を發見したが最初友軍ではないかと思ひ日章旗を打振つたところ、忽ち射擊を開始したので猛擊を加へ遂に擊破、賊團は龍王廟に敗走しつゝ、同地の賊團に日本軍來ると連呼しどん〳〵退却してしまつた、我が部隊は午後一時半頃龍王廟に入城したが大村、高橋兩部隊も殆ど同時に三方面より入城した、賊の步哨線や散兵壕には炊きたての赤飯や茶腕が澤山亂雜に殘されてあつたが丁度晝食中であつたらしい、此の時に匪首鄧鐵梅も逃走したのではないかと思はれてゐるが眞疑は判らない、鄧の住宅は丁度城內の中央部に堂々たる一劃を巡らし市三尺高さ一丈三尺位の堅固な煉瓦の防彈壁を築いて倉庫には掠奪した白米、鹽、石油、ローソクなどを山と積み重ね、又た一番恐ろしい飛行機の爆擊を逃れる爲め廣い前庭に大きな潛伏用の穴藏を掘つてゐた、十八日夜は冷雨となつたが夜襲に備へて夜間警備をなしてゐたところ、十九日午前三時頃暗夜に降りしきる雨を衝いて紅槍會、大刀會匪等を混入した匪賊襲來したが約三十分交戰の後この奇襲を退けた、賊は高麗門より黃旗街の近く一里の地點まで高地と云ふ高地の突端にはすべて村民を强制して立派な散兵壕を構築して居り、北井子から先きは殆ど散兵壕の濠がうね〳〵と掘られ如何に賊が周到な用意をし頑强に抵抗したかは川上部隊のやつた四度の激戰で容易にうなづける程だ、味方に死傷者のなかつたのは實に天祐である

キャラメル箱に 悲壯な遺書
高山部隊の奮戰と宣撫班の活動實況

【安東】東邊道西部三角地帶の掃匪に出動した第〇團、奉天、連山關、安東の各〇〇隊及び滿洲國軍は去る十三日以來一齊に賊團の殲滅を期し酷寒と鬪ひ惡路險峻に惱まされつゝ徹底的に匪賊を掃滅し第一次掃匪を終了各部隊も高山部隊に引續き近く凱旋する筈であるが激戰に激戰を重ね遂ひに名譽の戰死傷者を出した高山部隊に隨從し軍と行動を共にした宣撫員谷戶氏は同部隊の戰況及び政治工作に關し次の如く語つた

十七日午前八時姜家大堡を出發した高山部隊は行軍約二時間定家溝に到着するや高地に據る約三百の賊團より猛烈な射擊を受け直に戰鬪隊形に移り之を西南方に壓迫し約半時間の後同高地を占領したが機關銃の彈藥補充中の前島上等兵は右眼より左耳後方に貫通銃創をうけた、部隊は更に西進石橋山に集結する敵四百を擊破急進して同日午後三時頃泡家山の散兵壕に據る賊團四百に對し山砲の偉力を以て擊退、同夜は北井子に宿泊した宣撫員は直に商務會有力者を集合せしめ懇談會を開催、充分に日滿親善の眞意を知らしめ、翌十八日出發、午後八時四十五分家堡に於て前方約八百米突の秦兒山の敵約二千と交戰六時間に及び激戰に陷つたが、敵は同右翼部地帶より約千五百の增援隊を送り迫擊砲の雨を浴びせたので寡少ながら沈着勇敢な高山〇隊長以下の精銳は敵の周圍に悲壯なる最後の決心を爲し猛烈なる砲火を集中し午後四時敵を沈默せしめ、更に急進して氷雨降る中を終夜强行軍をつゞけたが一名の落伍者もなく十九日徐家大嶺に進出した、この間宣撫員等はキャラメルの空箱に悲壯なる遺書を認め第一線に立ち勇敢なる活動をつゞけた、此の戰鬪は實にかの北大營以來の猛烈な激戰であつたと同部隊將兵は語つてゐた程である、第一地方宣撫班は鋼鐵村、湯池、水泡、河深溝、小房身、北井子等で徹底的政治工作を行ひ地方民をして滿洲國の建設發展と皇軍の盡力に多大の感激を與へしめた、尙ほ黃土坎、龍王廟も充分なる工作行はれ日本軍及び奉天省の布告、傳單、ポスター等を各村に配布し[illegible]等をなして非常な關心を惹起せしめ所期の目的を達したものと認めてゐる

安東の年賀郵便 三十萬通を突破
昨年に比し約三倍

【安東】安東郵便局では豫定の通り去る廿日より年賀郵便特別取扱を開始したが二十日の引受一四、一六六通廿一日は一四、四二八通で昨年の廿日五、九三四通、二十一日の五、四四四通に比し何れも約三倍の增加を見、又到着の分は二十日前年の一五〇通に比べ九五通、二十一日前年五二五通に比べ六百三十五通の增加を示してゐるので郵便局では發着數ともに豫定の三十萬を突破するものと看做して善處してゐる

中間驛に送電

【開原】開原電氣株式會社は豫て昌圖附屬地及馬仲河金溝子の谷に送電計畫を建て其工事を急ぎつゝあつたが漸く二十二日其筋の認可を待て點燈したが成績頗る良好である過去久しき間ランプの不便と危險に惱まされて來た同地の住民は蘇生の思ひで其利便を喜んで居ると

四平街に競馬會
明年四月第一回開催

【四平街】馬匹の改良と之が智識發達を圖るべく豫て地方有志間に競馬會組織が擡頭しつゝありしが去る二十二日夕、柴谷榮治郎、山添倘江、竹本二丸、田中佐重郎、木藤品次郎、歲安芳之助、櫻井較輔の諸氏は滿鐵俱樂部に會合し前記組織方法に關し諸般の協議を遂げた結果愈々明年四月の候を卜し第一回の競馬會を開催することに協議一決、茲に地方多年の宿望であつた競馬會の實現化を見るに至つた、而して組織方法は一株二十圓を三百株とし此の內百五十株は幾十人かの發起者が責任上之を引受け殘餘百五十株を一般地方の希望者より公募する由にて若し應募者が既定數の百五十株に超過する場合は發起者側が最も公平なる方法に依りて之を處分し公募は遲くも明年一月上旬より開始する筈である因に設立事務所は當分市內平安街柴谷氏の宅に置き同氏並に歲安の兩氏が專ら其の事務に當ることゝなつた

腸チフス流行

【吉林】年末押し迫つた今日腸チフス發生が流行して去る十三日大馬路鎌田晴賀(四一)が確診され十五日同山下昌平(三二)十七日同家綾子(七)が同病と診斷され當地居留民會では一時も早く此の流行を防ぐため東洋病院と打合せ中であるが他にも患者有る模樣にて二十二日二十三日の兩日に渡り午後三時より四時までの時間を豫防注射を施行した

亞細亞窯業 會社總會

【開原】泉頭に在る亞細亞窯業株式會社は二十二日午後二時より開原市場會社に於て第十五回定時株主總會を開催し原案通り可決取締役任期滿了に付選擧の結果、藤井、佐竹、池田の三氏重任宮地義芳氏新任し何れも就任し互選の結果專務取締役は藤井武夫氏重任し宮地氏は取締役支配人として活躍する事となつたと、因に開原市場及亞細亞窯業專務藤井武夫氏は同日午後五時官民有志數十名を二樂に招じ滿宴を催した

撫順の火事
作業場燒く

【撫順】歲末火災時節の折柄廿一日午後五時四十分頃附屬地北端永安橋畔撫順炭礦工事事務所北部工務區作業場が出火すはこそと消防隊から消防自動車其他撫順警察署員、炭礦關係者等直に現場に急行消火に努めたが何しろ木造トタン葺きの作業場とて火は見る〳〵うちに建物全部に擴がり約四十分後作業場を全燒鎭火したが損害は約五六百圓、原因は煖爐からの失火らしく目下撫順署司法係にて取調べ中

裝甲列車 滿洲里突進記(二)
野原砲兵中尉手記

然るに日沒後に近く札蘭屯亦指呼の中に在り、依つて裝甲列車長野原中尉は修理完成を待つに堪へず裝甲牽引車に搭乘し破壞せる軌條上を前進し擊突しつゝ離脫して午後七時頃札蘭屯驛に入る、同所にて矢崎參謀と會し同旅團の一部は既に當地に到着し主力は目下集中しつゝあり、其の

先遣隊 たる宮本隊は當地にて列車に搭乘し前進準備中にして、又同旅團の工兵を以て臨時編成せられたる修理列車は既に約一時間前先行し在るを知る、而して裝甲列車は同旅團と協力を約して先發す、前進すること約十里、巴里木驛に於て該修理列車に會し更に先行す、十二月三日拂曉雅魯驛東方約一粁附近に達す、此の時雅魯南北の線に約三百の敵あり、我が進路上の鐵道を破壞して我を猛射す、石川少尉は勇敢に機關銃四を指揮して驛南方の敵を攻擊し野原中尉は山砲を以て主として驛及其の北側の敵を砲擊す、驛に一列車あり機關車一貨車三の列車により敵は逃走を始むるを認め

追擊を 加ふ、然るに如何せん進路上の鐵道破壞しあり、切齒扼腕しつゝ修理列車の到着を待ち、修理成ると共に出發急進す、然るに敵の列車は機關車二貨車三輛なるため逃げ足速きに比し、我が裝甲列車は九輛編成にして各車の重量亦大なり、依つて枕木を滿載せる貨車一輛を雅魯驛に放棄して追擊す、午後二時半頃濟克圖東方に達するや敵の列車同驛に在るを認め直に之に追尾せんとせしも同驛構外に敵は貨車三輛を脫線せしめて我進路を阻絕し置けり、依つて直に敵列車に向ひ砲擊を開始せしが、驛構內に在りて列車の認識充分ならず機關車の煤煙の下部に對して射擊するの外なく、忽ちにして西方に退卻を始む、次いで驛構外にて一旦停車せるを認め、再び之を猛射せしに遂に前進して隧道下に入り遂に之を逃す、此時未だ我が修理列車到着せず裝甲列車全員全智

全力を 擧げて此の顚覆列車を取除き前進せんと努めしも遂に不可能なるを知り全員切齒し天を仰ぎて長嘆す、修理列車到着に依り此の作業完成せしため前進を起し、アハト驛に入りたるは午後三時頃なり、午後三時半頃荒木工兵中尉の指揮せる裝甲牽引車は興安驛偵察のため先行す、而して我が追尾を知れる敵は興安驛より機關車貨車三輛に岩石を滿載して突放せり、恰も線路は大興安嶺の分水嶺附近の急坂に在り我に向ひ大速度を以て驀進し來る、其の危急より我裝甲列車を救ふべく同中尉は咄嗟の間に裝甲牽引車より脫線機を卸下し同車を後退せしめ置き、兵三名と共に脫線機を軌條に裝着し、裝甲牽引車の位置に向ひ後退し來り、百米附近に達するや該突放車は怒濤の如く

脫線機 に乘り上げ、餘勢を以て脫線したる儘荒狂ひつゝ同中尉等の附近に迫るや三輛共顚覆し、同時に滿載せる岩石を以て無殘にも卽死せしむ、其全身完膚なく、骨なし粉碎せる最後に至りては壯烈鬼神を泣かしむるものあり、同位置は急坂の山腹道にして鐵道の外一步も左右に避くる餘地なかりしなり、然るに四五分にして更に五十噸車輛に兵器被服を滿載し二輛連結にて突放し來りしが既に顚覆せる車輛に衝突し、折重なりて顚覆せるに止まり、荒木中尉の壯烈なる犧牲は遂に我が裝甲牽引車及裝甲列車を救ひしなり、同中尉の指揮せし兵は夫々打撲傷を受けしも重傷ならず

一同淚 乍らに遺骸を收容し牽引車に納めたり、此の頃既に夜色蒼然として寒氣と共に迫り來る、興安の敵に向ふ心は逸るも修理列車の到着を待ち、顚覆列車五輛を排除して前進せんことは夜を徹するも至難なり、恨みを呑んで裝甲列車及牽引車はアハト驛に後退す、其の夜アハトの驛舍に荒木中尉の遺骸を安置し一同通夜して告別式を行ふ

DECEMBER

十二月廿五日

舊十一月廿八日

SUNDAY

日

大正天皇祭
クリスマス

庚申
四綠友引

晴着の用意

かのえ さる

今日は大正天皇祭！
大正天皇祭とは、大正天皇崩御の日として其靈を祭り奉る儀式の事であります。

此品で姿が輝く

福助足袋
家庭足袋
萬歳足袋
福運足袋
寶船足袋
大衆足袋
おつとめ足袋

福助足袋株式會社

ライオン歯磨

戸毎に國旗
朗かに！
勇しく！

戸毎に
ライオン歯磨
罐チューブ入！
子供さんにも。
寝る前にも。

ライオン歯磨本舗
株式會社 小林商店
東京・大阪・名古屋

A313—7.12

頭痛はノーシン……一服で充分です

S172

RARE OLD SUNTORY

いざ贈らむ
古稀の名酒に……いと高き雅懐をよせて！

角瓶
十年ウヰスキー
サントリー

七年貯藏の
白札・赤札あり
化粧函入

タオル 晒木綿
ハンカチ 金巾天竺
フロシキ 加工綿布
ふきん 羅紗 オーバ
木綿羅紗 厚司 ズボン 各種
コール天 別珍 作業服 色々
並に御進物用印入御注文に應じ迅速調進致します

大綾部商店
大連市西通八二
電二一六九一

呼吸器疾患
消化器疾患
血壓亢進
神經痛
脳脊髓
血尿・淋病
婦人病
中風脚氣

元鹿兒島鍼灸學校主任
同校本科出身

鹿兒島鍼灸療院
大連市三河町

眼科
馬場醫院
馬場庄江 ドクトル
大連常盤橋詰・電話八五七八

性病 梅毒 淋疾 軟性下疳
皮膚病
泌尿器病
生殖器障碍

井上醫院
大連市浪速町一丁目
電話五二六〇番

内科・小兒科・婦人科
荒井醫院
女醫 荒井いの子
敷島町五(停留所前)
電話六〇六八番

設計監督
構造計算
裝飾意匠

横井建築事務所
大連市紀伊町八五(建築協會三階)
電話三三五九番

工學士 横井謙介
工學士 草野美男

永原小兒科醫院
大連南山麓柳町二三
(共營住宅電車停留所前)
電話七九八七番

毛髪を美しくする
メヌマポマード

君よ
近代的感覺の明朗な整髪の美を欲するなら
效果をまづメヌマポマードに問ひ給へ
結果は會心の微笑を禁じ得ぬであらう

本品は男女の美髪用に最適の純植物性油にして、能く拔毛を防ぎ發毛を助け光澤を増し髪容を整ふ 且つ毛髪の組織によく浸潤し適度の粘稠性を保つのみならず
その上石鹸によく落ちるを無類の誇りとす
て乾燥せず

M—24

ぶどう酒
びしょう
赤玉ポートワイン

若くなる 秘訣は 朝晩一杯！です それより多くてはいけません それより少なくてもいけません 必ず 朝晩一杯づゝ！ これが秘訣でございます……

382

國難日本刀 (194)

高桑義生作
京極佳夕畫

屋 CURIOUS SHOP

百萬兩（二）

百萬兩の現金輸送は、幕府の頭痛のたねだつた。

なぜなら、尊攘浪士が道に要して、百萬兩の奪還を企てゝゐるといふ風說があつた。聞き流すことが出來ない事である。

償金交附を約した小笠原圖書頭の思ひ切つた獨斷に對しては、柳營內ですら不平不滿の聲が高い。まして事務を傳へ聞いた尊攘派の公憤は、頂點に達した。

ぐわう〳〵たる世論、幕府に對する非難の聲。

何故無禮の外夷に莫大の黃金を與へる必要があらう。むしろその金を以て攘夷を實行すべきだ——といふのである。

とにもかくにも、百萬兩といふものが、日本から失はれることはたしかだ。紛々幕府がこの大金を捻出して、英國に支拂ふことも難事だつたが、長行の思慮は、この一途を執るほかはなかつた。しかるに、現金輸送の問題につきまとふ若干の風說——もし尊攘浪士にそんなことをされては大變だ。實際やりかねない彼等なのである。

で、幕府はきはめて嚴重な警備のもとに百萬兩の輸送を行つた。前述の大八車十輛に分載した百萬兩——挽子には力量すぐれた力士をつかつた。鬼鹿毛はじめ筑紫洋など、長行がふだんひいきの力士である。更に前後をまもる役人、騎馬組、講武所選りぬきの壯丁、およそ百名の警備隊を組織し、沿道の警戒を嚴にして、萬一にもさういふ虞れのない用意をした。

この一行が通過する東海道筋には、物見高い見物人が山のやうに群がつた。

「大したもんですなあ。あの箱の中がみんな金銀、恐ろしい目方ですぜ」

「さうでせう。力自慢の角力が、あと押し附きで、汗みどろになつて、汗をしぼつてゐるんですから。ありやあみんな江戸の幕府角力なんだ」

「口では百萬兩だが、あたしやあ生れてから、百萬兩なんて金高を拜んだこともありませんからね——」

「まつた、勘定するだけでも大變だ。百萬……一二三四——と數へて御覽なさい。百萬までいふのは骨が折れる。途中で忘れてしまふでせう」

當時の一兩の價値は、相當なものだつた。その一兩が百萬といふわけだが、百兩などといふ數字はその時分の民衆には考へられなかつた。夢想することも出來なかつた。が、俗に百萬兩といつたので嚴密には英貨十一萬磅に該當する金額が、かうして輸送されたのだつた。

「惜いぢやありませんか。みすみす外國に取られてしまふんですぜ」

「殘念ですなあ。百萬兩あれば、何十萬の人間が救はれる。この物價のたかい、不景氣の世のなかに毛唐にそいつをただ取りされるなんて、いくぢのねえ話だ。もと〳〵無禮者を二三人斬り棄てたといふだけの事なんだから、なるほど斷つたのは惡いかも知れねえが、無禮をはたらいた者にも、罪はあるのだ。それを楯に取つて、百萬兩とは、ひでえ事をしやあがる。十兩盜めば、笠の臺が飛ぶのが定だ。百萬兩は十兩の十萬倍、十萬人の命にあたる尊いものだ」

「これ〳〵……」

沿道警備の地役人が聞きとがめた。

「左樣な事を高聲にいつてはならん」

「へえ」

だが、役人もおなじ思ひの者が多かつた。見物人のさういふ話を聽くばかり、誰も惜い思ひである。暴慢な外夷を呪つた。憎惡に燃えた。

往來の旅人も足をとめた。

そのなかに、旅商人の風體で、すげ笠をかぶつた男女、神出鬼沒の桂小五郎と、絕えて久しい白菊のお千——二人が江戸下りの姿である。

∞陰の若人∞ 松竹蒲田作品大日方傳、八雲惠美子主演でラグビーを背景として姉弟愛を描いたもので結城一郎、上山草人、水久保澄子らが助演してゐる、監督は[illegible]【中央映畫館上映】

海員の假裝舞踏會

大連海務協會シーメンス・ホームにては二十四、五の兩日をクリスマス假裝舞踏會として外國船員の慰安會を催す、兩日の入港船はキングシテイ、ザサラツク、シテイオブアゼン、ブレイヂレン、ダルクロイ、オーストリエイリエン、ハートブリツヂ、ナニン、パトロクラス等の諸船で特にパトロクラス號より優秀なるバンドが來つて演奏する筈である

東亞會館Xマス

東亞會館ではクリスマスイブ晚餐會を廿四日午後五時から九時まで同六時から舞踏會、廿五日午後一時から四時まで御家族舞踏會、午後四時から七時までティーダンス會、午後六時から九時まで晚餐會午後七時から舞踏會、廿六日午後六時から九時まで晚餐會、午後六時から假裝舞踏會を催すと

本社特選 新棋戰（其二）

平手　先四段△中村熊治
四段▲建部和歌夫

【圖は四一玉迄の局面】中村氏持駒ナシ

△二四歩　▲同歩
△同飛　▲二三歩
△二六飛　▲五三銀
△五八金　▲七四歩
△三六歩　▲八六歩
△同歩　▲同飛
△八七歩　▲八二飛

【土居八段講評】建部君は飛先の歩を切つては飛車の位置が決まつて策戰上不利なるを以て同型を避けて五三銀以下變化に出たのは實戰に適した至當の對策である

コロムビア・ラジオCI八一一號に就いて

CI八一一號は米國コロムビア・ラジオCI八一一號はコロムビア會社に於いて製作されたる最新式最優秀品である

本器は極く最近即ち三、四ケ月前に米國にて賣出された最新式のチウブを取付けた八球式で今回初めて東洋に輸入された、本器は「ヘトロダイン、セークウイト」して居り「メークレーペエパー」さ「ペートデ」チウブの使用さ相待つてラジオの性能を一層優秀ならしめて居る

此の種「ヘトロダイン、セークウイト」は其の卓越せる自働音量調節器で即ち音量調節器を一度一定の處に廻して置けば自動的に音波の強弱を適度に調節し常に一定の音量を保たしめる、又此のラジオには世界に於けるラジオ中最新式のチウブ即ちコロムビアCI五六型が取付けてある

又CO五八ISならびにCI4ISの「スプレーシイルド」チウブは雜音の主體となる可き鎖還、漏話を完全に除去する爲受信を完全無缺ならしめたもので從來の樣にラジオチウブの周圍に鐔の罐を必要さしなくなつた

此の「スプレーナイルド」さはコロムビア技師が多年苦心の結果チウブにアルミニウム、ペンキを應用したものでコロムビア會社或は其の傍系會社だけで販賣してゐる

今一つの重要なる改良は「エレミネーター」で今日迄大部分のラジオは非常に雜音が多いが此のコロムビア、ラジオは上記の「ハム、エレミネーター」に依つて雜音は完全に除去されてゐる

一月の撫順炭要求量最高記錄を作る
繰炭計畫樹立に惱む
炭礦、商事部共同會議を開く

十二月に入つて配車增加と共に撫順炭の送炭はいよ〳〵加はり十二月中の總送炭量は七十萬六千七百噸と註せられるに至つた、然るに一月は例年賣炭最旺盛期であるが明年一月はこの勢ひでいよ〳〵增加すべく

現在 の輸出地當社用焚料等よりの要求額は實に八十七萬四千噸に達した、過去の成績において一箇月の最高送炭量は昭和四年一月の八十萬七千五百噸であるから明年一月はその最高記錄を遠く

あげる山の月であり、二月に入ればドカ落ちするので八百三十車運送を強硬に主張すべく二十四日商事部會議ではその方針で鐵道部と交渉することに決したものゝごとくである

豫算を更正
出炭增加を圖る
撫順炭礦當局の對策

別項のごとく今冬の大送炭により撫順炭の貯炭はほとんど拂底せんとする勢ひを示し、しかも炭界好況は相當底力あることが判つたのは突破すべく、七百五十萬噸說も出る有樣で昭和三、四年度の大景氣を現出するやも圖りがたい狀態である、故に炭礦當局ではこれに伴つて增大するのやむなきに至り明年匆々更正豫算を經して當然出炭計畫を變更し豫定設備等も擴張せねばならぬ……その準備に少くも二、三箇月を要すべくこの方面の準備も急ぐこととなつた

運が十分でないのでこの八十七萬噸の

大量 を全部捌き得るか否かは疑問視され、これに明年一月の繰炭計畫が重大なる意義を有するに至つた、よつて久保炭礦長は二十三日出連、武部商事部長と種々打合するところがあつたが、二十四日は更に兒玉炭礦運輸事務所長も來連、商事部において弟子丸輸出課長、大屋甘井子事務所長、久松、河村、森永、春山の各係主任を加へて鳩首協議するところがあつた、しかして山元には目下二十八萬噸の貯炭があり、もし一月に六十萬噸の採掘をなせば大體總要求數量を滿足し得るわけである

貨車 の方は右數量を全部運ぶとすれば一日八百七十車を要するわけでこれは現狀においては絕對不可能とされてゐる、ただこの要求數量中には各販賣人や需要者の懸値も加つてゐるので眞の需要に應じて淘汰する筈だが、それでも八十萬噸を超過することは明瞭で、從つて八百二、三十車は是非必要である、これに對し鐵道部では八百車配給を保證してゐるが商事部としては一月が賣炭成績を

時ではそれすら過大でないかと案ぜられる程であつた、しかるに現在の狀況では却て過少となり商事部側の豫想では少なくも七百萬噸

內地資本家等は進で投資しやう
硫安事業計畫を完成し
廿四日歸連の深水氏語る

硫安問題で上京中の滿鐵計畫部深水審査役は目出たく目的を達成、廿四日入港のうらる丸で歸連したが、出迎へ人の「お目出度う」攻めに遭ひ、さながら凱旋將軍の觀があつた、氏は語る

いよ〳〵十八萬計畫と決つて山本前總裁に報告に行くと、山本さんも淚を浮べて喜んで下さつたし、自分も思はず淚ぐんでしまつた、これで私の六年間の望が漸く達したことになる、最初九萬噸計畫の認可を關東廳に申請したのが十一月の廿五日で、引きつゞき十二月十日十八萬噸計畫に變更の認可を申請した、そしてそれが認可になつたのは十五日であるが、正式指令を貰つたのは廿一日だつた、會社の

組織內容 生產高、資本金等は新聞に報じてある通りで、人員も極力消極主義を執つてゐる

ので、七百人（日滿半々）位なものだ、これからいよ〳〵會社の設立準備に取りかゝるのだがそれまでに取敢ず工場建設の根本的打合せやドイツの特許權所有者との間に重要部分の設計打合せをする下準備の必要があるので一先づ歸つて來た、計畫部勤務となつた深山、黑川兩氏は私が最後にドイツに行つた時一緖に行つた人であるから何かと理事とも充分相談しなければ決められない、一月中ごろに再度計畫遂行に好都合であるが二人がドイツに行くかどうかは山西會社設立準備に上京するが、內地方面からの資本投資に關しては

內地での 評判が非常に好いから極めて順調に運ぶだらうと安心してゐる、二ケ年で工場完成の豫定だが拓務省が急いでゐるから出來れば一年半位で完成させたいと思つてゐる、會社で

十一月中關東州貿易依然たる好勢
輸入は十九割方激增
前年同期對比輸出七割二分增

關東廳發表＝十一月中海路に依る關東州貿易は（單位圓〈印〉前年比較）

	十一月	前年比較
輸出	三四、四一〇、四四四	一〇、一九〇…
輸入	三二、一〇八、〇六一	一四、六三…
合計	六六、五一九、五〇…	
出超	二、三〇二、…	

卽ち前年同期に比し總貿易一割四分強增を示し內輸出は七割二分、輸入は實に十九割五分增を示し貿易尻に於て四百萬圓の出超減を來してゐる

輸出にあつては大豆が前年より數量四十六萬一千擔（二割增）金額七百六十六萬六千圓（十四割六分增）を著增、綿織糸五十三萬五千六百圓增（九割增）、豆粕四十二萬八百餘圓增、石炭十五萬五千餘圓增、萬一千餘噸五萬四千餘圓減外一齊激增、高粱二萬餘圓減（七割一分減）對に豆油は二十萬四千擔、移入にありては小麥粉七十萬餘袋（三一割三分增）二百…

商品賣買受渡
十二月限―

大連五品取引所商品部の十二月限商品受渡は麻袋六十三萬枚、代金二十一萬六千二百五十圓、延取引綿糸受渡二十俵、代金三千四百圓綿布二十俵、代金四千百八十圓であつた

ソ聯ダンピング注視を惹く

【上海二十三日發】ソウエート聯邦は國交恢復を機會に木材、石油魚類等を初め各種商品を支那市場にダンピングする模樣で在上海各國商人は目下非常な關心を以つて注視してゐる

國際運輸再び
對歐大豆の輸出計畫

國際運輸會社は去る昭和二年ハンブルグに代理店を置き滿洲大豆の對歐輸出を企圖し、當時海運界の狀勢が比較的好調なりしに乘じ大型船四隻を傭船してこれを斷行したが、結果は頗る良好であつたので爾來大汽船を始め他の社外船主に對してこれが輸送を指導し來りたるも、國際運輸自體としてはその

內部 關係と折柄の海運市況の面白からざるために中絕を餘儀なくされてゐた、然るに滿洲特產物は世界的商品であつて、これが運送を圓滑にし、且つ完璧を得るには海陸運送の實態を同一にすることが理想であるとの見地から築島專務は先般の職制に於て從來の海運係を海運課に分離獨立し、この方面に於けるエキスパートたり小川神戶出張所長を課長に簡拔し、徐ろに海運方面への飛躍を期しつゝある、而して滿洲大豆の對歐輸出は今春以來每月十萬噸を遙かに突破するの盛況を極め居り

殊に 出廻り最盛期に入るに從つて往年の露支關係時代の殷盛を再現するものと觀測されるので、差當り遠洋方面殊に歐洲航路への進出を斷すべく種々考究中であるが、何分海運界は船腹の不足を告げてゐる實情にあるので、直に對歐輸出に着手するを得ないが適當なる大型船を物色し次第大豆輸送を開始する模樣である

働らく人の採用は技術關係の人を少し採用するだけで後は二年後の話だが、そのうち設立事務所を造らればならぬ

大連工業決算
年九分に增配當

大連工業會社では本月十六日株主總會を開き本年度下半期決算の承認を求めたが當期は滿蒙景氣を實に受けて築港部及被服部に於ける仕事の分量激增し短期間にざる好成績を收めてゐる、卽ち收入は前期に比し一萬四千餘圓增加を示したので當期株主配當は前期より四分增の九分配當と決した、當期利益金處分を示せば左の如し（單位圓）

▲當期純益金一八、五〇四▲合計七、一三六（內處分）▲法定積立金一、〇〇〇▲退職手當基金三、〇〇〇▲株主配當金（年一割）一一、二五〇▲役員賞與一、八〇〇▲後期繰越金二〇八六

北支那青果決算
配當年四分決定

市內信濃町所在の北支那青果會社では二十日株主總會を開き本年決算の承認を求めたが當期は五千餘圓の純益金を計上し株主配當年四分に決定した、利益金處分を示せば左の如し（圓單位）

F……特・產・界
財界一年を回顧して
尻上りの特產市
歲末に至て優勢（下）
前年同期對二億圓減
市場は材料續出に波瀾萬丈

豆粕、豆油にとつて本年は寔に受難の年であつたと云へる、豆粕は內地農村の極端なる不況の嵐に見舞はれて肥料としてはもとよりのこと、飼料粕としての需要も激減し日本內地の需要の上のみから云へば殆ど半減の狀態にさへある、一方豆油にあつては歐洲向けの輸出が振はざりしに加へ去る九月二十五日以後南京政府がとつた關稅政策の前には全くの上つたりである、金輸出數量の七割を支那向と

する豆油にとつてこれ位打擊の甚だしきものはあるまい、豆粕も大豆も共々にそれ以後社絕の姿にあることは繰返す迄もない、豆粕、豆油の輸出が不振であつたことは直に大連に於ける油房業がそれだけ打擊を受けたといふことに外ならない、けれども今秋以來インフレ景氣の擡頭による日本からの豆粕の需要が激增してゐることは見逃せない、年末に至つて油坊の豆粕生產は愈々增加してきてゐる、豆

油も對歐大量輸出の再現が期待されてゐる、不振ではあつたが前途に一抹の光明を認めつゝ越年せんとしてゐるのだ、大連市場に於ける市況の跡を辿れば左の如くである。

……◇……

豆粕＝本年初頭大豆高に伴れて强調を示しあと南京筋の買と內地の好調による邦商の買進みに、昂騰を辿つたが、月末には各品の眞打ちで低落し、二月の休止明けに

錢鈔
當市釘付

株式
內地株區々
當市弱保合

特產
市況（廿四日）
買氣一服
豆粕軟調

銀
今朝日米爲替第一回一弗丁度といふ急落振りで▲一方滙水もなか〳〵騰りであるばかりでなく銀塊も反騰したが▲當方は何分昨後場に材料なきに拘はらず上伸してゐたため殆んど同事に寄りたるのち釘付相場に終つた▲それでも日米や滙水の採算からいへば一圓內外下廻つてをり▲昨今は爲替を先走るどころかさかく後れ氣味だ▲市場は二十九日前場限りで最早や全く正月氣分だ

株
北濱前場は諸株共一圓二三十錢乃至三圓高に寄つたが引は軟弱▲東新も寄高の引安で結局前日より小一圓高に止め▲地場株は五品の四五十錢安を首め他株も一二十錢安の弱保合であつた▲一般に春高見越し濃厚ではあるが可なり買ついてもゐるので高値は警戒氣味である▲此邊一息入れて春高に備へることが賢明かも知れぬ▲紛糾を豫想された五品總會も無事終了した歲晚多忙の際事なきを得たのは市場のため幸ひである

糸
米棉情報は現物屋及び外國筋の買ひ物が出たので市況は閑散乍ら騰りとなり▲現物十高先八乃至十高を示し米日爲替六安に大阪三品は各限二圓七八十錢高を入れ▲當市は鈔票落付きに襲乍ら氣を良くせるも高値警戒に見送つた▲麻袋は產地小騰りと鈔票の落着きを眺めて各限二三厘高に引締つた▲需要期にて弗々荷動きあり在荷も著しく減少したが年末までの分相當の入荷もある模樣で今一つ伸び悩み風情である

商品
麻袋堅り
綿糸昂騰

東京株式
大阪株式
神戶期米
大阪期米
東京期米
大阪綿糸
橫濱生糸
大阪綿花
印度麻袋
市場電報
銀塊及爲替
上海爲替情報
爲替相場
奧地市況

マンニチ日曜附錄

童話　港のＸマス
八木橋ゆじろ

港の町の夜が更けて、風は寒々と吹き暴れてゐた。トミ子は部屋のペーチカに少しばかりの石炭を投げ込んではおぢいさんの歸りを待つた。おぢいさんは夜更けの街を笛を吹いて廻る按摩さんだつた。

ペーチカの火が消えかゝると、トミ子は慌てゝ又一攫みの石炭を投げ込み投げ込み待つてゐた。

きれいな月夜、風の音を聞きながら、トミ子はおぢいさんの難儀して歩いてゐる有樣を思ひ浮べた。

まもなくおぢいさんが、杖をコトンコトンさせながら歸つて來た。

「おかへりなさい。寒かつたんでせう、おぢいさん」

「うん、今夜はすこし寒かつた。それ温かいお土産だ。どれ／＼熱いお湯でも飲んでやすまうかな」

おぢいさんは懷から温かい麥燒を三つほど出してごつかり坐り、トミ子の汲んでやつた湯をフーフーならしながら飲むと、トミ子に手をひかれて寢床に入るのだつた。

トミ子も寢た。ガラス戸の外はいゝ月夜、青白い月がおぢいさんの寢顏を照らした。寢顏といつても、おぢいさんは盲目ですから眠つてゐるのか醒めてゐるのか分らないのだが――。

「おぢいさん」

「なんだい」

ねむつたと思つたおぢいさんは未だ起きてゐたのだ。

「こんどのクリスマスにも、やつぱりサンタの爺さんは家に來て呉れないでせうかしら」

「サンタの爺さん？その爺さんはどこから來るんだい」

「あのね、よい子供の爲めにお土産を持つて煙突から入つて來るんだつて。月の世界の神樣だつて」

「いつ來るのかい？」

「もう四日、二十五日の夜に」

「家にはペーチカの煙突しかないから來て呉れないだらう」

さう言つて、お爺さんは向ふを向いてしまつた。

「どうぞ神さま、クリスマスのプレゼントを私にも下さい。すこし汚いが私の家のペーチカの煙突を忘れないで下さい」

寢床の中で、胸に合掌しながら窓の外のお月樣にお願ひした。

その夜の事であつた。窓をコンコン叩くものがあるのでトミ子はハツと眼をさましました。起きて行つて電燈をつけて窓を開いて見ると外に黑い人影が立つてゐた。

「どなたですか？」

トミ子は尋ねた

「電報です」

外の人はさう答へて、紙片を渡すと向ふの角に消えて行つた

「なに？電報？」

「えゝ、誰からかしら」

「トミ子讀んで見て呉れ」

「えゝと、二五ヒミナトツクムカヘタノムスミと書いてあるわ」

「スミ？」

「はい」

「うーん」

「スミつてなに？おぢいさん。人の名前ですの？えゝ？」

「いや、まあ、いゝじやないか、れろ／＼、その中分るから」

トミ子は「うちに電報が來るなんてをかしいなあ、スミつてなんだらう」と思ひながら寢た。

☆

二十五日が來た。朝の御飯が濟むとおぢいさんは

「さ、これから港に行くんぢや」と言つた。

「港へ？誰を迎へに？」

「クリスマスとかなんとか今日だつたな、あのおぢいさんなんとか云つたねえ」

「え、サンタクロース」

「さう／＼、これから港の船へサンタクロースを迎へに行くんぢや」。

をかしな事だと思ひながら、トミ子はおぢいさんの手を引き／＼港へ行つた。

今日は入船だといふので、港の棧橋は大へんな賑やかさだつた。港を靜々とこちらの岸壁に向つて來る船がそれだらうか。

トミ子とおぢいさんは出迎へ人の群から少し離れたところにしよんぼり立つてゐた。

船がついて、次から次へお客さんは、出迎への人々とにこ／＼挨拶をしながらそこを去つて行つた。トミ子達の迎へに來たサンタクロースは、大ていの人々が去つてもなか／＼來なかつた。

トミ子は悲しくなつた。その時こちらを、さつきからじーつと見てゐた美しい女の人がつか／＼とやつてきて、

「もしや、お父さんではありませんか？」とおぢいさんにいつた。

「あ、スミ子か？」

「あ、お父さん、濟みません、どうぞ私の不孝を許して下さい」

さういつて、女の人はお父さんの胸に抱きついて泣いた。

トミ子は不思議に思つて、だまつて見てゐると、

「すみ子、許すまいと思つたが許す。これがトミ子だ。トミ子、これがお前の待つてゐたお母さんだ」

「あら、トミちやん、大きくなつたね。ごめんね、惡いお母さんだつたねえ」

その女はトミ子を抱きすくめたのだつた。お母さんと云はれて、トミ子は始めて、遠い國に行つたきり分らないと云ふお母さんであることが分つた。

「お母さん」

さう云つたきり、トミ子はポロ／＼泣いた。今日は二十五日、クリスマス、トミ子にとつては何と大きなプレゼントであつたらう。

手工　カレンダーつきのお家をつくる
ためになるボール紙細工

けふはたのしいクリスマスです。さあみなさんそろつてクリスマスにふさはしいボール紙の切り抜き細工をいたしませう

まづ長さ廿センチ幅十五センチの一ボール紙を用意して下さい、それから圖のやうに窓と玄關を綺麗に切ります、ボール紙は全體黒を塗るか黒の色紙を張ります、二つの窓にはカーテンを下げます、窓の感じを出すために黄色の色紙に三角に切つた赤色のカーテンを貼ります、初めに窓より大きく黄色の色紙を四角に切ります、次にその黄の色紙の半分の赤紙を三角に切つて黄の色紙の上に圖のやうに貼ります、それから黒の色紙を細長く切つて窓の眞中に貼つてその上から前に作つた黄色と赤を張つた色紙を貼ります、お玄關に張る色紙も一番下は黄色その上は黒でも紫でも構ひません、そして一番上には前のよりも一ミリ半か、二ミリ位狭い赤色の紙を張り最後に襖の樣に見せるため眞中に墨で細く線を書きます

☆

それから木や土は草色の紙で體裁よくきつて貼ります、最後に鳩目をつけ（リボンの紐をつけてもよいでせう）小さいカレンダーをつけますがカレンダーは文房具屋さんに五錢位で賣つてゐます、銀紙があれば小さくざく／＼に切つてあちらこちらにはりますと雪の樣に見えて綺麗でせう

ケフノツグワ

第廿六回　こどもの考へもの
三つの繪を讀みあはせて下さい

こゝに掲げた三つの繪は上がクリ二つ、中がスに這入つてゐるコトリ三羽、下がお米などをはかるマスです、これを讀みあはせると皆さんがたのしみにまつてゐたお祝ひの日の名になります、さてナンと讀むのでせう、わかつた方は來る正月一日までにハガキで大連市東公園町滿洲日報社「滿日日曜附錄係」あてにご答へください、當つた方にはいつものやうに二十五名に限りお褒美を差上げます

第廿四回の答　ボウシです

第二十四回の考へものは帽子でしたが、殆ど全部が正解でしたので籤をひいて今度は左の方にご褒美をあげることにしました、大連市内の方にはハガキをあげますからそれと引きかへに本社でご褒美をお受けとりください、沿線の方には直接お送りいたします

× ×

なほご褒美の中にある森永のチョコレートとミルクキヤラメルの空箱はどうぞお菓子やさんの支那事變の「戰傷兵士を勞はりませう」とかいた箱の中におい れください

當籤者

▲旅順　金子カヨ▲新京緒方初子▲鞍山池内與三郎▲蘇家屯實歲嘉雄▲鐵嶺鈴木もと子▲奉天木内一郎▲周水子金澤正德▲新京倉田傑▲大連三浦尙子▲同江口節子▲同金子明▲同中島清人▲同南部照爽▲同山口晶之助▲同岩本君子▲同小森政一▲同關トミへ▲同室蘭キヨ子▲同藤井智惠子▲同澤田矽子

注意　今までに考へものに當つてまだご褒美を取りに來ない方がありますが、その方は來る三十日までに當選通知のハガキを持つて來て本社でお引きかへください。それ以後は無効にいたします

おヒゲの値うち

お髭はいつたい何れくらゐの値うちのあるものでせうか、ニユーヨークのウエスト・キングストンといふ町にフランセス・マストロステフアノと呼ばれる七十歲のおぢいさんがゐます、この人は大へん立派な長い、まツ白なお髭を持つてゐましたが、或る日のことソソツカしい床屋さんがおぢいさんの自慢のお髭をチヨキンときつてしまひました、おぢいさんは大變おこりました「わしのこの髭は三十年間かゝつて仕上げた第一番の寶物だ、どうか二千弗（約一萬圓）バツ金としてとつて下さい」と裁判所にうつたへました、裁判長は大變こまりました、一體お髭はどれ位値うちのあるものか裁判長も知りません、そこでツケ髭をこしらへる人を呼んでたづねましたところが「さア……五十錢もしないでせう」と答へました、さうしてとう／＼二十五ドルのバツ金をとることになりました

けふは大正天皇祭

私達は先帝の御遺徳に對して一層國のため君の爲に盡さう

けふは大正天皇祭で、先帝大正天皇が大正十五年の今日崩御遊ばされた日に當ります

大正天皇は明治天皇の第三皇子として明治十二年八月三十一日、青山御所で御生れ遊ばされ、御名を嘉仁と申上げました

御即位後三年を經た大正三年八月歐洲大戰が起り、わが國は世界五大強國の一として誇り、天皇の御稜威はあまねく世界に輝きわたりました、この歐洲大戰で天皇が御心をおいため遊ばされたことは一通りでなく、御幼少の頃から御弱くわたらせられた玉體はますます御勝れ遊ばさなかつたのでありました

その後陛下には皇太子裕仁親王殿下を歐洲各國に御巡遊ばさせ給ひ各國との親交を厚くさせられましたが、玉體はいよいよ御惡く、大正十年十一月皇太子殿下を攝政に任じ給ひ、御靜養の御快復に御心を注がせられたのであります

大正十二年九月、突然帝都は大震災に見舞はれました、陛下には御内帑金を御下賜遊ばされ國民精神作興の詔書をお下しになり、御病中にも拘らず日夜國民のことを御心配遊ばされました、畏くも皇后陛下を初め奉り各皇族、重臣方の夜を徹しての御看護も國民の熱心な神佛祈願もその甲斐なく大正十五年十二月二十五日遂に崩御あらせられ、昭和二年二月八日多摩御陵に御鎭まり給ふたのであります

私たちは天皇の御靈が、天地のあらん限り日本の國土にとゞまり給ひ、日本がいや榮えに榮えゆくやうお守り下さることを思ふとき、ますます天皇の御遺徳にこたへ奉ると共に御靈に對して一層國のため、君のため盡すところがなければなりません(大連伏見臺小學校平井先生講話)

西洋人でさへもほめる日本のハネつき遊び

女の子にとてもよい運動です 羽子板のおはなし

お正月が近づいて來ました、もうそろそろ羽根つきの音が聞えるやうになりました、羽根つきは面白い遊びといふだけでなく、女子の運動として大へんよい遊びです、お正月はどこのお家でもごちそうをたくさん食べますから身體のためどうしても運動が大切です、お正月頃は一番寒い時ですが、寒風にさらされながら羽根をつくのはたしかによい強健法です、それに羽根をつく時の姿勢をごらんなさい、上をむいて胸を張り手を動かし足を働かせますから全身のよい運動になります、それに羽根を落さぬやうに注意するので精神の統一にもなります、ですからお正月だけでなくふだんでも大いにやつた方がよい遊戯です、テニスによく似た運動ですが羽根つきはテニスより女らしく、やさしいところがあります、フランスの學者でバドシントンといふ人は「世界の女子の運動競技にはいろいろあるが、その中で最もよいのは羽根ゲームである」といつてゐます、外國人でさへこんなに褒める位で今では外國でもさかんに行はれてゐます、處が本家本元の日本では何でも西洋物でなければならないやうに思つてこの世界にほこるべき羽根つきが一時廢れたことがありました、それが外國でさかんに流行するやうになつて又日本でもさかんになり女學校では羽根つき競爭をするやうにさへなつて來ました、何と面白らしいお話ではありませんか

惡い病や惡人を拂ふ

羽子板のうつりかはり

むかしはハゴキイタとかコキイタとよんでゐました

羽子板 の歴史をお話しませう、これはいつころできたものでせうか、それはずつと大昔の室町時代、今から七百年ほど前からはじまつたものです、そして昔は男もさかんに羽根をついたものです、ずツと昔は羽子板のことを羽子木板(ハゴキイタ)といひ、後には胡鬼板(コキイタ)と呼ばれました、胡鬼とは野蠻人のことです、羽子板は惡い野蠻人を追ひはらふ板のことでこれが羽根つきの起原だといふことです、けれども他にもいろいろの話があつて羽根つきは雪投げの遊びをする時雪カキで雪を防いだことから思ひついてやつたのだ、といふ人もあり、まだその起つたもとははつきり判してゐませんがとにかく大昔は今のやうなきれいな羽子板はありませんでした、板で羽子板の形にこしらへそれで羽根をついたものです、それに初めはお正月だけにやつたものではないのです、今のやうに

お正月 だけの遊びとなつたのは徳川時代の寛政文化の頃今から百五十年ほど前からです、その頃は羽根をつくと惡い病氣にかゝらないとか、又は蚊に喰はれないとか、いろいろ縁起をかついだものです、始めごく簡單であつた羽子板も世の中が贅澤になるにつれ大へんきれいなものができるやうになりました、羽子板の表や裏に美しい繪を切りぬいてはるのが始まりで、おもに表には七福人や、寶船や、三番叟や、美しい人の繪などをはりつけ裏には松や梅、鶴や竹などをかいたものです、それが今から二百四十年程前の元祿時代になると大變進んできれいな小切れでお人形などをこしらへて貼りつけた押繪の羽子板ができるやうになりました、そればかりでなく金や銀などで飾るやうにもなり大きさも一尺から一尺五寸位にきまつてゐたのが一尺八寸、二尺、三尺といふ大きなものがあらはれました

こんな 大きなのを持つてはとても羽根はつけませんからたゞお正月に床の間に飾つておくだけなのです、こんな風にあまりぜいたくに流れて來たので徳川幕府から二度も三度も羽子板に金銀などを用ゐてはならぬといふきびしい御禁令まで出た位で、いかに華美なものであつたかゞわかりませう、つゞいて明治のはじめ頃には「窓あき羽子板」といふものがあらはれました、これは押繪が二重になつてゐて上の繪に窓があつてその窓をあけるとちようど窓からのぞいたやうにその中に又別の繪があらはれるといふ仕かけでたとへば佐倉宗吾が雪のふりしきる中に立つてゐる押繪でうしろに窓があつてその障子をあけると子供が泣いてゐる繪があらはれ宗吾の子別れの繪になるといふやうなものです、そのほか變り羽子板では羽根をつくたびにお人形の目玉が動いたり

手や足 が動いたりするものなどもありました、燒繪の羽子板ができたのは今から二十年ほどまへのことですからまだ新しいものです、近ごろは又た大へんかはつた形の羽子板があります、お月樣の形だの小判のやうなものだのがあります、繪もその時代によつて變つてお角力がさかんなころはお角力さんの似顔がはやり戰爭があると軍人の繪がはやります、この頃は活動寫眞がはやつてゐるので活動役者の似顔がたくさん出てゐます、ずつと新しいものではスポーツや童話などを材料にしたものがあります、今年は團十郎の三十年祭にちなんだものや滿洲事變、オリムピックなどを材料にしたものがたくさんでてゐます

四本あしのひな

つひこの間のこと、栃木縣の芳賀郡で脚が四本にお尻のアナが二つある珍しいひなが生れました、四本脚ですから、じつとしてゐる時は二本脚のひなよりシッカリしてゐますが、歩き出すとヒョッコリヒョッコリとしてとてもこつけいださうです、專門家のお話によると、脚が四本あつたり、頭が二つあつたりするやうな珍しいひなもときどき生れるさうですが、大抵は四五十日で死んでしまふさうです、それでももし丈夫に育てば學術上大へん立派な研究の材料となるので栃木縣廳ではこの四本脚のひなを大切に育てゝゐるといふことです

歳晩狂躁曲

煽る人氣!! 奏づる

慌だしかつた一九三二年もカレンダーの一めくり毎に影を薄くして、餘すところ僅かに六日間だ、三千圓福引を眞つ向にふりかざして建國記念の飾柱が林のやうに立並び、空には色とりぐの旗幟が目まぐるしく寒風にはためいてゐる、滿店飾を施した商店街は今、火の出るやうな賣出し戰である、血まなこの商人と慌しい人の流れ、ボーナスはカンフル注射のやうに果敢ない暮景氣を煽つてゐる、新らしい滿洲國の表玄關、グレート大連の巷々で拾つた喜怒哀樂の繪巻、なんと歳末の狂躁曲を奏づるではないか

祝入營

色とりどりの賣出し幟と並んで紫に白文字を染抜いた「祝入營」の旗幟はあわたゞしい歳末風景の異色である、打ちつゞく討匪戰のうちに暮やうとする多端な昭和七年を顧みる時軍國的な亢奮を覺える

門松屋

「時局と不景氣でお話になりませんや」と門松屋さんは大零しである、こゝにも緊張した非常時日本の姿をうかゞふことが出來やう、材料は騰つたし世間はます／＼安いので間に合はさうとするし中に這入つた門松屋さんの澁面のしわがいよ／＼ふえる、結局相場は昨年と大した差はない、廿五日を過ぎる頃から遽に門松やさんが續出して一入暮氣分を添へることであらう

七つや

質流れが三分の一に減つたと質屋さんは不平をいふ、それほど景氣がよくなつたのではない物價騰貴の今日安い質札をそのまゝ流してたまるかといふインフレ現象なのだ、日陸町の古着屋街は品拂底で猖獗し、プロ階級の越年に及ぼす間接の打撃も大きい、ボーナスによる質受けがあらかた終つて、五十、六十とまとまつた大口の質入が多くなつたのは眞劍な小商人のせつぱ詰つた金融である、ほんとうの歳末景氣はぎりぎりの三十日と大晦日の二日間だけいよ／＼最終の救ひ主は質屋さんだからである、いゝ氣になつてボーナスを使ひ過ごした會社員のお小遣ひがこゝから捻出されゐでもない

物乞ひ

凍りついた鋪道にお叩頭の百萬べんもしてゐるが押つまつた歳末に焦慮を感じる人々はふり返らうともしてくれない、ドンゴロスにくろまつた父娘の顔は寒さと飢のために、死人の如く血色を失つて機械のやうに哀れみを乞ふてゐる——だが傍らに置いたトランク代りのカメラ・ケースが滑稽なほど乞食稼業には不釣合な存在である、無心に眠る幼兒の姿はかなしい

港の暮

年を追ひ年に追はれて旅する人々が忙しく右往左往してゐる押つまつた歳末をせきたてるやうに銅鑼がなる、大きな高利貸鞄の男が料理屋の女將らしい女にペコ／＼頭をさげながら救はれた面持で船にとび乘つた綾なす五色のテープの切れた時、海と陸との縁が斷たれるのである、悲喜交々を綴せた歳末の船出は暮の感じそのものだ

カフエ

忘年會流れでカフエーの書入れどきだ、ウエートレスに包圍された二次會の彼氏はつれ込んだ蠻數ガールとミリオンダラーの杯をあげて仲々の上機嫌であるどのテーブルもボーナスに醉ふ人々で景氣がよい

踊り場

赤く青くゆるやかに點々と廻るダイヤライトの歩みに矢の如き光陰を感じ、忍びよる儀鬼の足どりをワルツにみてはならない、ボーナスの喜怒哀樂と歳末の憂鬱をかき混ぜるやうにコンガラがつたステップが廻つてゐるではないか

逆も眞なり　佐方幸ゑがく

「これは最新流行のショールです、これをお召しになりますと誰方でも三つ四つは若く見えます」
「マアー、ぢあ私止すわ、ショール取る度に急に三つ四つ老けて見えるのは厭なんですもの……」

呉服店

幸

講談　快男子　一龍齋貞山

【上】

快男子と題し一席、講演いたします、之は明治初年のお話でございますが、鹿兒島出身の陸軍中尉仁禮牛九郎と云ふ二十五になる青年があります、本村町の古月堂と云ふ菓子屋の二階を借りて毎日市ケ谷の兵營に通ひ、家へ歸れば本を讀んで樂しんで居ります、或日の事古月堂の主が奥樣を持ちなさいと勸めると仁禮は笑つて牛「イヤ僕には妻がある、見給へ此の籠の中のカナリヤだ、此のカナリヤは吾輩には最愛の妻だ、軍隊から歸つて來ると優しい聲を發して啼いて呉れるので、之が無上の樂しみである、人間は總て感情の動物だから、カナリヤが優しい聲を發するのが、恰で、貴所能くお歸んなさいましたといふやうに聞えるのでございます 主「結構な内儀さんでございますね、……

びして居るカナリヤを狙つて居る樣子牛「已れツ」と云ひさま仁禮が床の間に立てかけてあつた軍刀を取つて柄に手を掛けるや否や、スラリと引拔いたので猫は驚いて向ふの塀の上へ飛んで逃げてしまつたが、其が爲にカナリヤも驚いて隣家なる資産家長谷部家の邸内へ飛込みました、古月堂の主人は主「マア先生仕方がございません、私がアノお隣にお願ひ申して、お庭へ入れて頂いて捕へて參りませう」と尻端折つて表へ飛出した、仁禮は頻に隣の庭園を見て居ると、そこへ女中と共に出て來たのはこれが市ケ谷小町と謳はれた長谷部家の令孃雪子でございます、……

先生々々、何を茫然考へて居るんですえ、確りしなくつちやア往けません、エー先生……牛「アハ、、、ウーム……主「何がアハ、、、ウームです、先生々々」……

【下】

鈴木大尉を初として、……盛んに酒杯を交して居り……

『公主嶺』の名の始まり
皇女を祀る公主嶺
滿鐵沿線中で有數の地として重要視されるまで

公主嶺郊外にある公主陵

＝滿洲＝の都邑中、その命名の由來で最も優しい、奥ゆかしいものは公主嶺です、今を距る二百年前、清朝乾隆帝の公主……

年間、今から約百年前に造營されたものが地名の濫觴となつてゐるといふ説です、兎に角何れにしても公主が祀つてあることは事實のやうです、公主嶺はもと達爾罕旗……

の大袈裟なことは遼陽以上で、これを知つた支那人は忽ち蝟集して來て、附屬地外に居住して、見違へる程の人爲的都市を現出したのでした、露治時代の遺物は今日も……

＝一説＝には拉搭罕王家の一族二人の兄弟が共に清朝の皇女を娶り、その墳墓をこゝに合祀したので蒙民が格々兒陵と呼んだのが公主嶺の起原だと云ひ、また六屋浄に祀つてある賢懷公主の墳塋に對し東格陵と蒙民が呼んだのが起原だともいひます、……

＝我が＝明治三十三年北清事變後ロシアは極東經營に全力を傾倒し、東清鐵道を延長するに當り軍事上ハルビン、公主嶺、遼陽の三地に大都建設を計畫し、堂々公主嶺に二百萬坪の附屬地を取擴げやうとしました、この計畫……

＝今や＝公主嶺は滿鐵沿線中有數の特産出廻り地として名高く、又軍事上及び鐵道守備上の重要地點として重要視されてゐます

巴布札布率ゆる蒙軍の南下
舊軍閥卑怯の振舞ひ

公主嶺に關する物語は秦平稀間題、日支交渉事件、蒙軍來襲等種々ありますが、こゝでは蒙軍の來襲當時のことをお話いたしませう、……

＝危險＝となつた……

＝清室＝を擁立しやうといふ計畫は袁世凱在世當時から蒙民間に非常な勢ひで畫策されてゐましたが、この潮流の急先鋒となり鋒を提げて起つたのが東蒙に赫々たる武名を轟かせてゐた巴布札布將軍です、……

＝黄色＝の蒙軍……

＝全滿＝を蹂み躙らんとした壯圖も徒らに兒戯と終つた……

今週の歴史

十二月二十五日……源頼義に安倍貞任を討たしむ。(天喜三年)　大正を昭和と改元す。(大正十五年)

同二十六日……徳川家康生る。(天文十一年)　雲井龍雄刑せらる。(明治三年)　聖上融和事業協會へ一萬圓下賜(昭和五年)

同二十七日……徐寶門合戰。(平治元年)　鐵道省燒く。(昭和五年)

十二月廿五日　營口方面における匪賊討伐の狀勢は日毎に急迫し、ために遼陽駐劄天野旅團は關東軍司令部の命により二十五日午前十一時旅團司令部を營口に移した

同廿六日　午前零時三十分、安奉線を狙ひつゝあつた別動隊の一部約五百名は鄭繼梅に指揮されて突如鳳凰城驛並びに城内を襲ひ、驛舍を包圍猛射を浴びせかけると共に支那民家に放火した、……

同廿九日　滿洲新國家の旗印に關しては奉天省政府において構圖その他の制定を急いでゐたが、二十九日新五色旗を決定、……

同三十日　……

同卅一日　破竹の勢ひを以て滿洲子に進撃した我が嘉村旅團……